保証とアフターサービス

●必ずお読みください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から１年間です。B-CAS カードは、保証の対象から除きます。

部品について

■部品の交換について
● 修理のために取り外した部品は特段のお申し出がない場合は回収させていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した部品を再利用することがあります。

補修用性能部品の最低保有期間

● 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後８年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理とお取り扱いのご相談は

東芝家電製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談、ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答などで販売店に修理のご相談が出来ない場合
『東芝家電修理ご相談センター』 フリーダイヤル 0120-1048-41

新製品などの商品選び、お取り扱い、お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』 フリーダイヤル 0120-1048-86
携帯電話、PHS からのご利用は（03)3426-1048（有料）
FAX（03）3425-2101（365日・8：00～20：00受付）

※電話受付：365日・24時間受付
※フリーダイヤルは、携帯電話、PHS などの一部の電話ではご利用になれません。

修理をご依頼されるときは～出張修理

●135ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー
形名	TT-D3000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

便利メモ お買い上げ店名	TEL（　　）　　ー

長年ご使用のチューナーの点検をぜひ!!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか
● 電源を入れても映像や音が出ない。
● 映像が時々、消えることがある。
● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
● 電源を切っても、映像や音が消えない。
● 内部に水や異物が入った。

▶

● ご使用中止 ●
このような場合、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

愛情点検

本機は、このように正しくお使いください。　●電気容量やコンセント形状は、製品に合ったものをご使用ください。

ホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。

http：//www.toshiba.co.jp/product/tv/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

株式会社 **東芝**

映像ネットワーク事業部

〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目１番地８号 東芝万世橋ビル 5F

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓣ 23552087

東芝BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー取扱説明書

TT-D3000

TOSHIBA



東芝BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー取扱説明書

形名 *TT-D3000*

● このたびは、東芝BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
● お求めの商品を安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
● お読みになった後は、いつも手元に置いてご使用ください。



もくじ

ご使用の前に

番組を見る

仕様

形名		BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー	
		本体	リモコン
品番		TT-D3000	CT-90143
電源		AC100V 50/60Hz 共用	DC3V(単4形R03、2個)
消費電力	電源入	15W(アンテナ電源供給しないとき)	—
	待機	0.4W(i.LINK設定「制御なし」の場合、アンテナ電源供給しないとき)	
		14W(i.LINK設定「制御あり」の場合、アンテナ電源供給しないとき)	
外形寸法	幅	280mm	
	高さ	50mm(脚含む)	
	奥行	291.5mm(端子含む)	
質量(重量)		1.7kg	116g(乾電池含まず)
受信周波数		1032〜2071MHz	
入力・出力端子	アンテナ端子(BS・110度CS)	IF入力:1(アンテナ電源供給15V/11V 最大4W/3W)	
	D1/D2/D3映像出力端子	D1/D2/D3映像 Y:1$V_{(P-P)}$, 75Ω, P_B/C_B, P_R/C_R:0.7$V_{(P-P)}$, 75Ω	
	映像出力(テレビへ)	S1映像:Y:1$V_{(P-P)}$, 75Ω C:0.286$V_{(P-P)}$, 75Ω	
	(ビデオへ)	映像:1$V_{(P-P)}$, 75Ω	
	音声出力(テレビへ、ビデオへ)	音声:250mV(rms)(標準)、2.2kΩ以下	
	光デジタル音声出力	トスリンク	
	i.LINK(TS)(2系統)	IEEE1394準拠、4ピン S200対応、MPEG-TS信号	
	ビデオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック	
	SDメモリカードスロット	3.3V、8/16/32/64/128/256MBに対応	
	スマートメディア™スロット	3.3V、2/4/8/16/32/64/128MBに対応	
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式	
使用条件		使用周囲温度:5℃〜40℃、使用周囲湿度:10%〜80%(結露のないこと)	
主な付属品		取扱説明書 ×1部 リモコン ×1個 リモコン用乾電池(単4形) ×2個 電源コード ×1本 モジュラー分配器 ×1個 B-CASカード ×1枚	S映像用コード ×1本 映像用コード ×1本 音声用コード ×1本 電話機コード(10m) ×1本 ビデオコントロールケーブル ×1本 BS・110度CSデジタル放送受信契約申込書 ×1式

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This tuner is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品の改造は感電、火災などの恐れがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- リモコンで電源を切っても本機にわずかな電流が流れています。
- 電源が待機の時でも、一時的に電源入と同じ15Wの電力を消費する場合があります。

※本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictry prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this tuner in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

B-CASカードID番号記入欄

●下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
・お問い合わせの際に役立ちます。

便利な機能を使う

接続のしかた

[次のページにつづく]

設定のしかた

その他

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷[*1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定されること”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

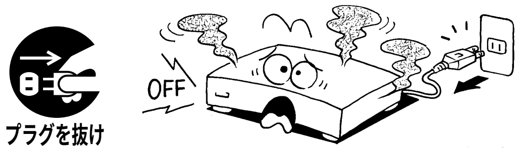
図記号	図記号の意味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

異常や故障のとき

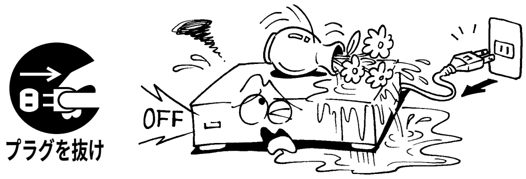
■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



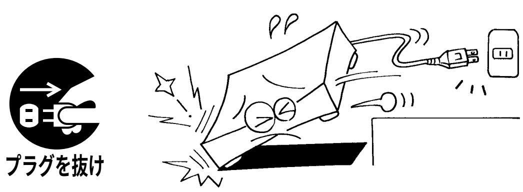
■ 内部に水や異物が入ったらすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。



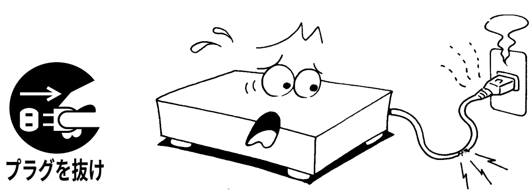
■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。



■ 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コード等が傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



安全上のご注意 つづき

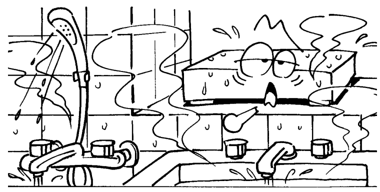
⚠ 警告

設置されるとき

■ 屋外や浴室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。

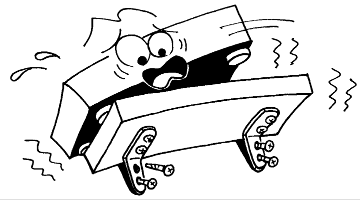
風呂、シャワー室での使用禁止



■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと

本体が落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。

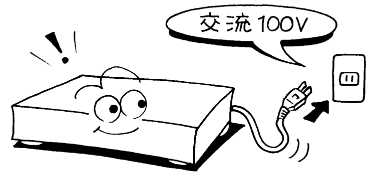
禁　止



■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込むこと

- 交流 100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

指　示

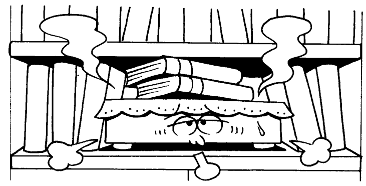


■ 通風孔を絶対にふさがないこと

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。

- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- 新聞紙や雑誌などを上に置かないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁　止

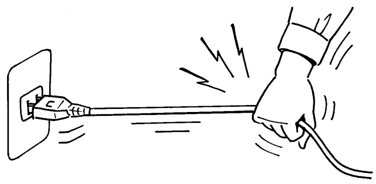


ご使用になるとき

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

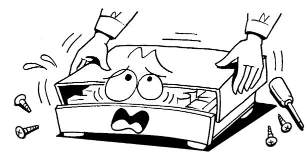
引っ張り禁止



■ 修理・改造・分解はしないこと

内部には電圧の高い部分があり感電・火災の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

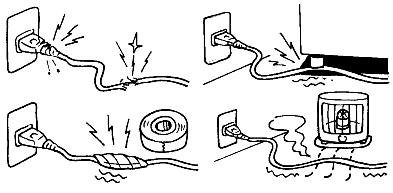


■ 電源コード・電源プラグは、

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しないこと**
- **引っ張ったり、重い物を載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

禁　止



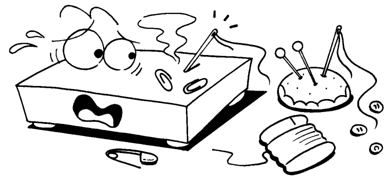
⚠ 警告

ご使用になるとき　つづき

■ 異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

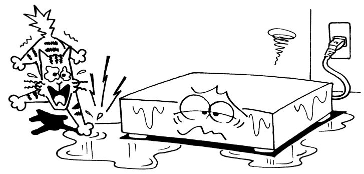
異物挿入禁止



■ 水を入れたり、ぬらしたりしないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

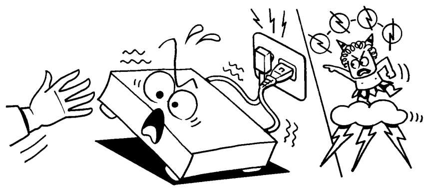
水ぬれ禁止



■ 雷が鳴りだしたら、本体・電源コード・アンテナ線に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

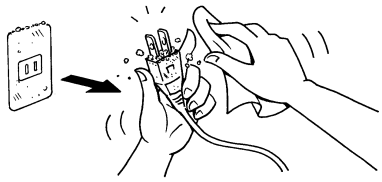


お手入れについて

■ 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

指　示



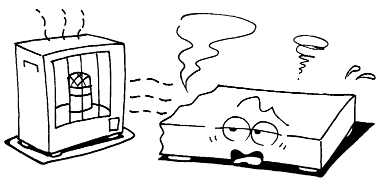
⚠ 注意

設置されるとき

■ 温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

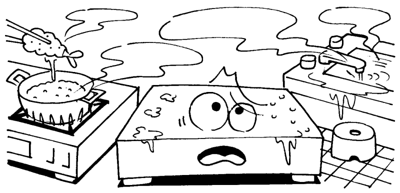
禁　止



■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと火災・感電の原因となることがあります。

禁　止



安全上のご注意 つづき

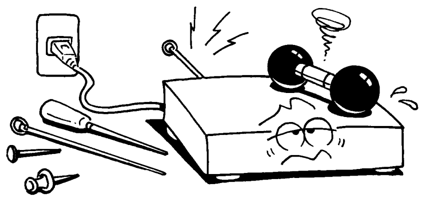
⚠注意

設置されるとき つづき

■ 上に物を置かないこと

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となることがあります。

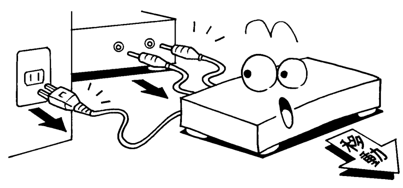
上載せ禁止



■ 移動する場合は電源コード・アンテナ線・機器間との接続線をはずすこと

はずさないまま移動すると電源コードが傷つき火災・感電や、本体が転倒し、けがの原因となることがあります。

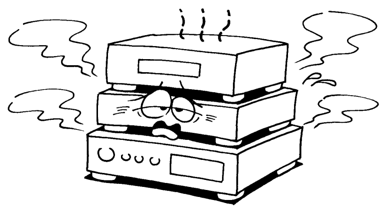
指　示



■ 本体の上に他の機器(ビデオなど)を乗せたり、本体を他の機器の上に乗せないこと

他の機器の発熱によって本体内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

禁　止



■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないこと

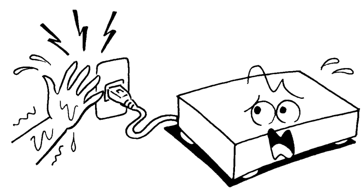
禁　止

ご使用になるとき

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



■ 本機の上に乗らないこと

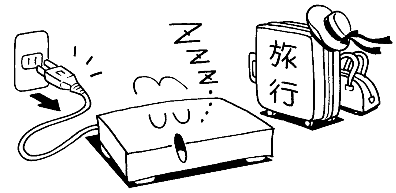
こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け



⚠ 注意

ご使用になるとき つづき

■ リモコンに使用している乾電池は、

- **指定以外の乾電池は使用しないこと**
- **極性表示［(＋)と(－)］を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり・火の中に入れないこと**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**

禁　止



これらを守らないと、液もれなどの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電話回線との接続について

■ モジュラー分配器、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしないこと

電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに高い衝撃電流が流れますので、感電の原因となります。

禁　止

■ 正しく接続すること

正しく接続しないと本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

指　示

お手入れについて

■ お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行うこと

感電の原因となることがあります。
●お手入れについては次ページをご覧ください。

プラグを抜け

■ 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください

本体の内部にほこりがたまったまま長期間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

指　示

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。
- 長時間ご使用になっていると本体の天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。

お手入れについて

- ベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。
- お手入れの際は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 汚れのひどいときは、電源プラグをコンセントから抜き、水でうすめた中性洗剤を布に含ませてよく絞ったあと、拭き取ってください。さらに、乾いた布で拭いてください。

アンテナについて

- アンテナの設置については、ご使用になるアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナは送配電線や電灯線などから離れた、安全な場所を選び、堅固に設置してください。アンテナが倒れたり落下した場合、けがや感電事故の原因となることがあります。
- マンションなど共同住宅の場合は、出入口や避難設備には、アンテナを設置できません。また、避難通路・消防上必要な通路のじゃまにならない所に設置する必要があります。消防法、地方自治体の条例などに触れないように、ご注意ください。また建物の管理者にもご相談ください。

大切な録画・録音について

- ビデオに録画・録音する際は、事前に試し録画・録音を行い、正しくできることを確かめておいてください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組については、録画をすることはできません。また、著作権保護のため一回だけ録画を許された番組(コピーワンスプログラム)については、録画した番組をさらにコピーすることはできません。

免責事項について

- 火災、地震、雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- **何らかの原因により、SDメモリカードやスマートメディア™が故障・破壊した場合、記録(録画・録音など)されていた内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。**
- 何らかの原因により、ビデオに正しく記録(録画、録音など)できなかった内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や動作不能などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

著作権について

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、著作権の対象となっている画像が記録されたSDメモリカード、スマートメディア™は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他一部の観賞用の使用に制限されています。
  分解したり、改造することも禁じられています。

本機の特長

ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送に対応

デジタル放送をハイクオリティピクチャーで！

●高性能映像プロセッシングLSIによって、高精細なデジタルハイビジョン映像（1125i）を出力します。

カンタン操作、簡単選局！

●番組表やジャンル検索、番組チェックなどによって、デジタル放送をカンタン操作で選局できます。（→26、29、30ページ）
●付属のビデオコントロールケーブルとテレビ画面に表示される番組表を使えば、デジタル放送の録画予約もカンタンに行うことができます。（→47、79ページ）

ＳＤメモリカード、スマートメディア™、i.LINKなど、デジタルメディアに対応

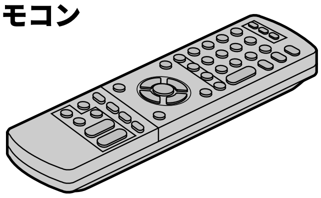
●デジタルカメラでSDメモリカード、スマートメディア™に撮影した画像をテレビ画面でご覧になれます。（→45ページ）
●i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画をすることができます。（→47、62ページ）

ご使用の前に

付属品

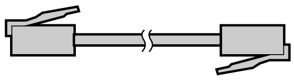
●本機には下記の付属品があります。お確かめください。

リモコン



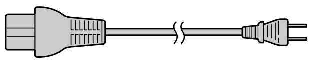
1 個

電話機コード



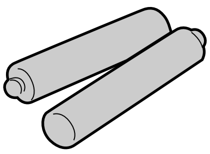
1 本

電源コード



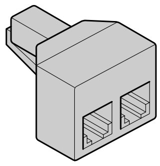
1 本

単 4 形乾電池（R03）



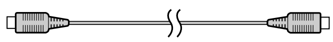
2 個

モジュラー分配器



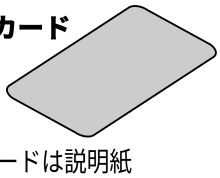
1 個

S 映像用コード



1 本

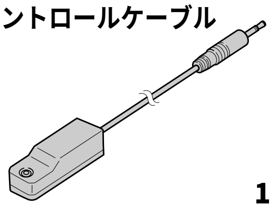
ビーキャス
B-CAS カード



B-CAS カードは説明紙に付いています。

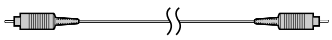
1 枚

ビデオコントロールケーブル



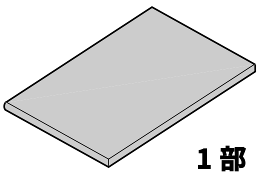
1 本

映像用コード



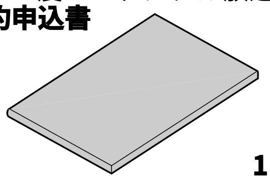
1 本

取扱説明書



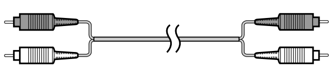
1 部（本書）

BS・110 度 CS デジタル放送受信契約申込書



1 式

音声用コード（ステレオ）



1 本

デジタル放送(BSデジタル、110度CSデジタル)について

● デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルなテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載して放送されています。
● デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができますので（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC方式)、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに 5.1 チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

● デジタル化によってハイビジョン放送が多チャンネルになります。
● 放送のフォーマットとしては、下記の4種類があります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送（従来のBS放送と同じレベルの画質）
放送フォーマット	1125i(1080i)放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本(有効1080本)	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査の方式	インタレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インタレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

● また、デジタルハイビジョン放送１番組と通常放送３番組を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。

ラジオ放送の特長

● 音声放送に加えて、静止画や動画を使ったデータつきの放送もあります。

データ放送の特長

● テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の2種類があります。
● 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使い方がお楽しみいただけます。
● 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がお楽しみいただけます。

■ BS デジタル放送の一覧（2002 年 9 月現在）

放送の種類	テレビ放送	ラジオ放送		独立データ放送	
チャンネル	100番台、200番台（101～209）	300番台、400番台（300～499）		600番台、700番台、800番台、900番台（600～999）	
チャンネル名	NHK BS1	BSC300（マーケット・チャンネル）	BS日テレラジオ（ch445衛星版ラジオ日本）	St.GIGA（セント・ギガ）	NDBデータ
	NHK BS2	BSC301（カルチャー・チャンネル）	BSAラジオ455	NHK	BS955
	NHK BShi（デジタルハイビジョン）	BS BIRD（Blooming 316）	BSAラジオ456	BS日テレデータ	Tivi!963
	BS日テレ（日本テレビ系）	BS BIRD（WORLD TOUR STATION）	BS-i RADIO 461	BS朝日データ	ch999
	BS朝日（テレビ朝日系）	BS BIRD（B&M 318）	BS-i RADIO 462	BS-i（CH766）	－
	BS-i（TBS系）	BS BIRD（OPERA MY SEAT）	BSJ 471	777DATA	－
	BSジャパン（テレビ東京系）	JFN320	BSJ 472	BSフジ780	－
	BSフジ（フジテレビ系）	JFN321	LFX488	WOWOW navi	－
	デジタルWOWOW	JFN322	BSQR489	スター・チャンネル データ800	－
	スター・チャンネルBS	JFN323	WOWOW wave 1	メガポート	－
	－	St.GIGA（セント・ギガ）	WOWOW wave 2	WNI910ch.	－
	－	BS日テレラジオ（ch444ヒーリングステーション）	－	Digicas（デジキャス）	－

お知らせ

● 放送局によっては、テレビ放送やラジオ放送にあわせた番組連動データ放送も行われています。
● 上表の内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■110度CSデジタル放送の一覧（2002年9月現在）

プラットワン

放送の種類	テレビ放送	ラジオ放送「サウンドテリア」		データ放送	
チャンネル	000番台（000～099）	700番台（700～799）		000番台（000～099）	900番台（900～999）
チャンネル名	プラットワン・プロモチャンネル	サウンドスケープテリア	ビートルズ・サウンドテリア	データカレッジ	おー当たりch
	G+　SPORTS&NEWS	ヒーリングテリア	J-POPクラシックステリア	CS日本（ポータル）	お！宝ch
	NNN24	ライトクラシックテリア	J-POPベストヒッツテリア	ep（蓄積チャンネル）※	CS教育テレビ
	電波少年的放送局	スクリーンテリア	KIDSテリア	BBTVでーた	ゲーちゃん
	ブルームバーグ テレビジョン	ストリング・アンサンブルテリア	にっぽんのうたテリア	ベルメゾンTV	ハローTivi!
	ミュージックジャパンTVプラス	カフェ・ミュージックテリア	―	WOWOW PPVナビ	スポーツTivi!
	マンマTV・サイエンス	スウィングテリア	―	―	ニュースTivi!
	ep（蓄積チャンネル）※	フュージョンテリア	―	―	ショッピングTV
	ep056	カントリー&ウェスタンテリア	―	―	カルチャーTV
	BBTV	ラテン&ブラジリアンテリア	―	―	―
	ベルメゾンTV	ボーダーレス・ミュージックテリア	―	―	―
	WOWOW PPV1	R&B・ソウルテリア	―	―	―
	WOWOW PPV2	60s&70sロック&ポップステリア	―	―	―
	WOWOW PPV3	80s&90sロック&ポップステリア	―	―	―
	WOWOW PPV4	ロック&ポップ・ベストヒッツテリア	―	―	―

※印のチャンネルは、蓄積チャンネルです。本機では蓄積チャンネルのサービスは受けられません。

スカイパーフェクＴＶ！2

放送の種類	テレビ放送			独立データ放送		
チャンネル	100番台（100～199）	200番台（200～299）		100番台（100～199）	200番台（200～299）	500番台（500～599）
チャンネル名	スカパー！2プロモ	FOX	AXN	ワンテンポータル	朝日オープン将棋	横浜ベイスターズチャンネル
	C-TBSウェルカムチャンネル	スペースシャワーTV	アクティブ！スポーツチャンネル	CS映画	―	ム・ーハ
	QVC	カートゥーン ネットワーク	J スカイスポーツ 1	たまごとじ	―	―
	ファミリー劇場	FIGHTING TV サムライ	J スカイスポーツ 2	BAZ	―	―
	TBSチャンネル	ファボリTV	J スカイスポーツ 3	TAKARAZUKA SKY STAGE（プロモ）	―	―
	キッズステーション	ザ・ゴルフ・チャンネル	GAORA	―	―	―
	ヒストリーチャンネル	MTV	スカイ・A	―	―	―
	ショップ チャンネル	カミングスーンTV	スポーツ・アイESPN	―	―	―
	アニマックス	BBCワールド	Viewsic	―	―	―
	フジテレビ721	朝日ニュースター	日経CNBC	―	―	―
	フジテレビ739	CNNインターナショナル	アニメシアターX（AT-X）	―	―	―
	―	日本映画+時代劇TV	ゴルフネットワーク	―	―	―
	―	東映チャンネル	LaLa TV	―	―	―
	―	衛星劇場	CSN1ムービーチャンネル	―	―	―
	―	チャンネルNECO	ディスカバリーチャンネル	―	―	―
	―	シネフィル・イマジカ	アニマルプラネット	―	―	―
	―	スーパーチャンネル	TAKARAZUKA SKY STAGE	―	―	―

お知らせ

- 放送局によっては、テレビ放送やラジオ放送にあわせた番組連動データ放送も行われています。
- 上記の内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

必ずお読みください

お問い合わせ先について

- 受信契約など放送受信についてのお問い合わせは、各放送事業者にご連絡ください。

付属のB-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CASカードは、有料放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要となるものです。常に本体に挿入しておいてください。また、B-CASカードの登録は必ず行ってください。
  （B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じて（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに自動送信されます。）
- 詳しくは、カードが添付されていた台紙の説明をご覧ください。
- カードが紛失、盗難にあった場合や、破損、汚損が生じた場合は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（カード添付の台紙を参照）にご連絡ください。

取扱説明書について

- この取扱説明書に記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- この取扱説明書において受信画面の図などに記載されている、番組名などは架空のものです。
- この取扱説明書に記載されている機能は、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
- 画面に表示されるアイコン（絵文字）は「アイコン一覧」（→132ページ）をご覧ください。

ソフトウェアのバージョンアップについて

- 出荷後より良くお使いいただくために、本機内部のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。
  本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波の中に入れられたソフトウェアを受信することにより、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。（出荷時は、「する」の状態に設定されています。）
  ソフトウェアのバージョンアップや自動ダウンロードについては、詳しくは125ページをご覧ください。

インターネットで情報を・・・

- ホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報、その他のお知らせなどを掲載しておりますので、ご参照ください。

■ http://www.toshiba.co.jp/product/tv/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご参照ください。

- また、東芝総合ホームページ(TOSHIBA TOP PAGE)からもさまざまな情報を提供しております。

デジタル放送をご覧いただくための準備

●下記の手順に従って、準備を行ってください。

リモコンに乾電池を入れる (→18ページ)

▼

B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する (→69ページ)

▼

アンテナ線を接続する (→70ページ)

▼

電話回線を接続する (→71ページ)

▼

テレビやビデオなどの各機器と接続する (→74～85ページ)

・テレビへの接続は、テレビの種類(ワイドテレビ[16:9]/通常のテレビ[4:3])や接続する映像入力端子に応じた設定が必要です。
お買い上げ時は、本機に付属のS映像用コードまたは映像用コードを接続して見る設定になっています。

▼

はじめての設定をする (→88ページ)

▼

B-CAS（ビーキャス）カードの登録をする (B-CASカードに添付されている説明紙を参照)

▼

ご覧になりたい放送の加入契約をする (付属のBS･110度CSデジタル放送受信契約申込書を参照)

お願い

● B-CASカードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」を加入申込書に必ず貼ってください。

操作早わかり

● ここでは、基本の操作だけを記載しています。
● 各機能について、詳しくは（　）内の参照ページをご覧ください。
● お買い上げ後は、最初に「デジタル放送をご覧いただくための準備」（→ 15 ページ）を行ってください。



●番組を選ぶ前の準備（詳しくは、22ページ）

①テレビの電源を入れ、ビデオ入力を切り換える（本機を接続しているビデオ入力にする）

②本機の電源ボタンを押して、電源を入れる

● はじめて電源を入れた際には「自動ダウンロードについて」の画面が表示されます。
・ 画面の説明を読んだ後、決定ボタンを押してください。
（「自動ダウンロード」については125ページをご覧ください。）

●番組の選びかた

本機には、次のような番組の選びかたがあります。

チャンネルを直接選ぶとき（詳しくは、23ページ）

● チャンネルダイレクトボタンを押し、チャンネルを選ぶ

チャンネルを順番に選ぶとき（詳しくは、24ページ）

①放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を選ぶ

● どちらの放送を選んでいるかは、表示されているチャンネルや番組についての情報でご確認ください。（→33ページ）

②メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ

● 例えば、BSデジタルを選んでいる場合は、押すごとに、BSテレビ→BSラジオ→BSデータと切り換わります。

③チャンネル へ・∨ ボタンでチャンネルを選ぶ

チャンネル番号を指定して選ぶとき（詳しくは、25ページ）

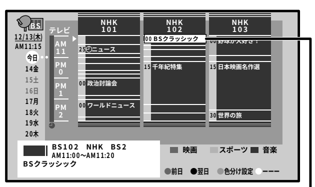
①放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を選ぶ

● どちらの放送を選んでいるかは、表示されているチャンネルや番組についての情報でご確認ください。（→33ページ）

②チャンネル番号入力ボタンを押し、続けて数字ボタン（3桁）を押して、チャンネルを選ぶ

● 例えば、BSデジタル放送を選んでいる状態で
BS103チャンネルを選ぶ場合…（チャンネル番号入力）、①、⓪、③と押す

番組表で選ぶとき（詳しくは、26ページ）



今、選んでいる番組です。

①放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を選ぶ

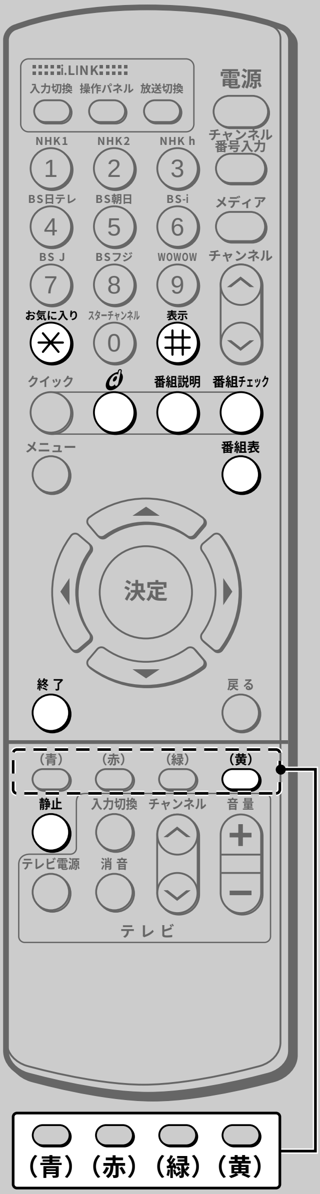
● どちらの放送を選んでいるかは、表示されているチャンネルや番組についての情報でご確認ください。（→33ページ）

②番組表ボタンを押す

● 選んだ放送の番組表が表示されます。

③カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで番組を選び、決定ボタンを押す

● 現在放送中の番組を選んだ場合は、選んだ番組が選局されます。
● 今後放送となる番組を選んだ場合は、予約設定へと進みます。（→48ページ）



●こんなこともできます!!

デジタル放送の番組を予約する （詳しくは、47ページ）

● 本機の予約動作に連動してビデオをコントロールし録画予約をカンタンに行うことができます。

データ放送を楽しむ （詳しくは、35ページ）

● 番組連動データ放送

・ 番組を見ながらいろいろな情報をチェックできます。
・ 表示ボタンを押したときに、画面にアイコン「d」が表示された場合は、下記の操作で番組連動データ放送をお楽しみになれます。

①dボタンを押す

②画面に表示される操作指示に従って操作する

③[データ放送を終了するには]
終了ボタンを押す

● 独立データ放送

・ ニュース、天気予報などの情報をお楽しみいただけます。

①データ放送の番組を選ぶ
②画面に表示される操作指示に従って操作する

便利な機能を使う

● ジャンルを指定して番組を選ぶ（詳しくは29ページ）
映画、スポーツなどのジャンルを指定して番組を選ぶことができます。

● 番組チェックで選ぶ（詳しくは30ページ）
今放送されている番組のリストから選局できます。

● お気に入りのチャンネルを選ぶ（詳しくは31ページ）
あらかじめ登録したお気に入りのチャンネルを選局できます。

● デジタルカメラでSDメモリカードやスマートメディア™に記録した画像を見る（詳しくは45ページ）

●こんなことがしたいとき

番組についての情報が見たいとき （詳しくは、33ページ）

● 番組を受信しているときに、表示ボタンを押す

・ 番組についての情報が表示されます。
・ 表示は数秒後に消えます。

● 番組を受信しているときに、番組説明ボタンを押す

・ 現在視聴中の番組についての詳しい説明が表示されます。

操作の途中で通常の画面に戻りたいとき

● 選局や設定の途中などで、通常の画面に戻りたい場合は、終了ボタンを押す

映像を一時静止したいとき （詳しくは、34ページ）

● 静止ボタンを押す

・ 静止画面と動画の2画面が出ます。
・ もう一度押すと通常の1画面に戻ります。

リモコンの準備

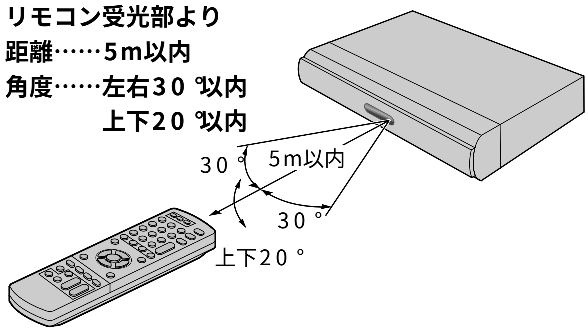
リモコンの使用範囲

● リモコンは本体の受光部に向けて使用してください。

お願い **リモコンについて**

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。

リモコン受光部より
距離……5m以内
角度……左右30 °以内
上下20 °以内

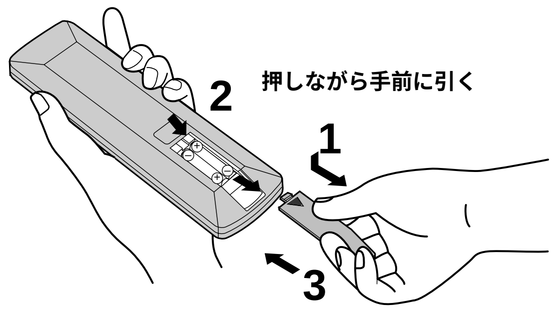


乾電池の入れかた

1 **裏側のフタをはずす**

2 **単4形乾電池(R03またはLR03)を2個、⊕ ⊖を確かめて入れる**

3 **フタをもとどおりに付ける**



⚠ 注意

- **指定以外の乾電池は使用しないこと**
- **乾電池の極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**
  これらを守らないと、液もれなどの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

リモコンでテレビを操作する

● 本機のリモコンで、国内メーカー１１社のテレビを操作することができます。お買い上げ時は、東芝製テレビが動作するように設定されています。他のメーカーのテレビをご使用の場合は、次の操作でメーカー設定を行ってください。

1 **リモコンのテレビ電源ボタン (→19ページ) を押しながら、数字ボタンでメーカー番号を入力する**

テレビ電源　①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ⓪

● メーカー番号は、右の表をご覧ください。

2 **テレビ操作用ボタン (→19ページ) を押して、テレビが動作することを確認する**

メーカー	番号
東芝	００
松下　A	０１
松下　B	０２
シャープ　A	０３
シャープ　B	０４
三菱　A	０５
三菱　B	０６
日本ビクター	０７
日立	０８
三洋　A	０９
三洋　B	１０
ソニー	１１
ＮＥＣ	１２
富士通ゼネラル	１３
パイオニア	１４

お願い

- 安全上のご注意（→9ページ）もあわせてご覧ください。
- 乾電池の寿命は約1年です。（ご使用状況によって変わります。）リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったら2個とも新しい乾電池と交換してください。
- メーカーによっては、Ａ・Ｂ2種類のメーカー番号が用意されています。
  テレビが動作する方に、設定してください。
- 設定した内容は、乾電池交換でお買い上げ時の設定に戻ることがありますので、その場合はもう一度設定してください。

お知らせ

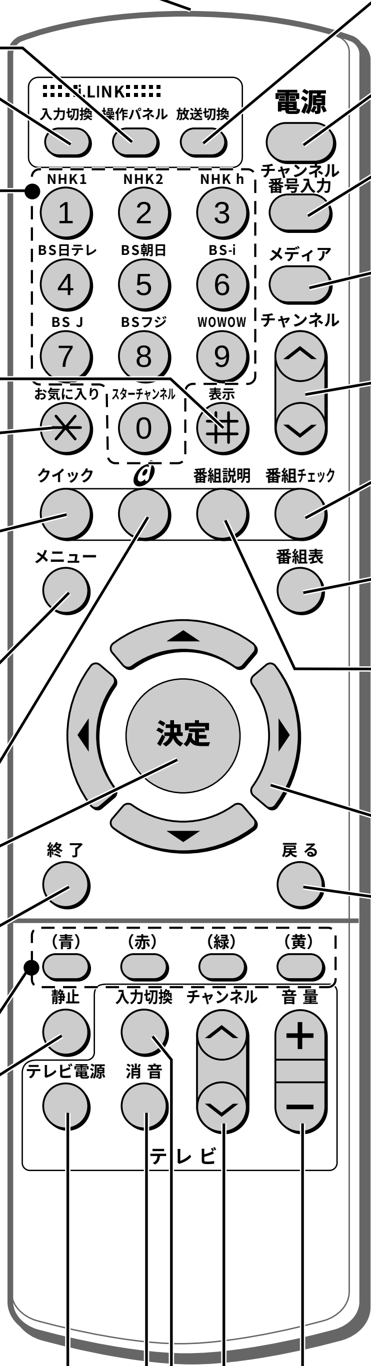
- テレビの機種によっては、操作できない場合や、一部のボタンが動作しない場合があります。

各部のなまえとはたらき

●イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。

リモコン

●詳しくは☞内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)



リモコン発光部

i.LINK操作パネル 81☞

i.LINK入力切換 81☞

i.LINK接続した機器を操作するときに使います。

チャンネルダイレクト(数字) 23☞

チャンネルを選びます。また、数字ボタンとしても使用します。

表示(#) 33☞ 91☞

現在放送しているチャンネルや番組の情報が表示されます。

(「#」は外線発信の設定に使います。)

お気に入り(✳) 31☞ 91☞

お気に入りチャンネルリストが表示されます。

(「✳」はチャンネル選局や外線発信の設定に使います。)

クイック 68☞

便利な機能をクイックメニューとして使います。

メニュー 53☞

いろいろな設定をするときに使います。

d(ディー) 35☞

データ放送を楽しむときに使います。

決定

選んでいる番組や項目を決定します。

終了

メニュー表示などを消して、通常画面に戻ります。

カラーボタン

27☞ 28☞ 29☞ 34☞

左から青、赤、緑、黄色の順にならんでいます。データ放送などで使います。

静止

見ている映像を静止画にするときに使います。

●**テレビ操作用ボタン** 18☞

・ご使用のテレビに合わせて設定を行ってください。

放送切換 24☞

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を切り換えるときに使います。

電源 22☞

本機の電源の入／待機を切り換えます。

チャンネル番号入力 25☞

チャンネル番号を指定して選ぶときに使います。

メディア 24☞

放送メディア(テレビ、ラジオ、データ)を順に切り換えます。

チャンネル ︿・﹀ 24☞

チャンネルを順に選びます。

番組チェック 30☞

今放送されている番組、次に放送される番組、または放送局名のリストから選局できます。

番組表 26☞

番組表をテレビ画面に表示します。

番組説明 33☞

番組についての情報や説明が見られます。

カーソル ▲・▼・◀・▶

項目や番組を選びます。

戻る

設定の途中で前の画面に戻ることができます。

テレビ電源

テレビ電源の入／待機ができます。

消音

テレビの音を一時消すことができます。もう一度押すと、音が出ます。

音量+・−

テレビの音量を調整します。

テレビチャンネル ︿・﹀

テレビのチャンネルを順に選びます。

入力切換

テレビのビデオ入力を切り換えます。

各部のなまえとはたらき つづき

● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。

本体前面部

●詳しくは☞内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています。）

電源待機表示 22☞
・電源が「待機」のときに点灯します。

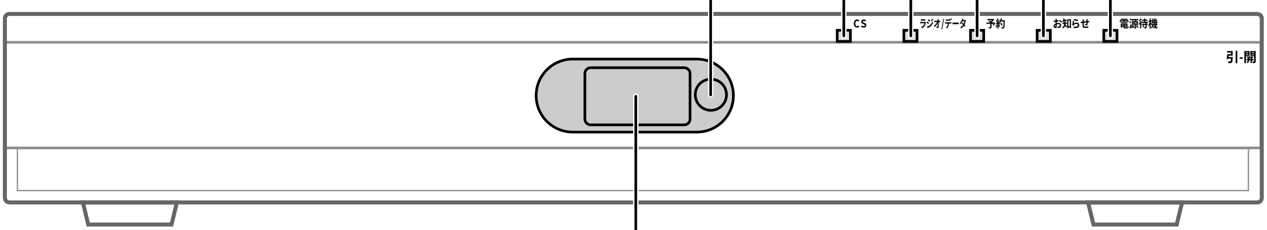
お知らせ表示 67☞
ボード以外の未読のお知らせがあるときに点灯します。

予約表示 59☞
・予約待機時は、橙が点灯します。
・予約動作中は、緑が点灯します。

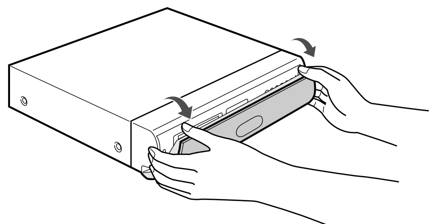
リモコン受光部 18☞
リモコンは受光部に向けて使用してください。

ラジオ/データ表示
・ラジオ受信時は、緑が点灯します。
・独立データ放送受信時は、橙が点灯します。

CS表示
・110度CSデジタル放送受信時に点灯します。



表示窓部
・通常は選択されたチャンネルを表示します。
・映像出力切換時は、映像出力モードを表示します。（→86ページ）
・i.LINKモードの時には、「ı ¦_ 」を表示します。（→81ページ）
・ダウンロード実行中に電源ボタンが押されたとき、「ı_̄¦¦_ 」を表示します。（→125ページ）



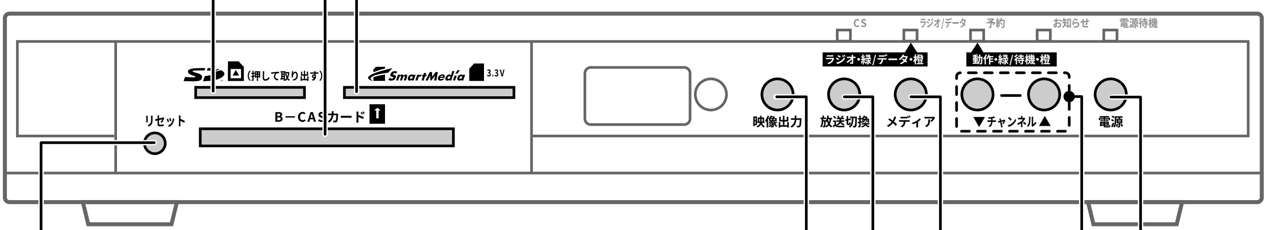
●前面とびらは、とびらの上部を指先で下方に引くとスライドして開きます。

【とびら内】

SDメモリカード挿入口 45☞

B-CASカード挿入口 69☞

スマートメディア™挿入口 45☞



リセット 135☞
すべての操作ボタンを受け付けない状態になった場合は、このボタンをつまようじなどでまっすぐ押して、リセットしてください。

> ※ご注意：リセットボタンを押す場合
> ・先端が折れるようなもの（エンピツやシャープペンシルなど）では、押さないでください。
> ・細くて長い金属類などでは押さないでください。斜めに押した場合、本機内部に入り感電などの原因になることがあります。

映像出力 86☞
映像出力モードを設定するときに使います。

放送切換 24☞ 25☞
BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を切り換えるときに使います。

メディア 24☞
放送メディア（テレビ、ラジオ、データ）を順に切り換えます。

チャンネル▲·▼ 24☞
チャンネルを順に選びます。

電源 22☞
電源入/待機を選びます。

本体背面部

●詳しくは☞内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています。）

S1映像出力端子（ビデオへ） 75〜77 80
ビデオのS映像入力端子につなぎます。

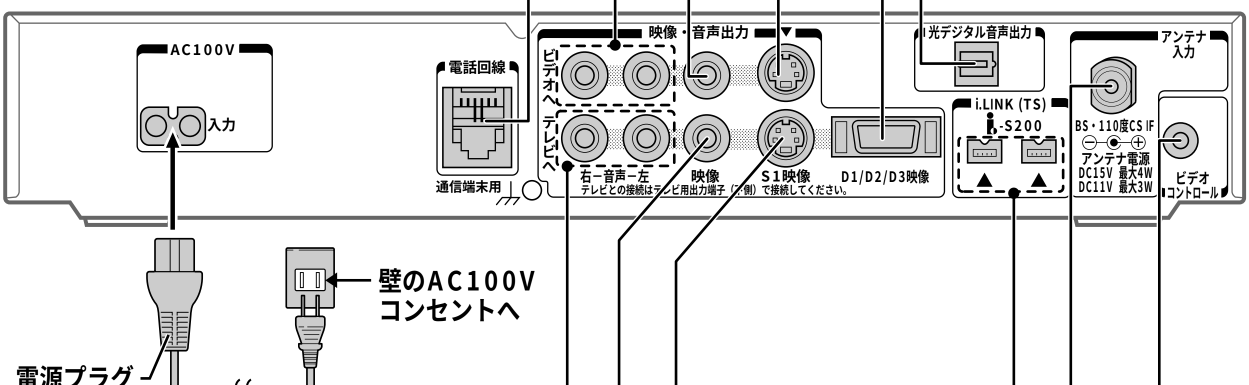
映像出力端子（ビデオへ） 75〜77 80
ビデオの映像入力端子につなぎます。

音声出力端子（ビデオへ） 75〜77 80
ビデオの音声入力端子につなぎます。

電話回線接続端子 71
電話機コード（付属）で、電話回線のジャックにつなぎます。

D1/D2/D3映像出力端子 74 76 77 80
テレビのD映像入力端子または
コンポーネント映像入力端子に
つなぎます。

光デジタル
音声出力端子 78
サンプリングレートコンバーターを
内蔵したMDレコーダーなどの光デ
ジタル音声入力端子につなぎます。



壁のAC100V
コンセントへ

電源プラグ

電源コード
（付属）

音声出力端子（テレビへ） 75〜77 80
テレビの音声入力端子につなぎます。

映像出力端子（テレビへ） 74 75 80
テレビの映像入力端子につなぎます。

S1映像出力端子（テレビへ） 74 75 80
テレビのS映像入力端子につなぎます。

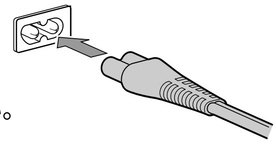
i.LINK端子 80
i.LINK対応機器をつなぎます。

アンテナ入力
（BS・110度CS）端子 70
アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。

ビデオコントロール端子 79
付属のビデオコントロールケーブルをつなぎます。

お願い

■電源コード（付属）の接続について
- 本体背面の電源コード接続端子に付属の電源コードを接続してください。
- 止まるところまでまっすぐ確実に差し込みます。
- 電源プラグは、ビデオなどの連動型コンセントにはつながないでください。
  本機での予約ができなくなります。



警告

■ 電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込むこと
- 交流 100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと発熱によって火災の原因となります。

お知らせ

■S1映像出力端子（ビデオへ）、および映像出力端子（ビデオへ）について
- 上記端子からは文字画面の表示（番組名の表示やメニュー表示、字幕など）やデータ放送は出力されません。

■音声出力端子について
- 音声出力端子（テレビへ）、（ビデオへ）、光デジタル音声出力には同じ音声が出力されます。
  （ただし、光デジタル音声出力の場合、TruSurroundがはたらくのはリニアPCM音声のときのみとなります。）
  音声出力端子（ビデオへ）や光デジタル音声出力にもデータ放送の効果音やメモリカードの静止画再生中の
  BGM（→45、46ページ）などが出力されますので、録画、録音の際にはご注意ください。

番組を選ぶ前の準備

●お買い上げ後は、最初に「デジタル放送をご覧いただくための準備」(→ 15 ページ)を行ってください。
●テレビの操作方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

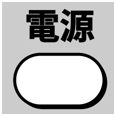


1 テレビの電源を入れる

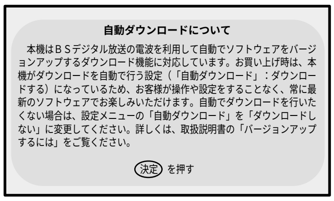
2 テレビのビデオ入力を切り換える

●本機を接続しているビデオ入力に切り換えます。

3 本機の電源を入れる



●電源ボタンを押して、電源を入れます。
・ はじめて電源を入れた際には、右の画面が表示されます。
・ 画面の説明を読んだ後、決定ボタンを押してください。
(「自動ダウンロード」については125ページをご覧ください。)
●映像が出るまでしばらく時間がかかる場合があります。



※画面は変更される場合があります。

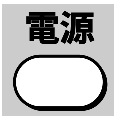
4 番組を選ぶ

・チャンネルダイレクトボタンで選ぶ………… ☞(23ページ)
・チャンネル ∧・∨ ボタンで選ぶ……………… ☞(24ページ)
・チャンネル番号を指定して選ぶ……………… ☞(25ページ)
・番組表で選ぶ…………………………………… ☞(26ページ)

●次のような選びかたもあります。

・ジャンルを指定して選ぶ………………………(→29ページ)
・現在放送中の番組リストから選ぶ…………(→30ページ)
・お気に入りチャンネルリストで選ぶ………(→31ページ)

5 [本機の電源を切るには]
電源が入っているときに、電源ボタンを押す



●電源が切れて「待機」状態になります。

お知らせ

● 本機のリモコンのテレビ操作用ボタンで、テレビを操作する(上記の手順**1**、**2**等)こともできます。その際は、あらかじめ設定が必要です。詳しくは、18ページ「リモコンでテレビを操作する」をご覧ください。

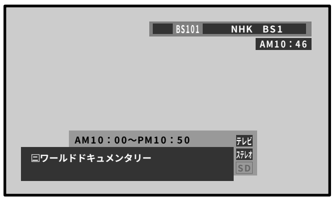
チャンネルダイレクトボタンで選ぶ



● チャンネルダイレクトボタンを押し、チャンネルを選ぶ



- お買い上げ時のチャンネルダイレクトボタンは、下表のように設定されています。
- チャンネルダイレクトボタンの設定を変更することもできます。94ページの「ダイレクトボタン設定」をご覧ください。



■お買い上げ時の状態

リモコンのボタン	設定されている内容	チャンネル	種類
①（NHK1）	NHK BS1	BS101	BSデジタル放送
②（NHK2）	NHK BS2	BS102	
③（NHKh）	NHK ハイビジョン	BS103	
④（BS日テレ）	BS日テレ	BSテレビのチャンネル	
⑤（BS朝日）	BS朝日		
⑥（BS-i）	BS-i		
⑦（BSJ）	BSジャパン		
⑧（BSフジ）	BSフジ		
⑨（WOWOW）	WOWOW		
⓪（スターチャンネル）	スターチャンネル		

※BSデジタル放送の場合、チャンネルダイレクトボタンを押すごとに、同じ放送局の複数のチャンネルを切り換えて選ぶことができます。（①、②、③（NHK）の場合を除きます。）
例）⑨（WOWOW）の場合

・⑨ボタンを押すごとに191→192→193 と選局できます。

※お買い上げ時には、110度CSデジタル放送はリモコンのボタンにチャンネル設定されていません。

お知らせ

- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。
購入のしかたについては36ページをご覧ください。
- 録画予約、一発録画のときなど、チャンネルを変えることができないモードがあります。

チャンネル∧∨ボタンで選ぶ

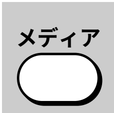


1 放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を選ぶ

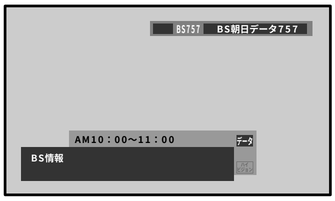


● どちらの放送を選んでいるかは、表示されているチャンネルや番組についての情報でご確認ください。(→33ページ)

2 メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ

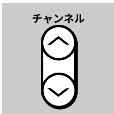


● 例えばBSデジタルを選んでいる場合、押すごとに、BSテレビ→BSラジオ→BSデータと切り換わります。



● テレビモード…BSまたは110度CSデジタル放送のテレビチャンネルをご覧になれます。
● ラジオモード…BSまたは110度CSデジタル放送のラジオチャンネルをお楽しみになれます。
● データモード…BSまたは110度CSデジタル放送のデータチャンネルをお楽しみになれます。

3 チャンネル∧∨ボタンでチャンネルを選ぶ



● 手順**2**で選んだ放送メディアのチャンネルを選ぶことができます。
● ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。購入のしかたについては36ページをご覧ください。

お知らせ

● 本体の放送切換ボタン、メディアボタン、チャンネル▲▼ボタンでも同じように選ぶことができます。
● チャンネルのない放送メディアには切り換えられません。
● スキップ設定されているチャンネルは選局できません。
● 録画予約、一発録画のときなど、チャンネルを変えることができないモードがあります。
● BSデジタル放送を見ているときに、BSチャンネルを選ぶときは放送切換ボタンを押さなくても選べます。（110度CSデジタル放送のCSチャンネルを選ぶときも同じです。）
● 110度CSの各放送メディア内では、放送の種類（プラットワン、スカイパーフェクTV！2）に区別なく選局できます。
● 1つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルのみの選局となります。

チャンネル番号を指定して選ぶ



1 放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を選ぶ



● どちらの放送を選んでいるかは、表示されているチャンネルや番組についての情報でご確認ください。（→33ページ）

2 チャンネル番号入力ボタンを押し、続けて数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ





● 例えば、BSデジタル放送を選んでいる状態で、BS103チャンネルを選ぶ場合…チャンネル番号入力、①、⓪、③と押す
● 存在しないチャンネルは選べません。
● ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。
購入のしかたについては36ページをご覧ください。





見たいチャンネルの番号がはっきりわからない場合

● ✳ボタンを使って、次のように選ぶことができます。
● 例1. BSデジタル放送を選んでいる状態で、300番台のBSデジタルのチャンネルを見たいとき
　チャンネル番号入力、③、✳と押す
　→300番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
　放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。
● 例2. BSデジタル放送を選んでいる状態で、250番台のBSデジタルのチャンネルを見たいとき
　チャンネル番号入力、②、⑤、✳と押す
　→250番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
　放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。
● 110度CSデジタル放送も同様に選ぶことができます。

お知らせ

■本機の出荷後、新たに追加されたり変更された110度CSのチャンネルを選局する場合
・お買い上げ直後や「設定の初期化」（→124ページ）を行った後などには、このページの操作で選局できない場合があります。
その場合には、次の操作を行ってください。
①放送切換ボタンで110度CSデジタル放送を選ぶ
②チャンネル ∧∨ ボタンを押して、受信したい放送の種類（プラットワンまたはスカイパーフェクTV！2）のチャンネル（どのチャンネルでも構いません）を選ぶ
・手順②の操作でチャンネルを受信した後は、このページに記載されている方法で選局できるようになります。
● 録画予約、一発録画のときなど、チャンネルを変えることができないモードがあります。
● BSデジタル放送を見ているときに、BSチャンネルを選ぶときは放送切換ボタンを押さなくても選べます。（110度CSデジタル放送の場合も同じです。）

番組表で選ぶ

● テレビ画面に、BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送の番組表を表示させて、番組を選ぶことができます。



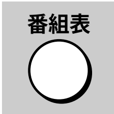
番組の選びかた

1 放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を選ぶ



● どちらの放送を選んでいるかは、表示されているチャンネルや番組についての情報でご確認ください。(→33ページ)

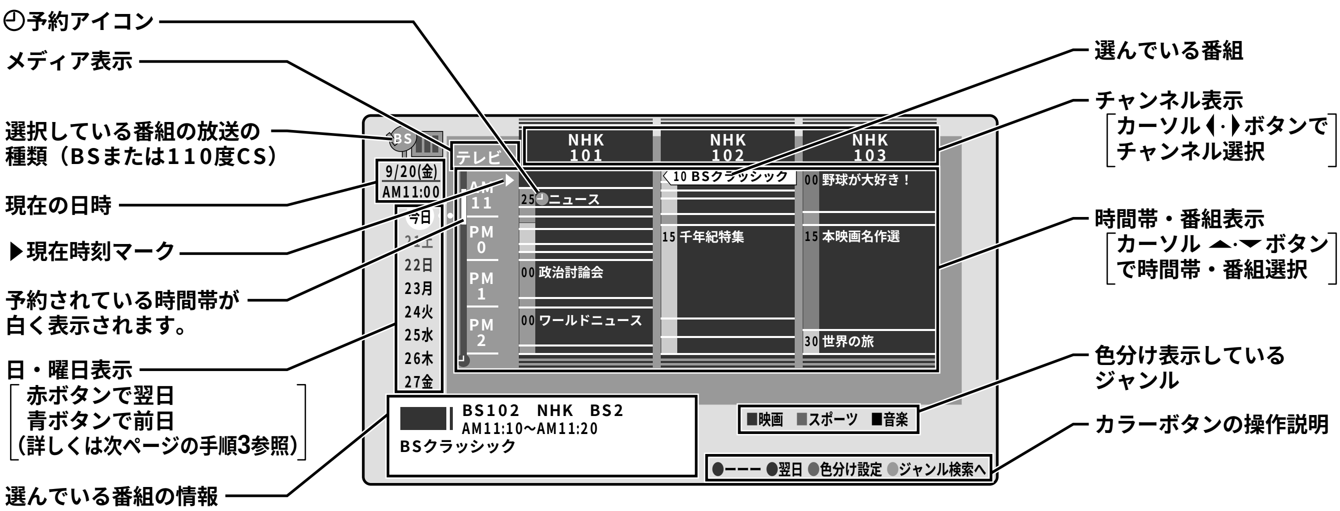
2 番組表ボタンを押す



● 選んだ放送の番組表が表示されます。

BSデジタル放送または110度CSデジタル放送の番組表に切り換えるには

● **放送切換ボタンを押す**

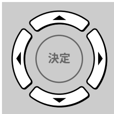


お知らせ

● 電源を「入」にした直後や、放送の種類（BSデジタル、プラットワン、スカイパーフェクTV！2）を変えた直後は番組表が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
● データ放送を視聴しているときは番組表に切り換えられない場合があります。その場合はデータ放送を終了してから操作してください。
● i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど、番組表ボタンがはたらかないモードがあります。
● 番組表表示で放送の種類（BSデジタル、プラットワン、スカイパーフェクTV！2）を切り換えた後、選局をしないで番組表表示を終了した場合には、切り換えた放送で最後に選局していたチャンネルが選局されます。
● 110度CSデジタル放送の番組表を表示しているときには、映像、音声はでません。



3 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで番組を選ぶ



● カーソル ◀・▶ ボタンでチャンネルを選べます。
● カーソル ▲・▼ ボタンで先の時間帯に進むことや、前の時間帯に戻ることができます。（現在の日時よりも前の時間帯には戻れません）

放送メディアを変えたいとき

● **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
・ 放送メディアについては、24ページの手順**2**をご覧ください。

番組についての説明を見たいとき

①番組説明ボタンを押す
● 番組についての説明が見られます。
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

翌日の番組表を見たいとき

● **赤ボタンを押す**

前日の番組表に戻したいとき

● **青ボタンを押す**
・ 今日より前には戻れません。

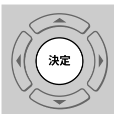
色分け表示するジャンルを変更したいとき

● 28ページをご覧ください。

ジャンルを指定して番組を選ぶときは

● 29ページをご覧ください。

4 決定ボタンを押す



現在放送中の番組を選んだとき

● 選んだ番組が選局されます。

今後放送となる番組を選んだとき

● 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（48ページの手順**2**以降の操作）
予約設定が終わると番組表画面に戻ります。番組予約した番組には ◕ が表示されます。
● 予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→58ページの手順**3**）

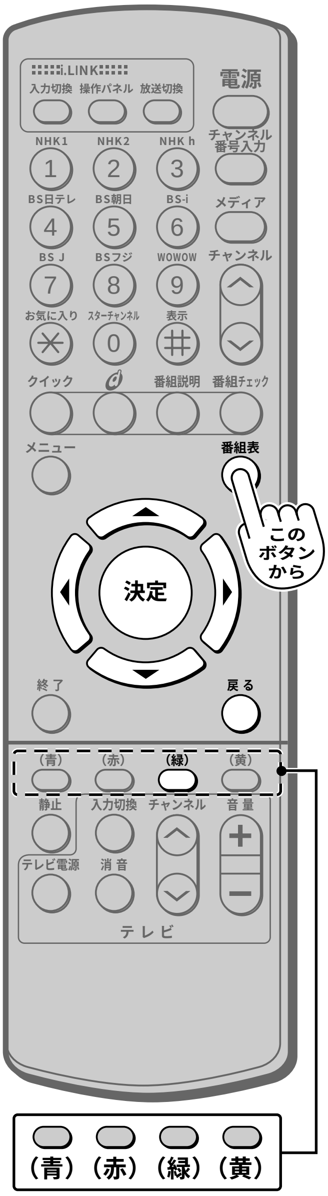
番組表の表示を終了したい場合

● **終了ボタンを押す**

お知らせ

● 番組表データのないチャンネルの場合は表示されません。
● 臨時サービス、事前蓄積用データ放送サービスは、番組表に表示されません。
● 番組表で表示できるのは、最大7日後までですが、チャンネルによって異なる場合があります。

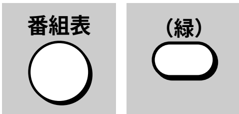
番組表で選ぶ つづき



色分け表示するジャンルを変更するには

- 番組表で色分け表示されているジャンルを変更したい場合は下記の操作を行ってください。
- お買い上げ時は次のように設定されています。
  - ・赤…映画
  - ・緑…スポーツ
  - ・橙…音楽

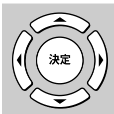
1 番組表ボタンを押し、緑ボタンを押す



- ジャンル色分け設定画面になります。



2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで登録したいジャンルを選び、決定ボタンを押す



- 未登録のジャンルの中から選んでください。

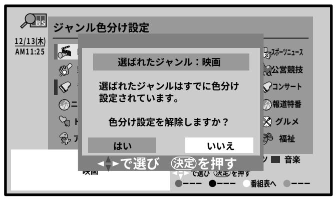


ジャンルの色分け表示を取り消したいとき

①色分け表示を取り消したいジャンル(登録済みのもの)を選び、決定ボタンを押す
- 右のメッセージが表示されます。

②カーソル ◀・▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す
- 選んだジャンルの色分け表示が取り消されます。

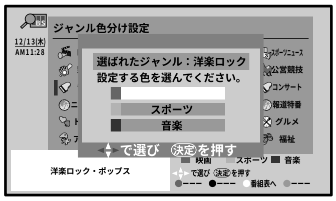
③番組表に戻るには、戻るボタンを押す



3 カーソル ▲・▼ ボタンで設定する色を選び、決定ボタンを押す

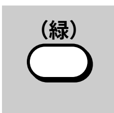


- 選んだ色が設定されます。
- すでに他のジャンルが設定されている色を選んだ場合は、選んだジャンルに入れ換わります。



他のジャンルを登録するときは、手順 2、3 を繰り返す

4 [番組表に戻るには] 緑ボタンを押す

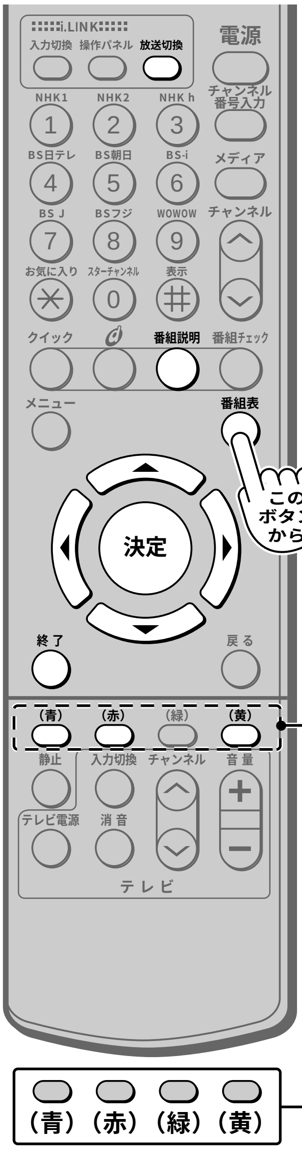


- 登録内容が番組表に反映されます。

お知らせ

- 同じジャンルを複数の色に登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。
- 設定した色分けは、BSデジタル放送の番組表と110度CSデジタル放送の番組表の両方に反映されます。

ジャンルを指定して選ぶ



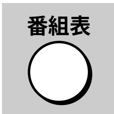
お知らせ

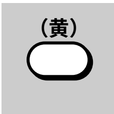
- ジャンル検索画面で黄色ボタンを押すと番組表に戻ります。
- 電源を「入」にした直後や、放送の種類（BSデジタル、プラットワン、スカイパーフェクTV！2）を変えた直後は検索できない場合があります。
- 該当する番組がない場合は、検索結果画面に「該当する番組はありません」が表示されます。
- 録画予約、一発録画のときなど、ジャンル検索がはたらかないモードがあります。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービスは検索されません。

番組の選びかた

- 映画、スポーツなどのジャンルを指定して、番組を探したり、選局することができます。
- ジャンル検索は日付ごとに実行します。従って、検索直後は現在日の検索結果が表示されます。
- ジャンル検索できるのは最大7日後までですが、チャンネルによっては異なります。
  ジャンルについての情報が送られていない番組については検索されません。
- ジャンル検索は、ＢＳデジタル放送または１１０度ＣＳデジタル放送のどちらか指定した方について行います。ＢＳデジタル放送と１１０度ＣＳデジタル放送の両方を検索範囲にすることはできません。

1 番組表ボタンを押し、黄色ボタンを押す





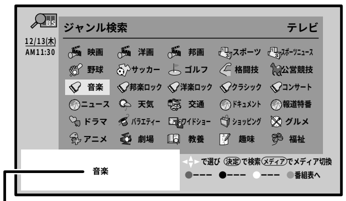
- ジャンル指定画面になります。

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を切り換えたいとき

- **放送切換ボタンを押す**

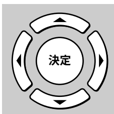
ジャンル検索する放送メディアを切り換えるとき

- メディアボタンで、テレビモード、ラジオモード、データモードを切り換えられます。
  放送メディアについては、24ページの手順**2**をご覧ください。



選択されたジャンルの名称が表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで指定するジャンルを選び、決定ボタンを押す



- ジャンル検索が始まり、日付ごとの検索結果が表示されます。

ジャンル検索結果を切り換えるとき

- 赤ボタンを押すと翌日の検索結果に切り換わります。
- 青ボタンを押すと前日の検索結果に切り換わります。（今日より前には戻れません。）
  - 該当する番組が多い場合、すべての番組を検索できないことがあります。
    その場合は操作ガイドに「●（緑）続きを表示」が表示されます。緑ボタンを押すと続きを検索できます。ただし、前の検索結果に戻ることはできません。



番組についての説明を見るには

①番組説明ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

表示の上、下に ▲・▼ マークがある場合は、カーソル ▲・▼ ボタンで先に進めます。

3 カーソル ▲・▼ ボタンで選局、または予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

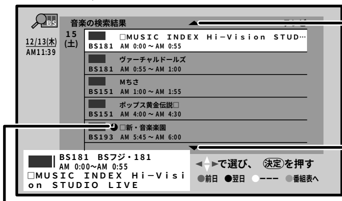


現在放送中の番組を選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

今後放送となる番組を選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（48ページの手順**2**以降の操作）
  予約設定が終わると検索結果の画面に戻り、予約アイコン◕（右図）が追加されます。
- すでに予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→58ページ手順**3**）



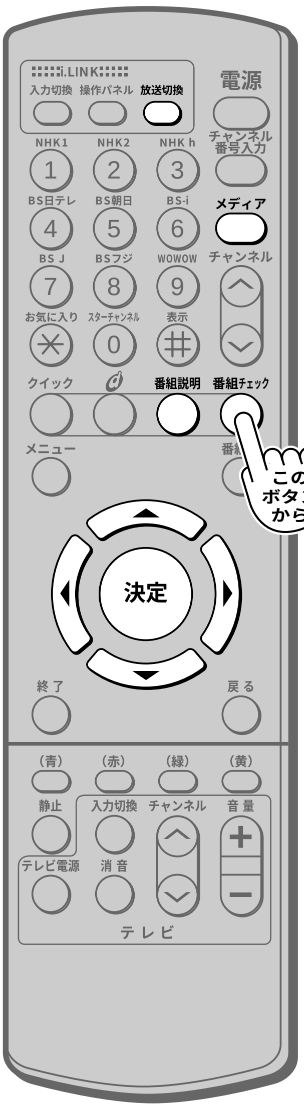
◕ 予約アイコン

ジャンル検索を終了したい場合

- **通常画面に戻るには終了ボタンを押す**
- **番組表に戻るには黄色ボタンを押す**

番組チェックで選ぶ

- 今放送されている番組のリストを表示して選局できます。次に放送される番組のリストで予約をしたり、放送局名リストから選局することもできます。
- 番組のリストには、BS デジタル放送のリストと 110 度 CS デジタル放送のリストがあります。



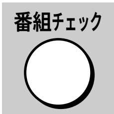
番組の選びかた

はじめに

放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送か、110度CSデジタル放送かを選びます。

- どちらの放送を選んでいるかは、表示されているチャンネルや番組についての情報でご確認ください。（→33ページ）

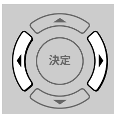
1 番組チェックボタンを押す



- 画面の下部に現在放送されている番組のリストが表示されます。



2 カーソル ◀·▶ ボタンでリストの種類を選ぶ



- 今の番組、次の番組、放送局名のいずれかのリストを選びます。

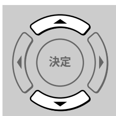
「情報を取得するには（青）を押してください」が表示されたとき

- **上記のメッセージが表示されている番組の情報をリストに表示させるには、青ボタンを押す**

  ■詳しい説明

  ・110度CSデジタル放送の、「今の番組」と「次の番組」のリストは、受信しているCS放送とは異なる種類のCS放送については、そのままでは情報を取得できません。（例えば、今プラットワンを受信している場合は、そのままではスカイパーフェクTV！2の情報を取得できません。）
  青ボタンを押すと、異なる種類の放送の情報を取得します。
  情報を取得中は、映像・音声はでません。

3 カーソル ▲·▼ ボタンで番組（またはチャンネル）を選ぶ



BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を切り換えたいとき

- **放送切換ボタンを押す**

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  ・放送メディアについては、24ページの手順**2**をご覧ください。

番組についての説明を見たいとき

①番組説明ボタンを押す
- 番組についての説明が見られます。
※放送局名リストでは、番組説明ボタンははたらきません。

②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

4 決定ボタンを押す

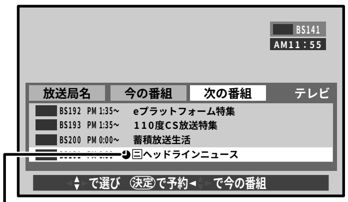


今の番組または放送局名リストで選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

次の番組リストで選んだとき

- 番組指定予約画面になります。予約の設定を行ってください。（48ページの手順**2**以降の操作）
  予約設定が終ると次の番組リストに戻り、予約アイコン◕（右図）が表示されます。
- すでに予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→58ページ手順**3**）

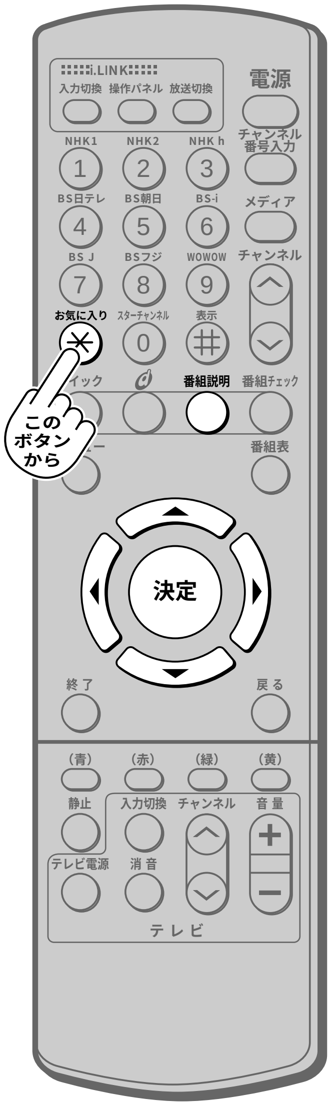


◕ 予約アイコン

お知らせ

- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送は番組のリストおよび放送局名リストには表示されません。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、「今の番組」と「次の番組」表示が、現在時刻表示に対して合わなくなるときがあります。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど、番組チェックボタンがはたらかないモードがあります。

お気に入りで選ぶ



選びかた

● お買い上げ時には、下の表の内容が設定されています。
チャンネルを追加、変更することもできます。(→32ページ)

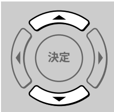
1 お気に入りボタンを押す



● 画面の下部にお気に入りチャンネルリストが表示されます。



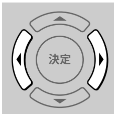
2 カーソル ▲・▼ ボタンでグループを選ぶ

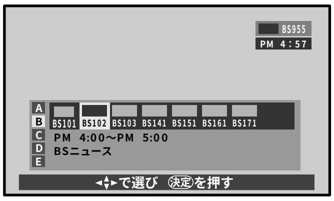


● A・B・C・D・Eの5つのグループのいずれかを選びます。



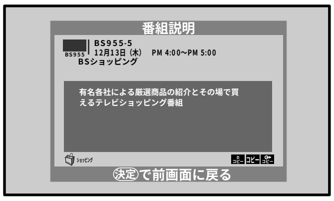
3 カーソル ◀・▶ ボタンでチャンネルを選ぶ



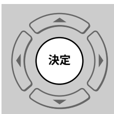


番組についての説明を見たいとき

①番組説明ボタンを押す
● お気に入り選局した番組の説明を見ることができます。
②お気に入りチャンネルリストに戻るには、決定ボタンを押す



4 決定ボタンを押す



● お気に入り画面を終了して、通常画面に戻ります。

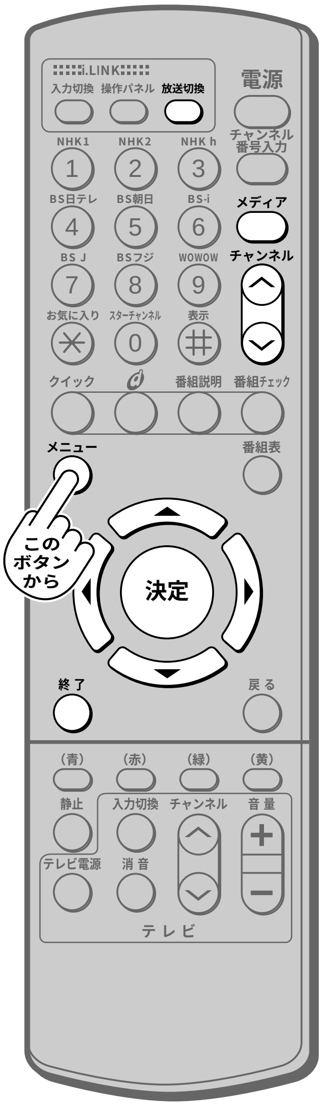
■お買い上げ時に設定されている内容

	1	2	3	4	5	6	7	8
A	メディアサーブ (BS955ch)	日本BS放送 (BS999ch)	メガポート放送 (BS900ch)	日本データ放送 (BS940ch)	DCI放送 (BS933ch)	日本メディアーク (BS963ch)	ウェザーニューズ (BS910ch)	–
B	–	–	–	–	–	–	–	–
C	–	–	–	–	–	–	–	–
D	–	–	–	–	–	–	–	–
E	–	–	–	–	–	–	–	–

お知らせ

● i.LINK操作中、録画予約、一発録画のときなど、お気に入りボタンがはたらかないモードがあります。

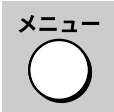
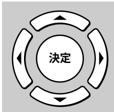
お気に入りで選ぶ つづき



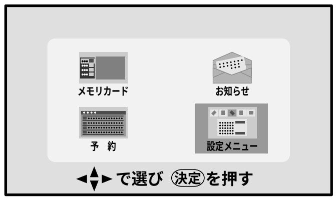
登録のしかた

- 最大5グループに8チャンネルずつ合計40のお気に入りチャンネルを登録できます。
- BSデジタル放送チャンネルと110度CSデジタル放送チャンネルを混合で登録することができます。

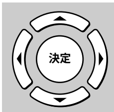
1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

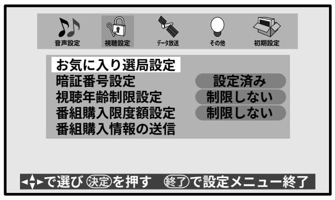
- 設定メニューが表示されます。



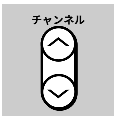
2 カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「お気に入り選局設定」を選んで、決定ボタンを押す



- 「お気に入り選局設定」画面が表示されます。



3 チャンネル ∧・∨ ボタンを押して登録したいチャンネルを選ぶ



BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を切り換えたいとき

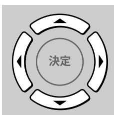
- **放送切換ボタンを押す**

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - ・放送メディアの詳細については24ページの手順**2**をご覧ください。



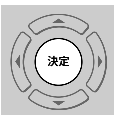
4 カーソル ▲・▼ ボタンでグループを選び、カーソル ◀・▶ ボタンで登録する場所を選ぶ



- グループは、A・B・C・D・Eの5つの中から選びます。



5 決定ボタンを押す



すでに他のチャンネルが登録されている場所を選んだとき

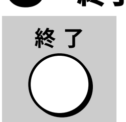
- 登録されていたチャンネルが削除され未登録になります。もう一度決定ボタンを押すと新たに選んだチャンネルが登録されます。

未登録の場所を選んだとき

- 登録されます。

いくつものチャンネルを登録するときは、手順3～5を繰り返す

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す



お知らせ

- 同じグループ内に同じチャンネルを複数登録することはできません。

こんなことがしたいとき

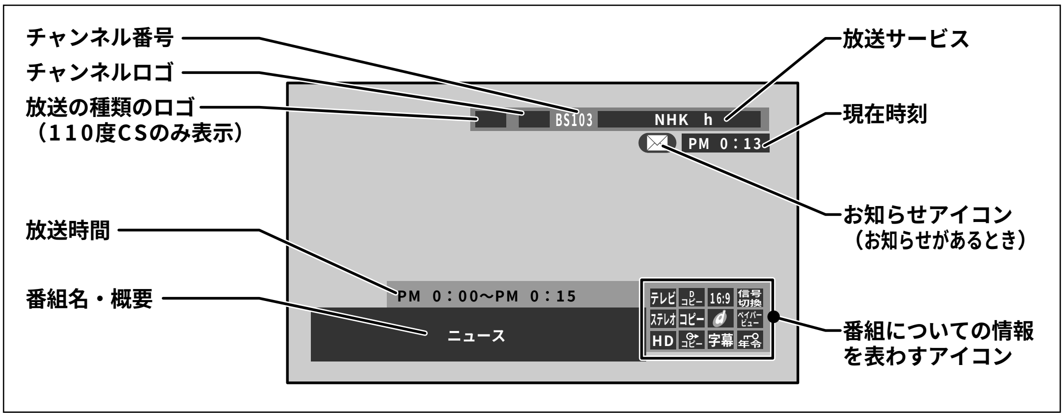


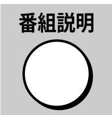
番組についての情報を見る



番組についての情報を見るには

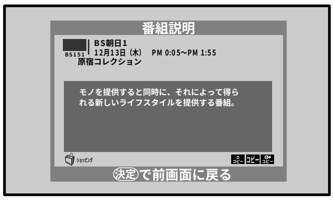
●表示ボタンを押す
- 下記のように現在受信しているチャンネルや番組の情報が表示されます。表示は数秒後に消えます。
- 選局時にも、チャンネルや番組の情報が表示されますが、一部省略された状態で表示されます。





番組についての詳しい説明を見るには

●番組説明ボタンを押す
- 現在視聴中の番組についての説明を見ることができます。
- 説明画面を消すには、決定ボタンを押してください。



表示の上、下に ▲･▼ マークがある場合は、カーソル ▲･▼ ボタンで先に進めます。

■録画や録音が制限されている場合
- ●番組によっては、録画や録音が制限される場合があり、その場合は番組情報や番組説明の画面でアイコンを表示してお知らせします。アイコン表示については132ページをご覧ください。B-CASカードが挿入されていない場合などで判定できない場合はアイコン表示されません。
- ●デジタル録画が制限されている番組のときは、i.LINK端子に信号が出力されない場合があります。

お知らせ

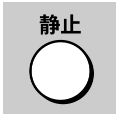
- ● 番組情報や番組説明の画面に表示されるアイコンの詳細は、アイコン一覧（→132ページ）をご覧ください。
- ● i.LINKのデジタル信号によっては、番組の情報が表示されない場合があります。
- ● 番組情報を取得するタイミングによっては、番組情報の表示が、現在時刻表示と合わなくなるときがあります。

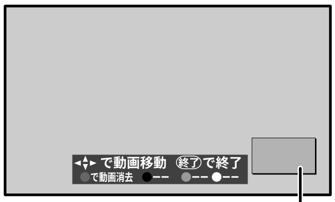
こんなことがしたいとき つづき



映像を一時静止する

●静止ボタンを押す





動画

- 静止画面と動画の2画面が出ます。
- もう一度押すと通常の1画面に戻ります。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど静止画にできないモードがあります。
- 静止画表示中は、データ放送の操作はできません。

動画の位置を変えるには

- カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで、動画を右上、左上、左下、右下に移動することができます。

動画を消すには

- **青ボタンを押す**
  - ・もう一度、青ボタンを押すと動画が表示されます。

番組についての説明が見たいとき

①番組説明ボタンを押す

- 動画についての番組の説明を見ることができます。

②番組説明を消すには、決定ボタンを押す

字幕を見る

- 字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。
- お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。

はじめに

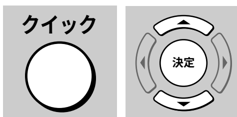
- 視聴中の番組に字幕がある場合は、表示ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。

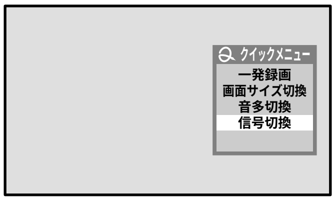
※字幕アイコンが表示されている場合でも、放送信号に字幕データがない場合があります。



アイコン

1 クイックボタンを押し、カーソル ▲·▼ ボタンで「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

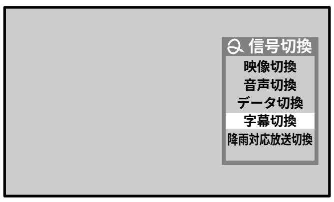




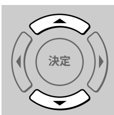
2 カーソル ▲·▼ ボタンで、「字幕切換」を選び、決定ボタンを押す



- 字幕切換画面が表示されます。



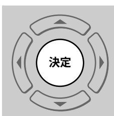
3 カーソル ▲·▼ ボタンで、表示したい字幕を設定する



- 受信する番組によって選べる言語が異なります。
- 字幕を見ないときは「字幕オフ」に設定してください。
- 字幕付きペイ・パー・ビュー番組は購入後に字幕表示ができます。



4 [通常画面に戻るには]
決定ボタンを押す



お知らせ

- 番組によっては最大2つの言語の字幕が送られます。
- 番組によっては、字幕切換画面上に言語名ではなく、「字幕1」「字幕2」と表示される場合もあります。
- アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約を実行している時には、字幕切換はできません。
- S1映像出力端子（ビデオへ）には、字幕は出力されません。

いろいろな放送サービスを楽しむ



データ放送を楽しむ

データ放送の種類

■番組連動データ放送

● BSまたは110度CSのテレビ番組やラジオ番組に関連したデータ放送
例 ・ 野球放送中に他球場の速報を放送
・ クイズ番組への参加など

■独立データ放送

● テレビ番組とは無関係の独立したデータ放送
例 ・ ショッピング（オンライン通販）
・ 天気予報など

お知らせ

● 双方向のデータ放送を楽しむには、電話回線の接続と設定（→71、113ページ）が必要です。
● 録画予約､一発録画実行中など､データ放送の操作はできないモードがあります。
● 番組によっては電話回線の使用料がかかる場合とかからない場合があります。
● 静止画表示などでは、データ放送は操作できません。

番組連動データ放送を楽しむ

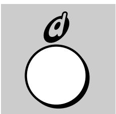
はじめに

表示ボタンを押したときに、画面にアイコン「d」が表示された場合は、下記の操作で番組連動データ放送をお楽しみになれます。
※「d」アイコンが表示されている場合でも､放送信号に番組連動データ放送がない場合があります。



アイコン

1 **dボタンを押す**



● 番組連動データ放送がはじまります。
● 放送によっては、dボタンを押さなくても自動的にデータ放送がはじまる場合があります。

2 **画面に表示される操作指示に従って、操作をする**

3 [データ放送を終了するには]
終了ボタンを押す

独立データ放送を楽しむ

1 **データ放送の番組を選ぶ**

● 選局のしかたは｢番組表で選ぶ｣(→26ページ)や｢番組チェックで選ぶ｣(→30ページ)などをご覧ください。

2 **画面に表示される操作指示に従って、操作をする**

3 [データ放送を最初から受信しなおすには]
終了ボタンを押す

お知らせ

● データ放送受信中は、リモコンや本体の一部のボタンが動作しない場合があります。
● 画面に表示される操作指示で、「dボタン」ではなく、「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。その場合も、dボタンを押して操作してください。

いろいろな放送サービスを楽しむ つづき

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ

● ペイ･パー･ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
つまり、見たい番組についてだけ料金を払ってご覧になることができます。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するための準備

● 15ページの「デジタル放送をご覧いただくための準備」がすべて完了していることが必要です。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するには…

● 37ページ「ペイ･パー･ビュー番組を購入する」の操作で購入してください。

■番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合

● 購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合は基本以外の信号を視聴するために、追加料金が必要な場合があります。
（42ページで視聴したい信号を購入できます）

■ペイ・パー・ビュー番組の録画について

● ペイ･パー･ビュー番組の録画には、次の3通りのサービスがあります。
・ 録画できるもの
・ 録画できないもの
・ 追加料金を払えば録画できるもの（録画購入）
※ペイ･パー･ビュー番組によっては、デジタル録画ができない場合があります。

「録画購入」について

● 視聴購入の場合とは料金が別の場合があります。料金は画面の表示で確認できます。
購入のしかたは、「ペイ･パー･ビュー番組を購入する」（→37ページ）をご覧ください。

■番組購入後の変更について

● 番組購入後の取り消しはできません。
ただし、録画予約したペイ･パー･ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取り消しができます。（→58ページ）
予約を取り消したペイ･パー･ビュー番組は購入されません。
● 番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。

■番組購入限度額を設定するには

● ペイ･パー･ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定できます。
設定のしかたは、「番組購入限度額の設定」（→121ページ）をご覧ください。

■番組購入履歴を見るには

● ペイ･パー･ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。（→39ページ）

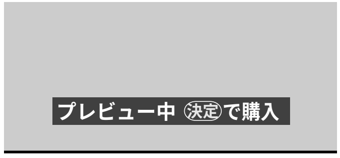


ペイ・パー・ビュー番組を購入する

1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ

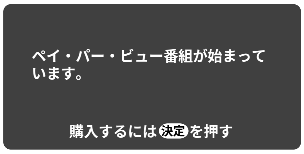
● 次のような画面が表示されます。

プレビュー中の場合

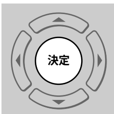


● 右の画面が表示されます。
● 購入する場合は、38ページの手順**2**に進んでください。（プレビューについては、下の「お知らせ」をご覧ください。）

番組が始まっている場合

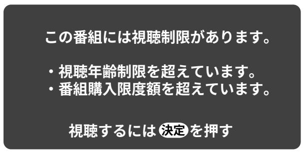


● 右のメッセージが表示されます。
● 購入する場合は、38ページの手順**2**に進んでください。





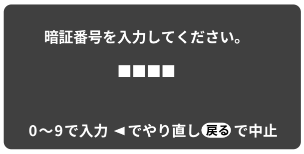
視聴制限がはたらいている場合



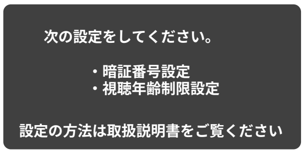
● 右のメッセージが表示されます。
● 番組を購入する場合は、下記の操作を行ってください。

①決定ボタンを押す
・暗証番号入力の画面になります。

②数字ボタンで暗証番号を入力する



・間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押して1桁（けた）目から入力しなおしてください。
・次は、38ページの手順**3**に進んでください。



・右のメッセージが表示されたとき
暗証番号の設定（→118ページ）や、視聴年齢制限の設定（→119ページ）が必要です。

メッセージが表示されて、番組購入ができない場合

●「次の場合には番組を購入できません」（→38ページの「お知らせ」）をご覧ください。

[次のページにつづく]

お知らせ

■プレビューについて
● 番組によっては、番組を選んだときに、しばらくの間視聴できる場合があります。これをプレビューといいます。
プレビューは、番組購入の前に番組内容を確認するのに便利です。
（プレビューが終わった後、チャンネルを変え、もう一度同じ番組を選んでも、プレビューを見ることはできません。）

■番組を購入できる時間について
● 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。
その場合、それ以降は購入できませんのでご注意ください。

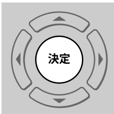
いろいろな放送サービスを楽しむ つづき



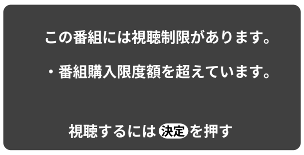
ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ つづき

ペイ･パー･ビュー番組を購入する つづき

2 **決定ボタンを押す**



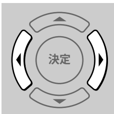
右のメッセージが表示された場合



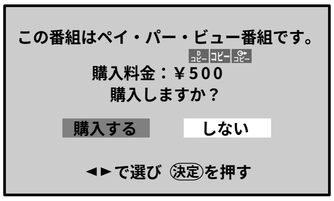
①決定ボタンを押す
- 暗証番号入力の画面になります。

②数字ボタンで暗証番号を入力する

3 **下記の操作を行う**

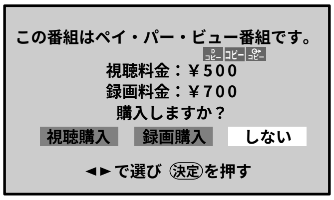


右の画面が表示されている場合



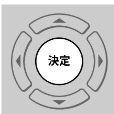
- **カーソル ◀·▶ ボタンで「購入する」を選ぶ**
  - ・購入しない場合は､「しない」を選んでください｡

右の画面が表示されている場合



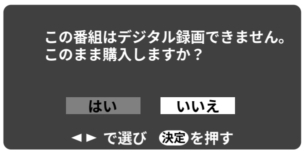
- この場合は､録画するためには視聴とは別の料金が必要です｡
  カーソル ◀·▶ ボタンで､「視聴購入」か「録画購入」を選ぶ
  - ・購入しない場合は､「しない」を選んでください｡

4 **決定ボタンを押す**



- 「番組を購入しました｡」が表示されます｡これで購入の操作は終了です｡

デジタル録画できない番組の場合

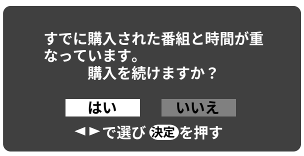


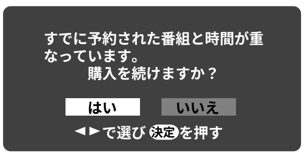
- D-VHSビデオがi.LINK登録されていて(→104ページ)､i.LINK端子経由でデジタル録画できない番組の場合には､右の画面が表示されます｡
  アナログ録画する場合は､カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選んで､決定ボタンを押してください｡

お知らせ

- アナログ録画、デジタル録画については、「一発録画について」(→62ページ)をご覧ください。

すでに購入している番組や予約している番組と時間が重なっている場合





- 決定ボタンを押すと､右のメッセージが表示されます｡
  ①番組を購入する場合は､カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
  - ・購入しない場合は､「いいえ」を選んでください｡

  ②決定ボタンを押す

お知らせ

■次の場合には番組を購入できません。（画面にメッセージが表示されます。）
- 契約していない番組の場合
- 番組を購入できる時間が終了している場合
- 電話回線が正しく接続されていないため、購入情報が送信されていない場合
  - ・「番組購入情報の送信」を行ってください。(→66ページ)
  - ・電話回線の接続と設定を確認してください。(→71、113ページ)

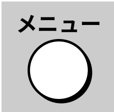
■番組によっては、録画が制限される場合があり、その内容は番組説明画面で確認できます。（→33ページ）

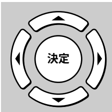


番組購入履歴を見る

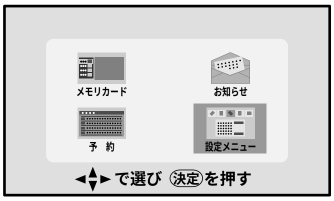
● ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。

1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

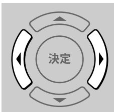


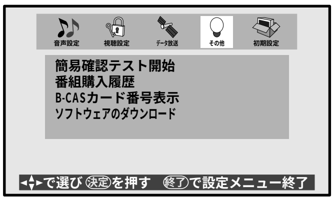


● 設定メニューが表示されます。



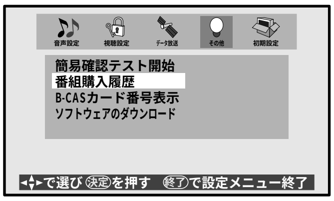
2 **カーソル ◀·▶ ボタンで「その他」を選ぶ**





3 **カーソル ▲·▼ ボタンで「番組購入履歴」を選び、決定ボタンを押す**





4 **番組購入履歴を見る**

● 購入状況が次のように表示されます。
- 購入済み
- 購入エラー
  録画予約実行時に受信障害、停電、番組が放送されなかったなどの理由で購入されなかった場合に表示されます。
  この場合は購入料金はかかりません。
- 取消
  録画予約実行前に、取り消された場合に表示されます。

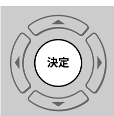


表示の上、下に ▲·▼ マークがある場合は、カーソル ▲·▼ ボタンでページを変えることができます。

番組購入履歴をすべて削除したい場合

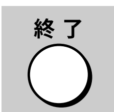
①青ボタンを押す
②カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
③決定ボタンを押す
番組購入履歴がすべて削除されます。

5 **下記を行う**



前画面に戻るには

● **決定ボタンを押す**



通常画面に戻るには

● **終了ボタンを押す**

お知らせ

- 番組購入履歴には３２番組まで表示されます。
- ３２番組を超えた場合は、リスト表示された古いものから順番に削除されます。
- 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→４２ページ）も含みます。

いろいろな放送サービスを楽しむ つづき

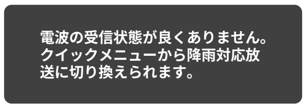


降雨対応放送について

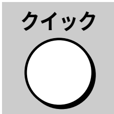
- 衛星を利用した放送では､雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり､放送が受信できなくなる場合があります。
  その場合でも､デジタル放送では､降雨対応放送が行われているときには､下記の操作によって放送をご覧になることができます。

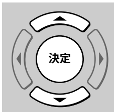
降雨対応放送に切り換えるには

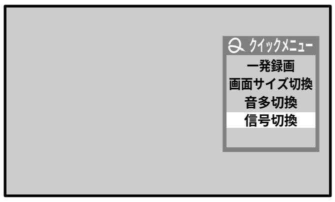
はじめに **右のメッセージが表示された場合は、以下の操作により降雨対応放送に切り換えることができます**



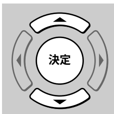
1 **クイックボタンを押し、カーソル ▲·▼ ボタンで「信号切換」を選び、決定ボタンを押す**







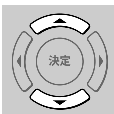
2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「降雨対応放送切換」を選び、決定ボタンを押す**





※降雨対応放送が行われていない場合は､薄く表示されます。

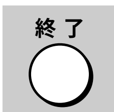
3 **カーソル ▲·▼ ボタンで「降雨対応放送」を選ぶ**



- 選んだ状態に放送が切り換わります。
- 通常の放送に戻すには｢通常の放送｣を選んでください。



4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す



お知らせ

- 電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
- 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品位が落ちる場合があります。
- アナログ方式（ＶＨＳやS-ＶＨＳなど）で録画予約実行時には、降雨対応放送切換の操作はできません。（ただし、自動では切り換わります。）

映像、音声、データを切り換えるとき



映像、音声、データを切り換える

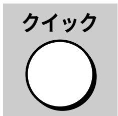
- デジタル放送の場合、１つの番組の中に複数の信号（映像や音声、データ）がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。
- 二重音声（主音声、副音声）の切り換えについては、43ページをご覧ください。

1 複数の信号があることをアイコンで確認する

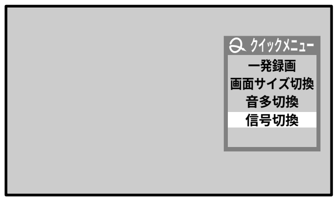
- 複数の信号がある場合は、表示ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。



2 クイックボタンを押し、カーソル ▲・▼ ボタンで「信号切換」を選び、決定ボタンを押す







3 カーソル ▲・▼ ボタンで切り換えたい項目（「映像切換」、「音声切換」、「データ切換」のいずれか）を選び、決定ボタンを押す



- 選んだ切換の画面になります。



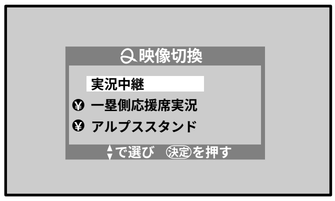
※信号が複数ない場合は、薄く表示されます。

4 カーソル ▲・▼ ボタンでお好みの信号を選び、決定ボタンを押す



Ⓨが表示されている信号について

- 視聴するためには追加料金が必要です。
- 「選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合」（→42ページ）の操作を行ってください。



（「映像切換」を選んだ場合）

表示の上、下に ▲・▼ マークがある場合は、カーソル ▲・▼ ボタンで先に進めます。

お知らせ

- 映像、音声、データの切り換えは、放送受信時、i.LINK入力時に行えます。
- 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。
  （これをマルチビューサービスと呼びます。）
- 選局等の操作を行うと、手順**4**で選んだ状態は取り消されます。
- アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約、一発録画を行っているときなど、信号切換ができないモードがあります。

映像、音声、データを切り換えるとき つづき

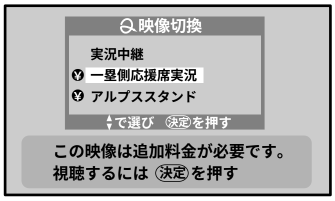


選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合

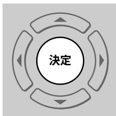
はじめに

41ページの手順4で追加料金が必要な信号を選ぶ

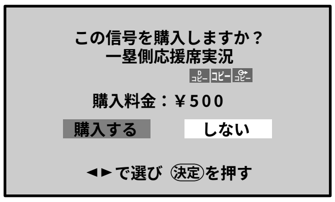
- 右の画面が表示されます。視聴するには以下の操作を行ってください。



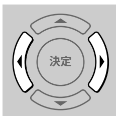
1 決定ボタンを押す



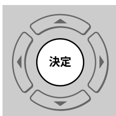
- 右の画面になります。



2 カーソル ◀・▶ ボタンで「購入する」を選ぶ



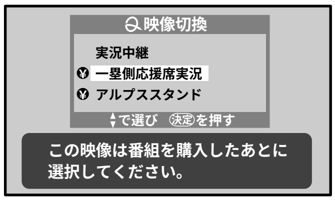
3 決定ボタンを押す



- 選んだ信号が購入されます。
- 購入金額が、あらかじめ設定してある限度額を超えた場合は、暗証番号の入力画面になります。
  購入する場合は、暗証番号を数字ボタンで入力してください。
  購入しない場合は、終了ボタンを押してください。

ペイ・パー・ビュー番組の購入がまだ行われていない場合

- 右のメッセージが表示されます。以下のように、ペイ・パー・ビュー番組の購入を行ってから、ご希望の映像や音声を購入してください。
  ①終了ボタンを押す
  ・ 通常画面に戻ります。
  ②ペイ・パー・ビュー番組を購入する（→37ページ）
  ③「映像切換」または「音声切換」または「データ切換」（→41ページ）の操作をする





音多切換のしかた

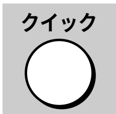
- 二重音声の場合、主音声、副音声、主音声+副音声を切り換えることができます。
- お買い上げ時は「主音声」に設定されています。
- 視聴している番組が二重音声でない場合は、音多切換はできません。

はじめに

- 二重音声の場合、表示ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。

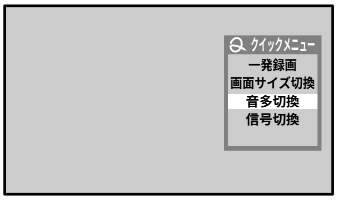


1 クイックボタンを押し、カーソル ▲・▼ ボタンで「音多切換」を選び、決定ボタンを押す

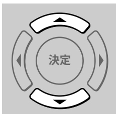


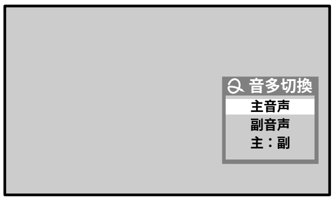


- 音多切換の画面(次の手順の画面)になります。
- 二重音声でない場合は、クイックメニューの「音多切換」は薄く表示されます。



2 カーソル ▲・▼ ボタンで主音声、副音声、主：副を選ぶ



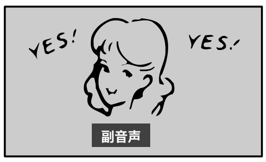


(例:主音声が日本語、副音声が英語の場合)

主音声



副音声

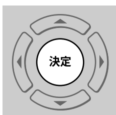


主音声+副音声



	主音声		副音声		主音声+副音声	
音声出力 →	主音声	主音声	副音声	副音声	主音声	副音声
スピーカー →	(左)	(右)	(左)	(右)	(左)	(右)

3 決定ボタンを押す



- 選んだ状態が設定され通常画面に戻ります。

お知らせ

- 音多切換は、二重音声の放送受信時、i.LINK入力時に行えます。
- 選んだ二重音声については、最後に設定した状態が保たれます。従って、選局等の操作を行っても、自動的に最後に設定された状態になります。
- アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画予約、一発録画を行っているときなど、音多切換ができないモードがあります。
- **光デジタル音声出力について**
  ・98ページで光デジタル音声出力端子を「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定している場合で、MPEG-2 AAC音声が出力されている場合には、主音声・副音声の切換は本機ではできません。その場合はMPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。

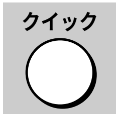
画面サイズを切り換える



画面サイズを切り換える

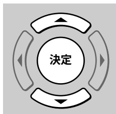
- ワイドテレビで視聴している場合で、「映像出力切換」設定（→86、87ページ）が「d2」または「d3」の場合に、映像の横縦比が4：3の信号を受信したときは画面サイズを切り換えてワイド画面で楽しむことができます。
- 本機の設定が上記以外の場合や、受信した信号の映像の横縦比が4：3の信号以外では、本機で画面サイズを切り換えることはできません。

1 クイックボタンを押す

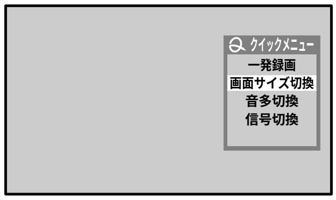


- クイックメニューが表示されます。

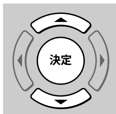
2 カーソル ▲・▼ ボタンで「画面サイズ切換」を選び、決定ボタンを押す



- 画面サイズ切換の画面（次の手順の画面）になります。
- 画面サイズが切り換えられない場合は、クイックメニューの「画面サイズ切換」は薄く表示されます。



3 カーソル ▲・▼ ボタンでご希望の画面サイズモードを選び、決定ボタンを押す



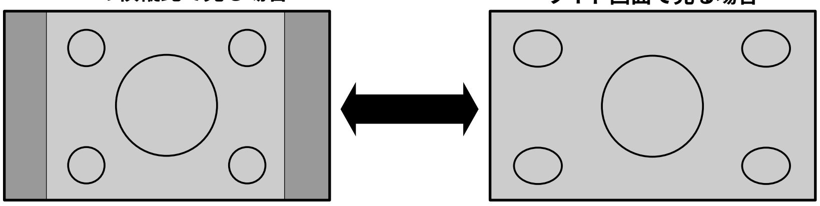
- スーパーライブかノーマルを選びます。



■画面サイズモードについて

- スーパーライブ ：通常（4：3）のテレビ番組をワイド画面で楽しむモードです。
- ノーマル ：通常（4：3）のテレビと同じ画面サイズで楽しむモードです。

4：3の横縦比で見る場合　　**4：3の横縦比の映像をワイド画面で見る場合**



ノーマル　　**スーパーライブ**

［本イラストは「スーパーライブ」のイメージを表したものです。実際の映像の伸縮率とは異なります。］

お知らせ

- ビデオへの映像出力端子の信号については、この切り換えは行われません。
- 番組によっては、いくつかの子画面や選択項目などが画面に表示されて、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンでそれらを選択できるものがあります。その場合、画面サイズをスーパーライブでご覧の際には、選択している部分の枠がずれて表示される場合がありますが、これは故障ではありません。
- 営利目的、または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテル等において画面の大きさを変えるなどの特殊機能（送られてくる映像の縦横比を変えるなど）を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害する恐れがあります。

デジタルカメラの画像（SDメモリカードやスマートメディア™）を見る

SDメモリカードやスマートメディア™を使う

- デジタルカメラでSDメモリカードやスマートメディア™に記録した画像を再生して、テレビ画面で見ることができます。
- 本機で再生できるSDメモリカードやスマートメディア™と記録されているファイルの仕様については下記のとおりです。
  下記以外の場合は再生できません。また、下記の場合でもパソコンのアプリケーションを使って加工や編集をしたファイルは再生できないことがあります。

本機で再生できるメモリカードの仕様について

メモリカードの種類	SDメモリカード	スマートメディア™
記録媒体	3.3V　8/16/32/64/128/256MBに対応	3.3V　2/4/8/16/32/64/128MBに対応

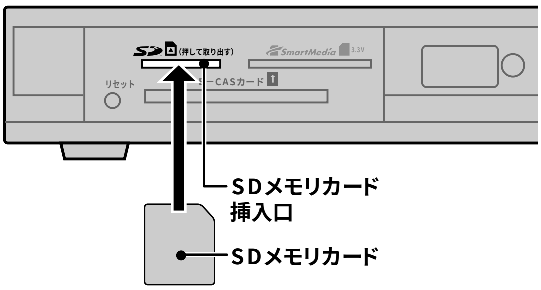
本機で再生できる静止画ファイルについて

圧縮方式	JPEG準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.1準拠
互換ルール	DCF ver1.0準拠

1 **SD メモリカードまたはスマートメディア ™ を挿入する**

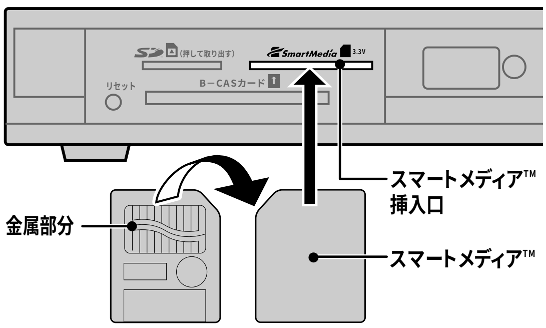
- 数秒たつと、SDメモリカードまたはスマートメディア™に記録した画像が表示されます。

【本体前面部 とびら内】



※SDメモリカードを取り出すときは、SDメモリカードを押してから取り出してください。

【本体前面部 とびら内】



※スマートメディア™は金属部分を裏側にして挿入してください。

お願い

- カードを差し込むときの上下（表裏）の向きにご注意ください。
  本体前面（とびら内）のマーク（SDメモリカード）、（スマートメディア™）に向きを合わせて差し込んでください。
  スマートメディア™は、裏返しにして挿入してください。金属部（金色）は裏側になります。
- SDメモリカード、スマートメディア™の取り扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 自動的に画像再生されるのは1画面で放送を視聴しているときだけです。また1画面でもi.LINKモード、録画予約、一発録画のときなどは、自動的に画像再生はされません。

■画像再生モードを終了した後に再度画像を再生したい場合は、 次の操作で画像再生モードになります。

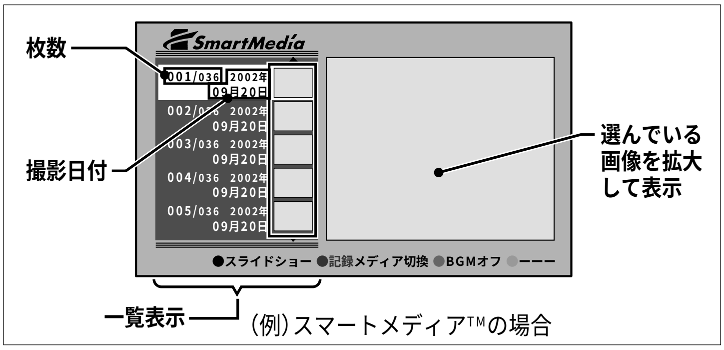
①メニューボタンを押す（SDメモリカードやスマートメディア™が差し込まれている状態で）
②カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「メモリカード」を選び、決定ボタンを押す
- SDメモリカードとスマートメディア™の両方が挿入されているときは、SDメモリカードの画像が表示されます。
  記録メディアを切り換える場合は、赤ボタンを押してください。

[次のページにつづく]

デジタルカメラの画像(SDメモリカードやスマートメディア™)を見る つづき

SDメモリカードやスマートメディア™を使う つづき

2 カーソル ▲·▼ ボタンで見たい画像を選ぶ



(例)スマートメディア™の場合

● 選んだ画像が右側に拡大して表示されます。

記録メディアを切り換えるとき

● **赤ボタンを押して、記録メディアを選ぶ**
- SDメモリカードとスマートメディア™が交互に切り換わります。

スライドショー表示で見るとき



● 現在選んでいる画像から自動的に順番に表示させて見ることができます。
● **青ボタンを押す**
- スライドショーモードになります。

スライドショーを一時止めるには

● **赤ボタンを押す**
- 再度赤ボタンを押すと、スライドショーが再開されます。

スライドショー表示を止めて、一覧表示に戻るには

● **青ボタンを押す**
- または、戻るボタンを押します。

BGM(背景音)を消すには

● **緑ボタンを押す**
- 緑ボタンを押すごとに「BGMオン」と「BGMオフ」が交互に切り換わります。(スライドショーや一覧表示の画像再生中に「BGM」をオン/オフすると、再生画像が止まる場合があります。)

お知らせ

■スライドショー表示のとき
- ●カーソル ▲·▼ ボタンを押すと、画面の「枚数」表示が切り換わり、見たい画像を選ぶことができます。
- ●表示ボタンを押すと、画像以外の表示を消すことができます。再び表示するにはもう一度表示ボタンを押します。

3 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

お願い

- ● カードのファイルを再生しているときは、カードを取り出したり、リセットボタンを押したり、電源コードを抜かないでください。
  記録されているデータが破壊される可能性があります。
- ● カードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また触れないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布でふいてください。
- ● 正しく再生されないときは、カードの金属部(金色の部分)をきれいにして挿入してください。
- ● デジタルカメラで撮影した静止画の取り扱いかたについては、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ● カードのインデックスエリアには、カードに付属のインデックスラベルをご使用ください。市販のラベルなどは貼らないでください。カードの出し入れの際、故障の原因となります。

お知らせ

■次のメッセージが表示されたときは画像を再生できません。

「画像データがありません」
- ● 本機で再生できる画像データがありません。

「画像データを表示できません」
- ● データに欠落などがあるため、本機で再生することができません。

「SDメモリカード(スマートメディア)のフォーマットが違うため、画像データを表示できません」
- ● 本機で対応しているSDメモリカード(スマートメディア™)ではありません。

「スマートメディアを確認してください」
- ● 3.3Vのスマートメディア™をご使用ください。(前ページ参照)

「SDメモリカード(スマートメディア)が挿入されていません」
- ● SDメモリカード(スマートメディア™)を挿入してください。

- ● **メモリカードの画像を表示中は、「ビデオへ」のS1映像出力端子または映像出力端子および音声出力端子からは信号が出力されません。**
- ● カードに記録されている容量によっては、記録されているファイルをすべて再生できない場合があります。
- ● ID付きスマートメディア™ のID機能には対応していません。
- ● スマートメディア™ (SmartMedia™)は(株)東芝の商標です。

録画予約/視聴予約

- 番組表の画面などで番組を指定することで、予約を行うことができます。ビデオを連動させて、録画予約を行うこともできます。詳しくは下記をご覧ください。
- 予約を行う際は、「予約についての注意事項」（→ 61 ページ）もご覧ください。

録画予約/視聴予約について

■予約の種類

- 予約には、番組指定予約と日時指定予約があります。
  - ・番組指定予約…番組表画面などで、番組を指定して予約を行います。通常はこの方法で予約します。
  - ・日時指定予約…日と時間を指定して予約します。放送時間の長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。
- さらに番組指定予約・日時指定予約のそれぞれについて、録画予約または視聴予約が行えます。
  - ・録画予約…本機からビデオなどの録画機器をコントロールして、録画予約を行うときに使います。
  - ・視聴予約…予約実行時に視聴だけをする場合に使います。

■予約できる番組数

- 視聴予約、録画予約合わせて最大32番組です。

■「録画予約」について

- 録画予約には2つの種類があります。

1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

- ・付属のビデオコントロールケーブルを使います。
- ・予約時間になるとビデオコントロールケーブルからビデオのリモコン信号を出してビデオをコントロールし、録画を行います。

お知らせ

- S1映像出力端子（ビデオへ）および映像出力端子（ビデオへ）からは、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示、字幕など）やデータ放送は出力されません。

2 i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

- ・i.LINK端子からビデオをコントロールして録画を行います。

■「録画予約」をする前の準備

- 「録画予約」を行うには、次の準備が必要です。

1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

①「各機器とのつなぎかた」(→74～77ページ)で、本機とビデオやテレビを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置(→79ページ)
③接続されるビデオの機種設定(→110～111ページ)

お知らせ

- 上記の準備は録画機器をビデオコントロールケーブルで連動させる場合です。ビデオコントロールケーブルを使わない場合（非連動）は、本機で予約した後、ビデオなどの録画機器でも予約を行うことが必要です。

2 i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画をする場合

①i.LINK端子を使って本機とビデオを接続する(→80ページ)
②「i.LINK設定」を行う(→104～109ページ)

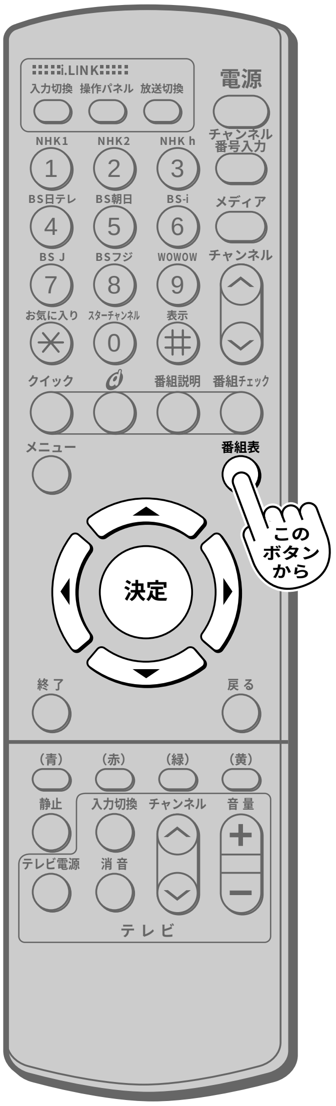
お知らせ

- 「i.LINKについて」（→84、85ページ）もご覧ください。
- i.LINK端子からは通常、メニュー表示などは出力されません。

お願い

- D-VHSビデオを使用して、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）の録画を行う場合は、上の「1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合」の準備を行ってください。また、「i.LINK端子付きD-VHSビデオとのつなぎかた」（→80ページ）で接続を行ってください。

録画予約/視聴予約 つづき

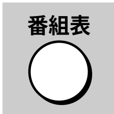


予約のしかた（番組を指定して予約する場合）

はじめに

●録画予約を行う場合は「「録画予約」をする前の準備」（前ページ）を行う

1 番組表ボタンを押す

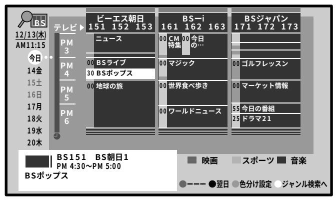


●番組表が表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、予約したい番組を選び、決定ボタンを押す



●今後放送される番組を選んでください。



■次のメッセージが表示された場合

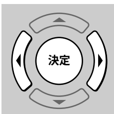
●「番組購入情報がいっぱいのため、番組予約はできません。」
・ 決定ボタンを押すと番組表画面に戻ります。
「番組購入情報の送信」(→66ページ)を行ってください。

●「番組予約ができません。次の設定をしてください。」
・「暗証番号の設定」(→118ページ)、「視聴年齢制限の設定」(→119ページ)を行ってください。

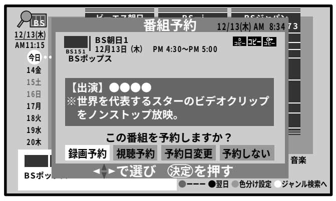
■次のメッセージが表示された場合は、57ページをご覧ください。

●「予約数がいっぱいです。」
●「すでに購入された番組と時間が重なっています。」
●「他の予約と時間が重なっています。」
●「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」

3 カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴予約」、「録画予約」のどちらかを選び、決定ボタンを押す



●録画が禁止されている番組の場合には、録画予約はできません。
（その場合は、「この番組は録画予約できません。」のメッセージでお知らせします。）



視聴予約を選んだ場合

●これで予約設定完了です。

録画予約を選んだ場合

●手順**4**に進んでください。

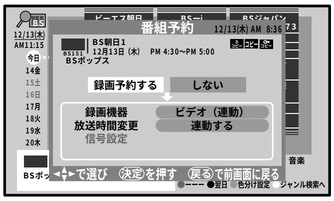
予約日を変更したい場合

●予約日を毎日、毎週などに変更することができます。
・ 詳しくは、52ページをご覧ください。

お知らせ

● 独立データ放送はアナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画予約はできません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られる文字などの情報はアナログ方式（VHSやS-VHSなど）での録画はできません。
● ジャンル検索や番組チェックで次に放送される番組を選んだ場合にも予約ができます。（→29、30ページ）

4 設定内容を画面で確認する



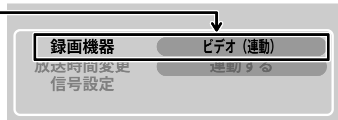
●確認する内容は下記のとおりです。

変更が必要な場合は、51ページをご覧ください。

①「録画機器」

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

●「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」が表示されていることを確認してください。

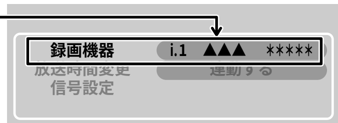


お知らせ

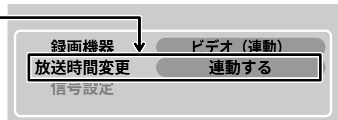
●「ビデオ機種設定」（→110 ページ）でメーカーを設定した場合は「ビデオ（連動）」が表示されます。
●「該当なし」に設定した場合には「ビデオ（非連動）」が表示されます。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

●録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。



②「放送時間変更」
（放送時間変更に連動する／連動しないの設定）



③「信号設定」(i.LINKを使ってデジタル録画する場合は必要ありません)
●録画する映像や音声信号の設定です。
●変更しない場合は、基本の映像、音声信号が録画されます。
●信号設定については、右上の画面には設定内容が表示されません。
設定内容を確認する場合や変更する場合は、51ページで行ってください。

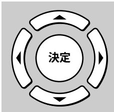
［次のページにつづく］

録画予約/視聴予約 つづき

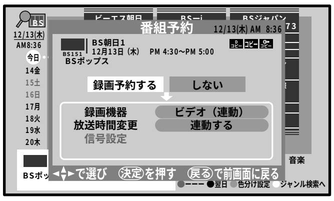


予約のしかた（番組を指定して予約する場合）つづき

5 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「録画予約する」を選び、決定ボタンを押す

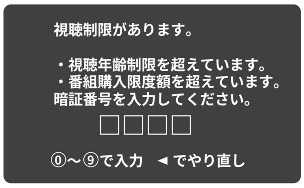


● 予約設定はこれで完了です。
次は手順**6**を行ってください。

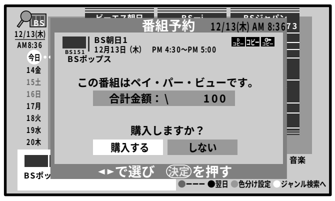


次の画面が表示されたとき

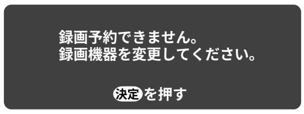
● 番組に視聴制限がはたらいています。
・ 録画予約する場合は、数字ボタンで暗証番号を入力する
・ 間違って入力した場合はカーソル ◀ ボタンを押し、もう一度1桁目から入力してください。



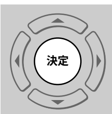
● 選んだ番組はペイ・パー・ビュー番組です。
・ 録画予約する場合は、カーソル ◀・▶ ボタンで「購入する」を選び、決定ボタンを押す
・ 録画するには画面に表示された料金がかかります。
・ 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→51ページ「信号設定」）も含みます。



● 設定されている録画機器では、デジタル録画予約することはできません。決定ボタンを押した後、複数のD-VHSビデオを登録している場合は、「録画機器の設定」（→107ページ）で、他のビデオに変更してください。

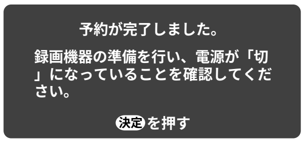


6 下記の準備を行い、決定ボタンを押す



アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

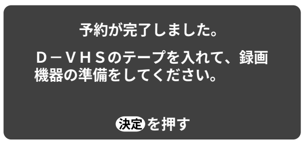
● **ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合**
①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する（→79ページ）
②録画機器の準備をする
・ **録画するビデオテープを録画機器に入れる**
・ **録画機器の入力切換を行う（本機が接続されている入力に切り換える）**
・ **録画機器の電源を切（待機）にする**



● **ビデオコントロールケーブルを使わない場合**
・ 録画機器で予約の設定を行ってください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

● 録画するD-VHSテープをビデオに入れてください。



お知らせ

● 独立データ放送はアナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画予約はできません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られる文字などの情報はアナログ方式（VHSやS-VHSなど）での録画はできません。
● ジャンル検索や番組チェックで次に放送される番組を選んだ場合にも予約ができます。（→29、30ページ）

■**i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合**
● 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。
（機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードとなるものがあります。その場合の画質については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。）
● 番組によっては、録画できない場合があります。
（その内容のメッセージが画面に表示されます。）
● データ放送は、番組情報が送られない場合デジタル録画予約できない場合があります。



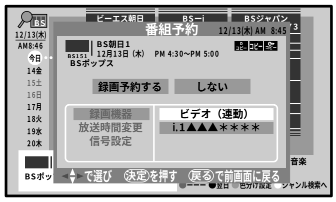
予約設定内容を変更する場合

● 49ページの手順**4**の画面で、予約設定の内容を変更する方法について説明します。

■「録画機器」の変更



①カーソル ▲·▼ ボタンで「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲·▼ ボタンで下記のように設定し、決定ボタンを押す



アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

●「録画機器」を「ビデオ（連動）」または「ビデオ（非連動）」（どちらか表示されているもの）に設定してください。
※「ビデオ機種設定」（→110ページ）でメーカーを設定した場合は「ビデオ（連動）」が表示されます。
「該当なし」にした場合には「ビデオ（非連動）」が表示されます。

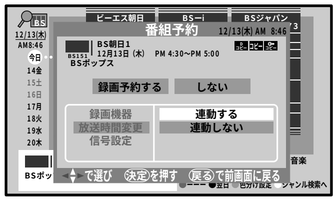
i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

●「録画機器」をi.LINK機器に設定してください。（ここでは、「録画機器の設定」（→107ページ）で設定したi.LINK機器のみが設定できます。）

■「放送時間変更」（放送時間変更に連動する／連動しないの設定）



①カーソル ▲·▼ ボタンで「放送時間変更」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲·▼ ボタンで「連動する」または「連動しない」を選び、決定ボタンを押す
● お買い上げ時は、「連動する」の状態になっています。

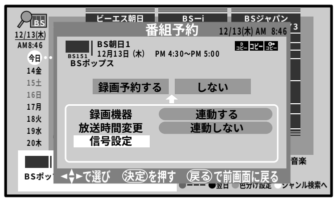


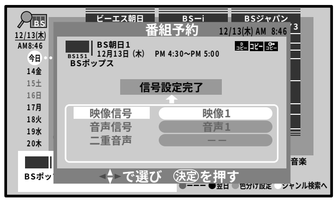
■「信号設定」(i.LINKを使ってデジタル録画する場合は必要ありません)



● 録画する映像や音声信号の設定です。
①カーソル ▲·▼ ボタンで「信号設定」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲·▼ ボタンで設定する内容を選び、決定ボタンを押す
・ 設定項目は、下記のとおりです。
・ 映像信号
・ 音声信号
・ 二重音声

● 信号の追加購入のしかたは、42ページをご覧ください。





お知らせ

●「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合
・予約番組が時間変更された場合に、自動的に時間に合わせて録画予約を実行します。最大3時間までの番組開始時刻の遅れに対応します。
（番組開始時刻が早くなった場合には対応していません。）
選んだ番組がペイ・パー・ビューの場合は自動的に「連動する」の設定になります。

●「連動する」に設定されていても正常に連動動作しない場合があります。
（→詳しくは60ページ）

録画予約/視聴予約 つづき



予約のしかた（番組を指定して予約する場合）つづき

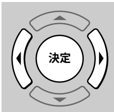
予約日を変更する場合

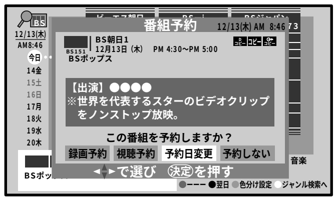
● 毎日、毎週など、予約日を変更する方法について説明します。

お知らせ

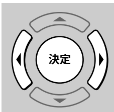
● 予約日の変更は次のような場合に便利です。
例：毎日または毎週同じ時間に放送される連続ドラマなどの場合、毎日、毎週などを指定して予約できるので便利です。

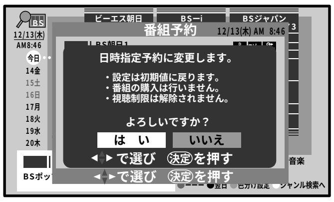
1 **48ページ手順3の画面で、カーソル ◀·▶ ボタンで「予約日変更」を選び、決定ボタンを押す**



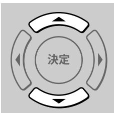


2 **画面の説明を読んだ後、カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**

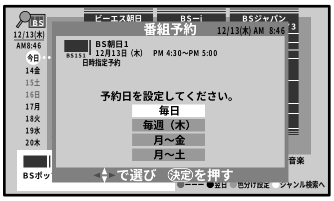




3 **カーソル ▲·▼ ボタンで予約日を選ぶ**

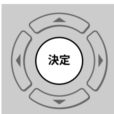


● カーソル ▲·▼ ボタンを押すことにより、次のように表示が変わります。



- 毎日 ……毎日予約を実行
- 「毎週（月）」～「毎週（日）」 ……番組指定予約で設定中の曜日のみ毎週予約を実行
- 「月～金」 ……月曜日から金曜日まで毎日予約を実行
- 「月～土」 ……月曜日から土曜日まで毎日予約を実行

4 **決定ボタンを押す**



■**次のメッセージが表示された場合は、57ページをご覧ください。**
●「すでに購入された番組と時間が重なっています。」
●「他の予約と時間が重なっています。」
●「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」

5 **カーソル ▲·▼ ボタンで「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定ボタンを押す**



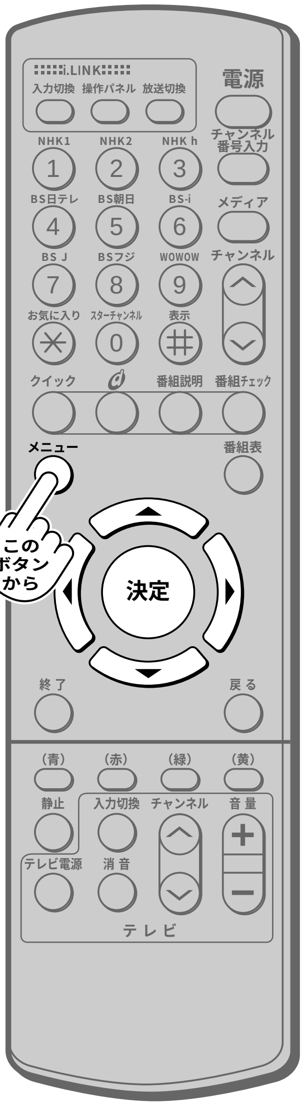
● 予約設定は、上の手順**2**の画面で表示された内容のもとで行われます。（左の「お知らせ」参照）
● 視聴予約の場合は、これで終了です。

6 **55 ページ手順 11 以降を行う**

お知らせ

● 予約日を変更して予約した場合、次のようになります。
・ペー・パー・ビュー番組の購入は行われません。
・視聴制限は解除されません。
・録画予約での放送時間変更の設定はできません。
・アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合、録画予約で二重音声の設定を行えますがそれらがない番組では無効となります。

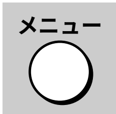
予約のしかた（日時を指定して予約する場合）

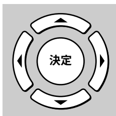


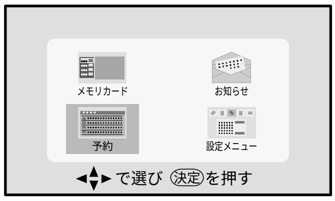
- 日と時間を指定して予約します。放送時間が長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。
- 毎日、毎週、月～金、月～土などの予約が選べます。
- 日時指定予約は次のような場合に便利です。

例：複数番組を録画予約する場合で、前の番組の終了時刻と後の番組の開始時刻が同じ場合
・そのままでは、前の予約番組の終わり部分が少し欠けることとなりますが、後の番組の予約開始時刻を遅い時刻に変更することにより、前の予約番組を終わりまで録画させることができます。

1 メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「予約」を選び、決定ボタンを押す







2 カーソル ▲·▼ ボタンで「日時指定予約」を選び、決定ボタンを押す





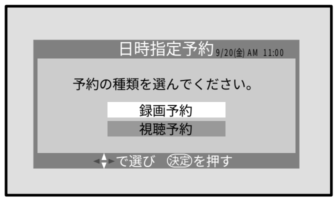
右のメッセージが表示された場合

- 57ページをご覧ください。

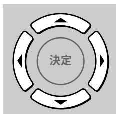
「予約数がいっぱいです。
他の予約を取り消しますか？」

3 カーソル ▲·▼ ボタンで「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定ボタンを押す



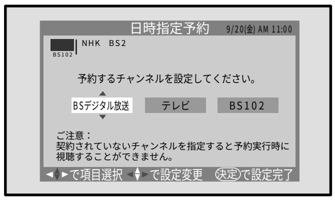


4 カーソル ◀·▶ ボタンで放送の種類（左端の項目）を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで設定する

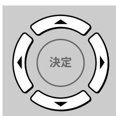


- カーソル ▲·▼ ボタンを押すごとに下のように切り換わります。

BSデジタル放送 ←→ 110度CS



5 カーソル ◀·▶ ボタンでメディアタイプ（まん中の項目）を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで設定する



- カーソル ▲·▼ ボタンを押すごとに下のように切り換わります。

→ テレビ ←→ ラジオ ←→ データ ←

お知らせ

- 日時指定予約の場合、次のようになります。
  - ・日時指定予約ではペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
  - ・日時指定予約の録画予約では放送時間変更の設定はできません。
  - ・アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合、録画予約で二重音声の設定を行えますが、それらがない番組では無効となります。

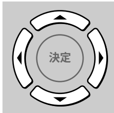
[次のページにつづく]

録画予約/視聴予約 つづき



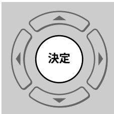
予約のしかた（日時を指定して予約する場合）つづき

6 カーソル ◀·▶ ボタンでチャンネル番号（右端の項目）を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで設定する



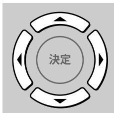


7 決定ボタンを押す



- 日時指定画面になります。

8 カーソル ◀·▶ ボタンで予約日（左端の項目）を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで設定する

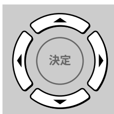


- カーソル ▲·▼ ボタンを押すことにより、次のように設定できます。

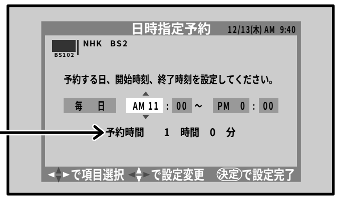


- 日付（6週間先まで表示されます）……指定した日のみ予約を実行
- 毎日……毎日予約を実行
- 「毎週（日）」～「毎週（土）」……毎週、指定した曜日のみ予約を実行
- 「月～金」……月曜日から金曜日まで毎日予約を実行
- 「月～土」……月曜日から土曜日まで毎日予約を実行

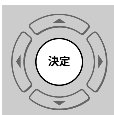
9 カーソル ◀·▶ ボタンで予約開始時刻または終了時刻を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで設定する



- 画面下に予約時間が表示されます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。



10 決定ボタンを押す



- 時刻設定に誤りがある場合は、メッセージが表示されます。決定ボタンを押して、時刻設定をやり直してください。他のメッセージが表示された場合は、57ページをご覧ください。

手順3で視聴予約を選んだ場合

- これで予約設定完了です。

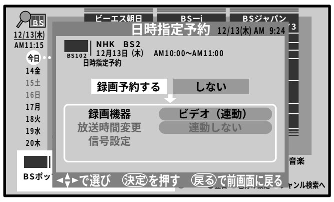
手順3で録画予約を選んだ場合

- 手順**11**に進んでください。

お知らせ

- 手順**6**で、受信契約していないチャンネルを指定すると、予約実行時に視聴や録画ができません。

11 設定内容を画面で確認する



●確認する内容は下記のとおりです。

①「録画機器」

変更が必要な場合は、51ページをご覧ください。

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

●「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」が表示されていることを確認してください。
●次は「信号設定」を確認してください。

お知らせ

●「ビデオ機種設定」（→110ページ）でメーカーを設定した場合は「ビデオ（連動）」が表示されます。
「該当なし」に設定した場合には「ビデオ（非連動）」が表示されます。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

●録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。

②「信号設定」（i.LINKを使ってデジタル録画する場合は必要ありません）



● **カーソル ▲・▼ ボタンで「信号設定」を選び、決定ボタンを押す**
・「二重音声」の設定内容を確認してください。変更が必要な場合は、56ページをご覧ください。
・「二重音声」以外の項目は、設定を変更できません。
映像、音声、データなどで複数の信号がある番組の場合は、送信側で指定した基本信号だけが出力されます。

お知らせ

●「二重音声」については43ページをご覧ください。
●ここでの「二重音声」の設定は予約実行中の二重音声番組に対してこの設定が反映されます。

[次のページにつづく]

お知らせ

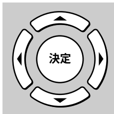
● 予約したチャンネル番号が独立データ放送の場合は、録画機器を「ビデオ（連動）/（非連動）」に設定できません。
● 日時指定予約では放送時間変更、映像信号、音声信号の変更設定はできません。
● 予約実行時の番組が二重音声でない場合「二重音声」で設定した内容は無効になります。

録画予約/視聴予約 つづき



予約のしかた（日時を指定して予約する場合）つづき

12 カーソル ▲･▼･◀･▶ ボタンで「録画予約する」を選び、決定ボタンを押す



13 下記の準備を行い、決定ボタンを押す



アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

- **ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合**
  ①ビデオコントロールケーブルが正しく接続･設置されていることを確認する（→79ページ）
  ②録画機器の準備をする
  ・ 録画するビデオテープを録画機器に入れる
  ・ 録画機器の入力切換を行う（本機が接続されている入力に切り換える）
  ・ 録画機器の電源を切（待機）にする

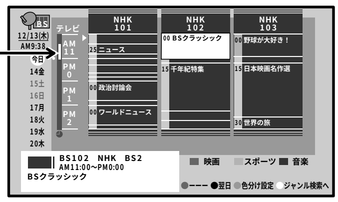
- **ビデオコントロールケーブルを使わない場合**
  ・ 録画機器で予約の設定を行ってください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

- 録画するD-VHSテープをビデオに入れてください。

お知らせ

- 日時指定予約の設定時間は番組表（→26ページ）で時間表示欄に反映されます。



予約設定内容を変更する場合

- 55ページの手順**11**の画面で、予約設定の内容を変更する方法について説明します。

■「録画機器」

- 「録画機器」の変更方法については51ページをご覧ください。

■「二重音声」（i.LINKを使ってデジタル録画する場合は設定できません）

①カーソル ▲･▼ ボタンで「二重音声」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲･▼ ボタンで「主音声と副音声」、「主音声」、「副音声」を選び、決定ボタンを押す
③カーソル ▲･▼ ボタンで「信号設定完了」を選び、決定ボタンを押す



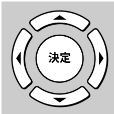
- お買い上げ時には「主音声と副音声」に設定されています。

お知らせ

■i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合
- 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。
  （機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードとなるものがあります。）
- 番組によっては、録画できない場合があります。
  （その内容のメッセージが画面に表示されます。）

予約設定時に次のメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージ表示された場合に、録画を続けるための手順を説明します。



予約数がいっぱいの場合（32番組まで予約できます）

「予約数がいっぱいです。
他の予約を取り消しますか？」

①カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す
- 画面は予約一覧になります。他の予約を取り消してください。
  詳しくは次ページの手順**3**をご覧ください。

すでに購入した番組と放送時間が重なる場合

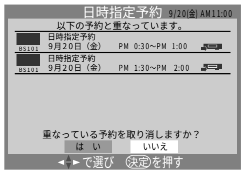
「すでに購入された番組と
時間が重なっています。
予約を続けますか？」

①カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す

すでに予約した番組と放送時間が重なる場合

「他の予約と時間が重なっています。他の予約を
取り消しますか？」



①カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す
- 予約が重複している番組のリストが表示されます。
  - ・予約が重複している番組が5つ以上ある場合は、カーソル ▲·▼ ボタンで番組のリストを切り換えて確認できます。

重複している番組を取り消す場合

- **カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・重複している番組がすべて取り消されます。

重複している番組を取り消さない場合

- **カーソル ◀·▶ ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

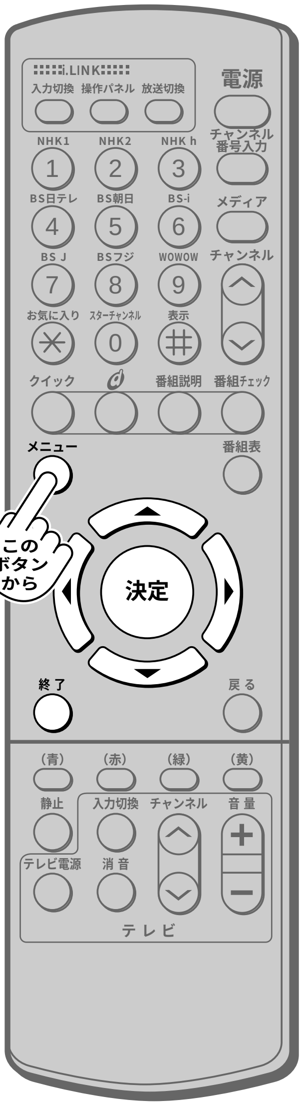
ダウンロード予約と時間が重なる場合

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。
このダウンロード予約を
取り消しますか？」

①[ダウンロード予約を取り消す場合]
カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
- 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す
- ダウンロードについては、125ページをご覧ください。

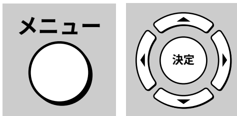
録画予約/視聴予約 つづき

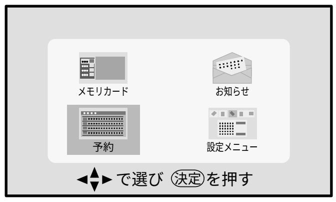


予約一覧と予約の取り消し

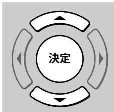
● 予約した内容を確認したり、予約を取り消すことができます。

1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「予約」を選び、決定ボタンを押す**





2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す**



● 予約一覧が表示され、予約の状況が確認できます。



番組についての説明を見たいとき

※日時指定予約の場合ははたらきません。

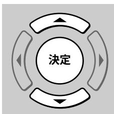
①カーソル ▲·▼ ボタンで予約番組を選び、番組説明ボタンを押す

●番組についての説明が表示されます。

②説明画面を消すには、決定ボタンを押す



3 [予約の詳しい内容を見たいときや予約を取り消したいとき]
カーソル ▲·▼ ボタンで予約番組を選び、決定ボタンを押す



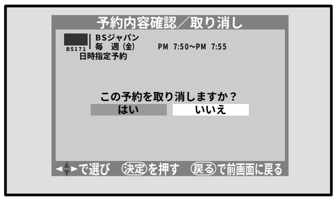
● 予約内容の画面になります。
● 画面は予約の種類によって異なります。

予約を取り消すには

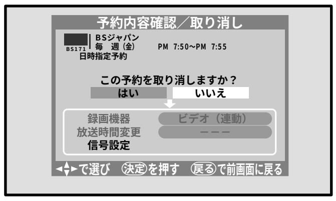
● **カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**
・ 予約が取り消され、予約一覧の画面に戻ります。

予約一覧の画面に戻るには

● **カーソル ◀·▶ ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

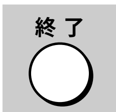


（視聴予約の場合）



（録画予約の場合）

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す



お知らせ

● 番組表やジャンル検索結果のリストまたは番組チェックの次の番組のリストですでに予約されている番組を選んだ場合も、手順**3**の画面になり、予約内容の確認や予約の取り消しを行うことができます。
● 予約されている時間を過ぎると、予約が実行された場合もそうでない場合（時間変更などで予約が実行されなかったなどの場合）も予約一覧から削除されます。

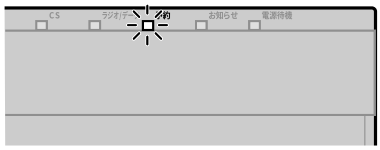
予約の動作について

● 予約が実行されるときの動作について説明します。

予約設定後

【本体前面部】

● 予約した番組が始まるまでは、通常どおり利用できます。



予約（橙）表示が点灯します。

予約番組放送開始

【本体前面部】

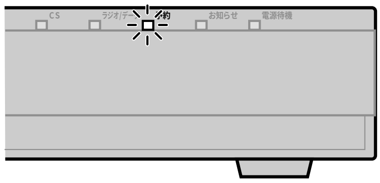
● 予約番組の放送時間近くになると、メッセージを画面に表示してお知らせします。予約を中止する場合は、本体の電源ボタンを押してください。
● 予約番組の放送時間になると、自動的にチャンネルが切り換わり、予約した番組が選ばれます。また、電源が「待機」の場合は自動的に「入」になります。

ペイ・パー・ビュー番組を視聴予約している場合……＊1

● 決定ボタンを押すと番組を購入するための画面になります。
　カーソル ◀·▶ ボタンで「購入する」を選び、決定ボタンを押してください。

視聴制限がある番組を視聴予約している場合……＊2

●「この番組には視聴制限があります。」のメッセージが表示されます。
　決定ボタンを押した後、暗証番号を入力してください。
＊1、＊2は視聴予約の場合のみです。（録画予約の場合は、予約設定時にそれらの操作を行っているため、ここでは不要です。）



予約（緑）表示が点灯します。視聴予約の場合は点灯しません。

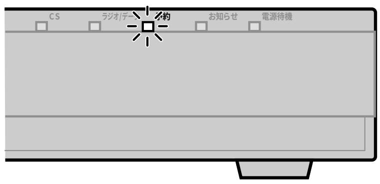
予約実行中

【本体前面部】

■視聴予約の場合
● 通常どおり操作できます。
■録画予約の場合
● 予約実行時に、操作ボタンを押した場合は次のようになります。

1 電源ボタンを押したとき
「予約実行中です。本体の電源ボタンを押すと予約を中止します。」のメッセージが表示されます。
メッセージが表示されている間に本体の電源ボタンを押すと、録画予約が中止されます。

2 選局用の操作ボタンなどを押したとき
「ＢＳ（またはＣＳ）＊＊＊ＣＨを録画予約中です。本体の電源ボタンで録画予約が中止できます。」のメッセージが画面表示されます。本体の電源ボタンを押すと、上の「１」のメッセージが表示されますので、録画予約を中止する場合は、本体の電源ボタンを押してください。



予約（緑）表示が点灯します。視聴予約の場合は点灯しません。

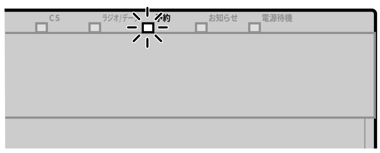
お知らせ

● 録画予約の中止の操作は、本体の電源ボタンで行ってください。リモコンの電源ボタンを使った場合は、中止の操作ができないことがあります。（これは、リモコンからの信号とビデオコントロールケーブルからのリモコン信号とが重なり、ビデオをコントロールできなくなるためです。）

予約番組終了

【本体前面部】

● 予約を終了し、通常どおり使用できます。
● 電源は次のように動作します。
・予約番組開始前に「待機」の場合は、予約番組終了後も「待機」になります。
　ただし、視聴予約の場合は「入」のままとなります。
・予約番組開始前に「入」の場合は、予約番組終了後も「入」になります。



予約（緑）表示が消えます。他にも予約がある場合は、予約（橙）が点灯します。

お知らせ
● 予約番組の優先順位や注意事項については、６０、６１ページをご覧ください。

録画予約/視聴予約 つづき

予約番組の優先順位について

- 予約番組の放送時間が変更となって、他の予約番組と重なった場合には、予約番組に優先順位をつけて予約を実行します。
（予約時に「放送時間変更」を「連動する」に設定することによって、ご希望の予約を優先して実行させることができます。）
- 次に例を用いて予約番組の優先順位について説明します。

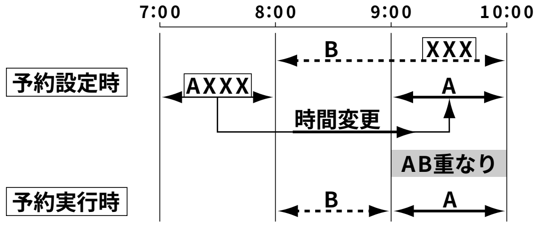
←――→ :「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組
←-----→ :「放送時間変更」を「連動しない」に設定した予約番組とします。
（下図の XXX 印は時間変更や予約実行時に取り消されることを示します。）

※日時指定予約は「放送時間変更」を「連動しない」にした場合と同じ動作になります。

「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した予約番組が重なった場合

- **「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組が優先されます。**

例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとBの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではA番組は「放送時間の変更に連動する」に設定されているので優先されて予約が実行されます。
従って、予約実行はB番組が8～9時、A番組が9～10時となります。

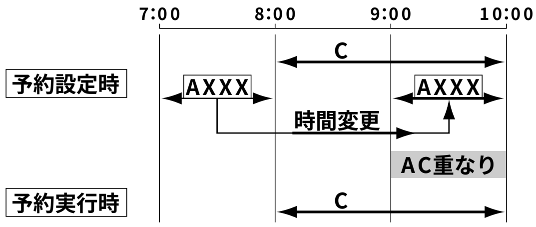


「放送時間変更」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

開始時刻が変更された場合

- **開始時刻の早い予約が優先されます。**

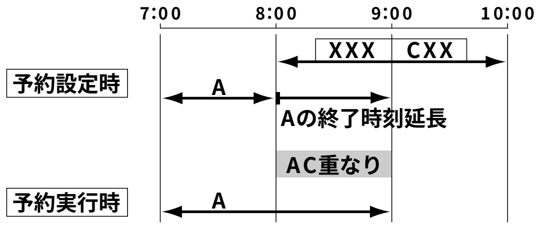
例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は9時から10時の間が重なっています。この場合は開始時刻の早いC番組の予約が優先されて動作し、A番組の予約は取り消されます。



終了時刻が延長された場合

- **先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。**

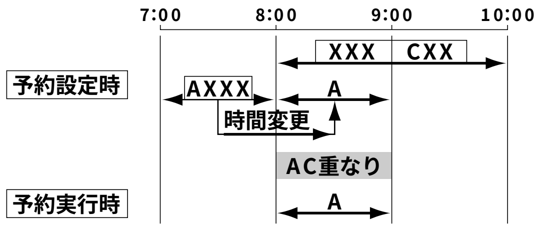
例では、A番組の終了時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なります。この場合は先に予約を実行したA番組が優先されて動作します。C番組の予約は取り消されます。



複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- **予約設定時の開始時刻が早い予約が優先されます。**

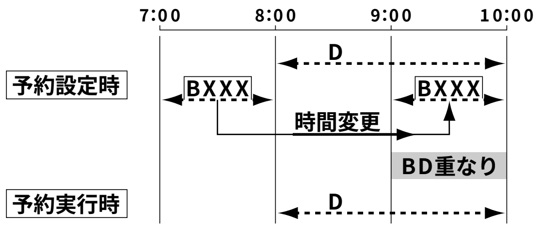
例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なっています。この場合は予約設定時の開始時刻が早いA番組が優先されて動作し、C番組の予約は取り消されます。



「放送時間変更」を「連動しない」に設定した複数の予約番組が重なった場合

- **予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。**

例では、B番組の開始時刻が変更されたため、BとDの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではBとDの番組は「放送時間変更」を「連動しない」に設定されているので予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。
従って、予約実行はD番組が8～10時となり、B番組の予約は取り消されます。



お知らせ
- 上記の優先順位で取り消された予約については、取り消された理由を「本機に関するお知らせ」で表示します。
（「お知らせ」については→67ページ）

予約についての注意事項

■予約全般について

- 天候・停電・送信側の都合などで、予約を実行できない場合は、「本機に関するお知らせ」を発行します。

■予約実行前に、本機の電源が「待機」だった場合

- 予約が開始されると、自動的に電源が「入」になります。
- 録画予約終了後は「待機」になります。
- 視聴予約終了後は「入」のままになります。

■予約実行前に、本機の電源が「入」だった場合

- 予約終了後も電源は「入」のままです。

■視聴予約について

- 録画予約の「放送時間変更」が「連動する」に設定されている場合で、録画している予約番組の放送時間が予定より延長されたために視聴予約の開始時刻と重なった場合、視聴予約が取り消されます。
- 一発録画実行中は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続し、視聴予約は取り消されます。

■録画予約について

<共通事項>

- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組の開始時刻が遅れている場合は「予約番組の開始が遅れています。このままの状態でお待ちください。」とメッセージ表示される場合があります。
- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合、リレーサービス（番組終了時間以後、別のチャンネルで引き続きその番組の続きを放送するサービス）には自動で対応します。ただし、リレーサービスの情報送信が遅れた場合は、対応できない場合があります。
- 予約番組の「放送時間変更」を「連動する」に設定しても、追従できる開始時刻は最大3時間までです。3時間を超えると予約が取り消されます。また、放送局から時間変更情報が送信されていない場合は、放送時間の変更に対応できません。
- 前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約で録画された最後の部分が少し欠けます。
- 録画予約実行中は選局などの操作はできません。
- 録画予約実行中はご案内チャンネル（→137ページ）に切り換えることはできません。
- 録画予約実行中は緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害または非契約の状態の場合、無信号状態で録画が継続されます。
- 日時指定予約の場合はペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。

<i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画予約を行う場合>

- 「i.LINKについて」（→84ページ）も必ずお読みください。
- 録画予約実行時にテープが走行中の場合は録画できません。
- 録画予約実行時にD-VHSビデオが他機器からの制御を受けない設定になっているときは、予約は実行されません。
- 録画予約実行時に、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。
- 録画予約実行時に、D-VHS側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっていると録画できない場合があります。
- 録画予約実行中は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- i.LINKで他機器を制御しているときに予約が開始時刻になった場合はi.LINKの制御を中止して予約を実行します。ただし、外部からi.LINK制御を受けているときは、予約は実行されません。
- 録画予約終了後D-VHSビデオの電源は録画開始直前の状態になります。

<ビデオコントロールケーブルを使ってアナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約を行う場合>

- ビデオの入力切換を正しく設定し（本機の映像出力をつないでいる入力に切り換える）、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- ビデオテープのツメが折れている場合には録画できません。
- 録画予約実行中に、停電が起きた場合（電源コードの抜き差しが行われた場合）
  - 上記の後、本機が電源「入」または「待機」の状態に復帰したときに、予約番組が終了していた場合、その予約が録画予約の場合でも、本機はビデオのコントロールを行いません。（録画機器を録画停止や、電源「切」にはコントロールしません。）これは、録画機器で設定されている予約が中止されるのを防ぐためです。従って、その場合、録画機器が録画状態のままとなることがありますので、ご注意ください。
- ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。
- 録画予約実行中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 録画された番組については、複数映像、複数音声、二重音声、字幕を切り換えることはできません。

■ペイ・パー・ビュー番組の予約について

- 「放送時間変更」は自動的に「連動する」に設定されます。
- ペイ・パー・ビュー番組は、番組が開始した時点で購入されます。視聴しなくても料金は請求されますのでご注意ください。

一発録画
(今視聴している番組を録画する)

● 今ご覧になっている番組をビデオに簡単操作で録画させることができます。番組が終了すると録画も自動的に終了します。詳しくは下記をご覧ください。

一発録画について

●録画予約と同様に次の2つの種類があります。

■通常の場合（アナログ方式（VHS や S-VHS など）で録画する場合）

●付属のビデオコントロールケーブルを使ってビデオをコントロールし、録画を行います。
●録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①「各機器とのつなぎかた」(→74〜77ページ)で、本機とビデオやテレビを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置(→79ページ)
③接続されるビデオの機種設定(→110〜111ページ)

お知らせ

■S1映像出力端子（ビデオへ）、および映像出力端子（ビデオへ）について
● 上記端子からは通常、文字画面の表示（番組名の表示やメニュー表示、字幕など）やデータ放送は出力されません。

■ i.LINK 端子経由で D-VHS ビデオにデジタル録画する場合

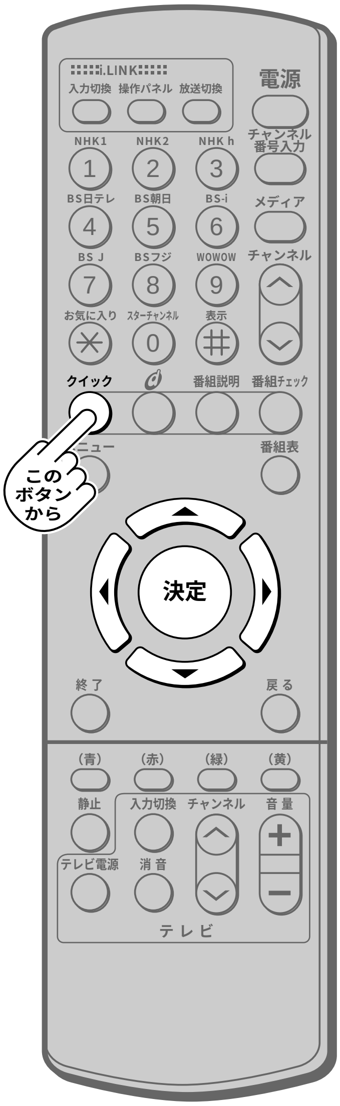
●i.LINK端子からビデオをコントロールしてデジタル録画を行います。
●録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①i.LINK端子を使って本機とビデオを接続する(→80ページ)
②「i.LINK設定」を行う(→104〜109ページ)

お知らせ

● 「i.LINKについて」（→84、85ページ）もご覧ください。
● i.LINK端子からは通常、メニュー表示などは出力されません。

お願い

● D-VHSビデオを使用して、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）の録画を行う場合は、上記の「通常の場合（アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合）」の準備を行ってください。また、「i.LINK端子付きD-VHSビデオとのつなぎかた」（→80ページ）で接続を行ってください。



一発録画のしかた

通常の場合（アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合）

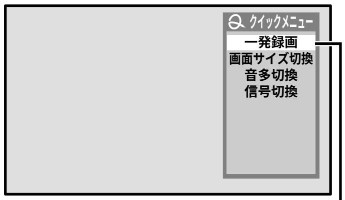
●一発録画をする前の準備については、62ページをご覧ください。

1 BS または 110 度 CS デジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

●クイックメニューが表示されます。

2 カーソル ▲·▼ ボタンで「一発録画」を選び、決定ボタンを押す



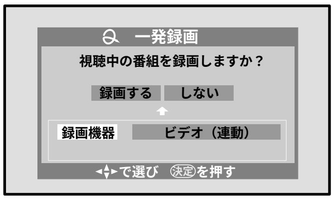


録画できない番組の場合、
「一発録画」は薄く表示されます。

3 「録画機器」が「ビデオ（連動）」または「ビデオ（非連動）」であることを確認する



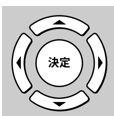
●上記になっていない場合は、下記の操作で指定してください。
①カーソル ▲·▼ ボタンで「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲·▼ ボタンで「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」（どちらか表示されています）を選び、決定ボタンを押す
・「ビデオ機種設定」（→110ページ）でメーカーを設定した場合は「ビデオ（連動）」が表示されます。
「該当なし」にした場合は「ビデオ（非連動）」が表示されます。



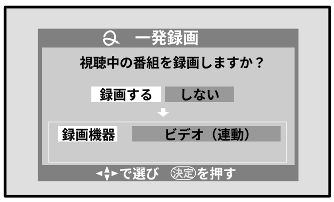
4 下記の準備を行う

①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する（→79ページ）
②録画機器で、下記の準備をする
● 録画するビデオテープを録画機器に入れる
● 録画機器の入力切換を行う（本機が接続されている入力に切り換える）
● 録画機器の電源を切（待機）にする

5 カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「録画する」を選び、決定ボタンを押す



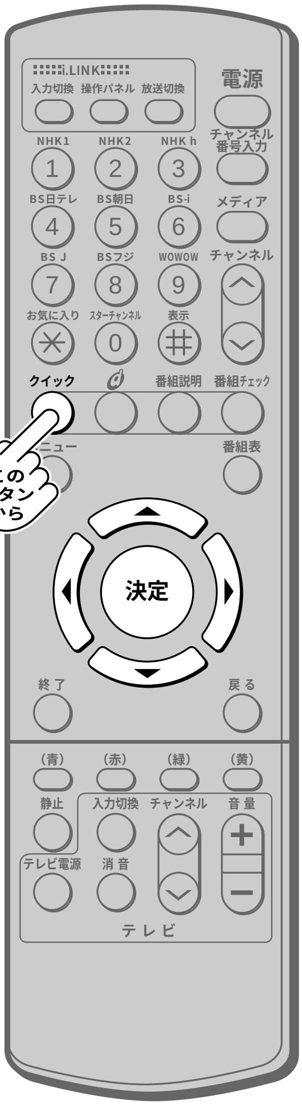
●録画が始まります。
●録画機器によっては、録画が開始されるまでにしばらく時間がかかり、決定ボタンを押したと同時に録画が開始されない場合があります。
●番組終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源が「入」または「待機」状態になります。
●ビデオ機種設定（→110ページ）を「該当なし」に設定した場合は、録画機器で録画を開始してから決定ボタンを押してください。
録画の停止も録画機器側で行ってください。



お知らせ

● 独立データ放送は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では一発録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画できません。

一発録画 つづき
（今視聴している番組を録画する）



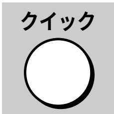
一発録画のしかた つづき

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

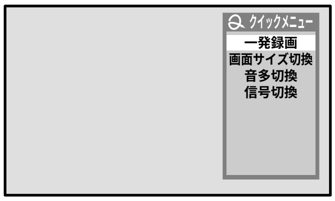
- 一発録画をする前の準備については、62ページをご覧ください。
- i.LINKについては、84～85ページをご覧ください。

1 **録画する D-VHS テープをビデオに入れる**

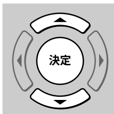
2 **BS または 110 度 CS デジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す**

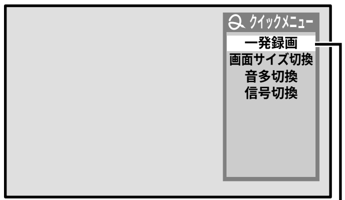


- クイックメニューが表示されます。



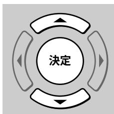
3 **カーソル ▲·▼ ボタンで「一発録画」を選び、決定ボタンを押す**



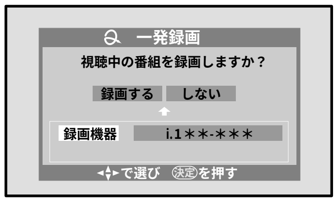


録画できない番組の場合、「一発録画」は薄く表示されます。

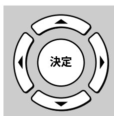
4 **下記の操作で、録画機器を指定する**



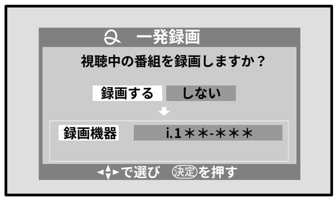
①カーソル ▲·▼ ボタンで「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲·▼ ボタンで「録画機器」をi.LINK機器にして、決定ボタンを押す
- ここでは「録画機器の設定」（→107ページ）で設定したi.LINK機器のみが設定できます。



5 **カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「録画する」を選び、決定ボタンを押す**



- 録画が始まります。
- 番組終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源は、録画開始前の状態になります。

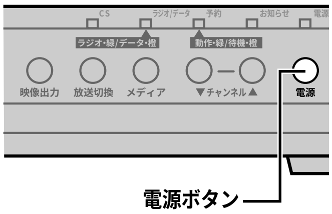


右のメッセージが表示された場合

- 録画できるデータ速度を超えているため、設定されている機器ではデジタル録画できません。「録画機器の設定」（→107ページ）で他の録画機器に変更してください。

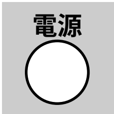
「録画できません。録画機器を変更してください。」

【本体前面部 とびら内】



一発録画を中止したい場合

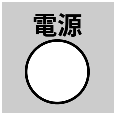
1 本体の電源ボタンを押す



● 右のメッセージが表示されます。

> 録画実行中です。本体の電源ボタンを押すと録画を中止します。

2 手順1のメッセージが表示されている間に、もう一度、本体の電源ボタンを押す



● 一発録画が中止されます。

お知らせ

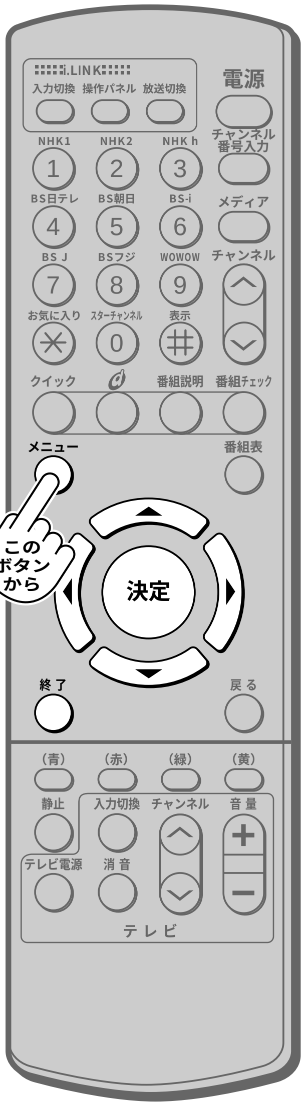
● 一発録画の中止は、本体の電源ボタンで行ってください。リモコンの電源ボタンを使った場合は、中止の操作ができないことがあります。（これは、リモコンからの信号とビデオコントロールケーブルからのリモコン信号とが重なり、ビデオをコントロールできなくなるためです。）

一発録画についての注意事項

- i.LINK端子経由で、デジタル録画を行う場合は、D-VHS側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっていないことを確認してください。
- 一発録画を行う前に録画機器が使用中でないことを確認してください。
- ペイ・パー・ビュー番組の場合は、購入してから録画の操作を行ってください。（購入しないと一発録画はできません）また、番組によってはコピー禁止のため録画できない場合がありますので、あらかじめ購入する前に表示ボタンで番組情報をご確認ください。
- 番組によってはデジタル録画できない場合があります。
- コピー禁止の信号は、録画できません。
- ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。
- 停電が起きた場合（電源コードの抜き差しが行われた場合）は、一発録画を中止します。
  このとき本機は録画機器を録画停止や、電源「待機」にはコントロールしません。従ってその場合、録画機器が録画状態のままとなることがありますのでご注意ください。
- アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 一発録画実行中に録画予約の開始時刻になると、一発録画は中止されます。
- 一発録画実行中に視聴予約またはダウンロード予約の開始時刻になると、その予約を取り消して「本機に関するお知らせ」（→67ページ）を発行します。
- 一発録画では、番組終了時間が延長された場合、変更時間に合わせて録画します。
- 一発録画では、録画番組がリレー形式（たとえば同一番組を途中で放送チャンネルを変更して継続するなど）の場合、リレー時刻と同時に指定の番組へ自動で切り換えて録画します。
- 一発録画中に受信障害が発生したり、B-CASカードが抜かれたなどの場合でも録画は継続されます。
- 一発録画実行中に選局などの操作はできません。
- 録画中は、i.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。
- 録画中は緊急警報放送は受信できません。

番組購入情報の送信

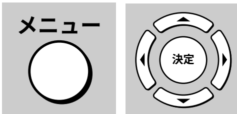
- 通常、番組購入情報は電話回線を通じて自動的にセンターに送られます。
- 何らかの事情で、自動送信ができなかった場合は、下記の操作で、送信を行ってください。



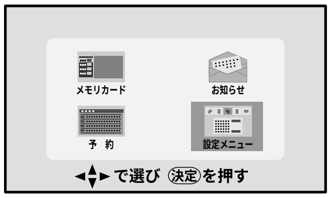
はじめに

- **番組購入情報が送信されていない場合は、「本機に関するお知らせ」（→次ページ）でお知らせします。**
  B-CASカードを挿入し、電話回線が正しく接続されていることを確認した後（→ 71 ～ 73 ページ）、下記の操作で送信してください。

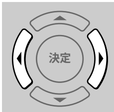
1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

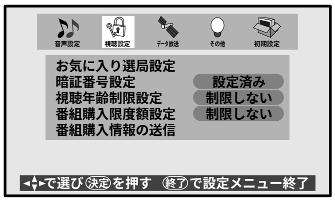


- 設定メニューが表示されます。

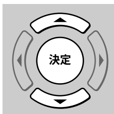


2 カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選ぶ

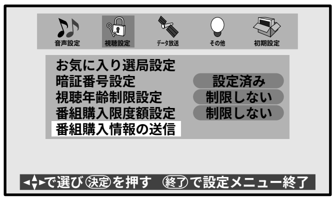


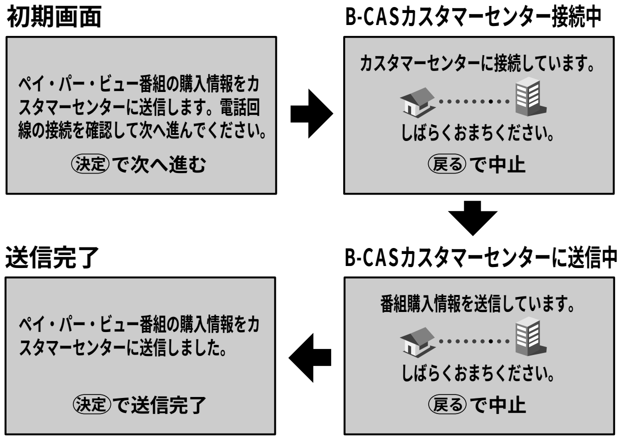


3 カーソル ▲・▼ ボタンで「番組購入情報の送信」を選び、決定ボタンを押す

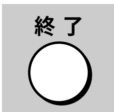


- 下記のメッセージに応じて決定ボタンを押してください。
- 送信が終了して、決定ボタンを押すと設定メニュー画面に戻ります。





4 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す



■次のメッセージが表示された場合

> 番組購入情報を送信する必要はありません。
> 決定を押す

- 現在は、番組購入情報を送信する必要はありません。

> センターと通信できません
> 電話機コードの接続が正しくない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
> コード：E301
> 決定を押す

- 電話回線の接続（→71ページ）および電話回線の設定（→113～117ページ）を参照し、もう一度接続設定の状態を確認してください。

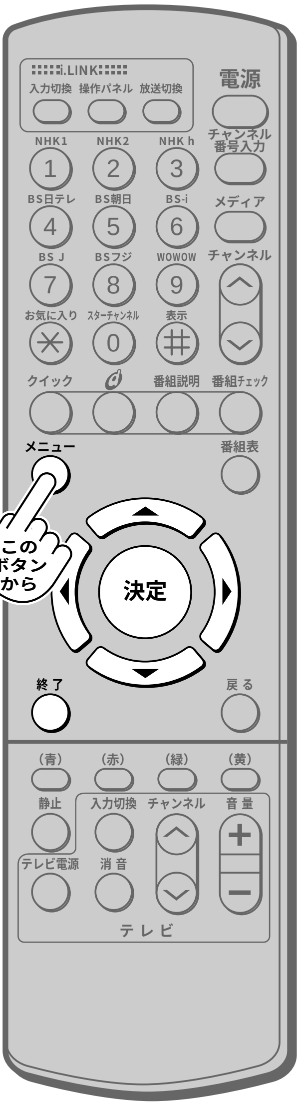
> B-CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。
> 詳しくは取扱説明書をご覧ください。
> 決定を押す

- B-CASカスタマーセンターとの通信中にエラーが発生しました。もう一度「番組購入情報の送信」を行ってください。

お知らせ

- B-CASカスタマーセンターについては、付属のB-CASカード説明紙（台紙）をご覧ください。

お知らせ(放送局からのお知らせ、本機に関するお知らせ、ボード)を見るには

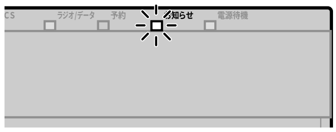


お知らせ(放送局からのお知らせ、本機に関するお知らせ、ボード)を見るには

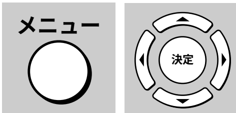
●お知らせには､｢放送局からのお知らせ｣､｢本機に関するお知らせ｣､｢ボード｣の3つの種類があります。
※｢ボード｣では､110度CSデジタル放送のご案内やお知らせ等を見ることができます。
（BSデジタル放送には､この情報はありません。)

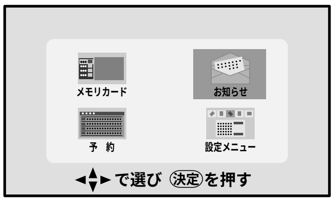
はじめに

未読の「お知らせ」があるとき
●本体前面の「お知らせ」表示が点灯します。
※｢ボード｣の場合は､｢お知らせ｣表示は点灯しません。



1 メニューボタンを押し､カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「お知らせ」を選び、決定ボタンを押す

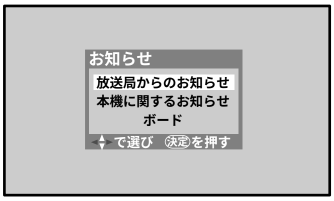




2 カーソル ▲·▼ ボタンでお知らせの種類を選び、決定ボタンを押す



●｢放送局からのお知らせ｣､｢本機に関するお知らせ｣､｢ボード｣のいずれかを選びます。
●決定ボタンを押すと､それぞれのリスト画面が表示されます。



お知らせ選択画面に戻るには

●戻るボタンを押す

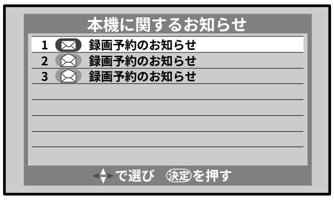
3 カーソル ▲·▼ ボタンで読みたいお知らせを選び、決定ボタンを押す

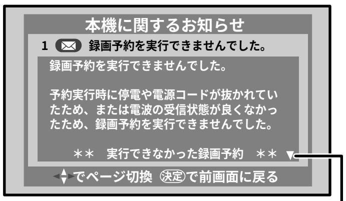


●お知らせの本文が表示されます。

お知らせリスト画面に戻るには

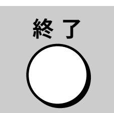
●戻るボタンを押す





▲ または ▼ が表示されている場合は､カーソル▲·▼ボタンでページを切り換えることができます。

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す



お知らせ

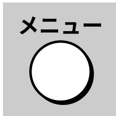
● 「放送局からのお知らせ」は、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を合わせて、基本的には24通まで記憶されますが、放送局の運用によってはそれよりも少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
● 「本機に関するお知らせ」は40通まで記憶されます。最大数を超えて受信した場合は、既読の古いものから順に削除されます。すべてが未読のときは、そのうちの古いものから削除されます。
● 「ボード」はプラットワン、スカイパーフェクTV！2のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

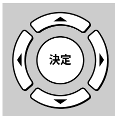
B-CASカード番号表示

● B-CAS カードに登録されている番号をテレビ画面で確認できます。

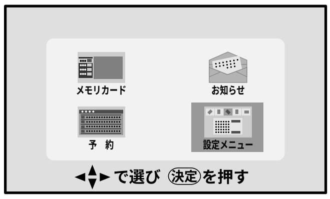


1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

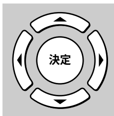




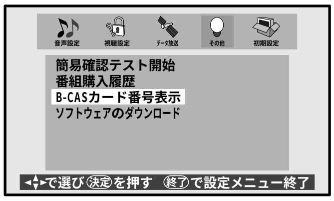
● 設定メニューが表示されます。

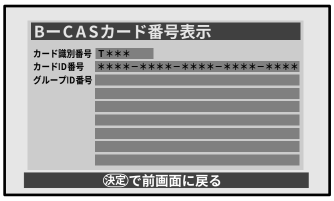


2 **カーソル ◀·▶ ボタンで「その他」を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで「B-CAS カード番号表示」を選んで、決定ボタンを押す**

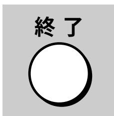


● テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。





3 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す



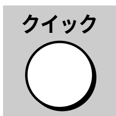
クイックメニューを使う

● クイックボタンを押すと、便利な機能がクイックメニューとして表示され、それらの機能を使うことができます。



基本操作

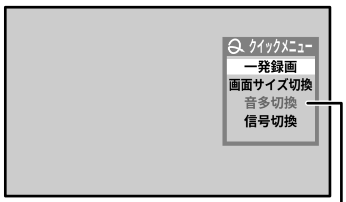
1 **クイックボタンを押す**



● クイックメニューが表示されます。

2 **カーソル ▲·▼ ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す**





その時に使用できない項目は薄く表示されます。

3 **選んだ項目に従い、操作する**

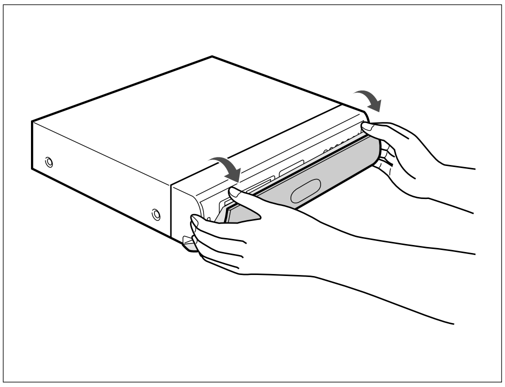
● 詳しくは各項目に該当するページをご覧ください。

B-CASカード(ビーキャスカード)の装着のしかた

● 付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、有料放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本体に装着しておいてください。
● 付属の B-CAS（ビーキャス）カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に付属の加入申込書に必ず貼ってください。
●「付属の B-CAS（ビーキャス）カードについて」（→ 14 ページ）も必ずご覧ください。

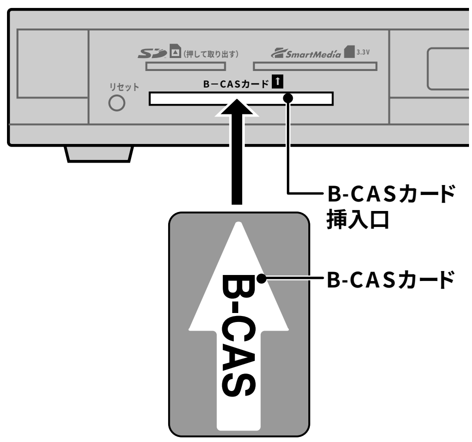
1 本体前面のとびらを手前に引いて開ける

● 前面とびらは、とびら上部を指先で下方に引くとスライドして開きます。



2 B-CAS（ビーキャス）カードをカード差し込み口に入れる

● カードの向き（端子面が下向き）を間違えないように注意してください。
● カードは奥まで差し込んでください。



3 本体前面のとびらを閉める

● 前面とびらを上にスライドさせて閉めます。

お知らせ

● 取り出す場合は、上記手順**2**でB-CAS（ビーキャス）カードをそのまま抜いてください。

アンテナ線の接続

アンテナ線のつなぎかた

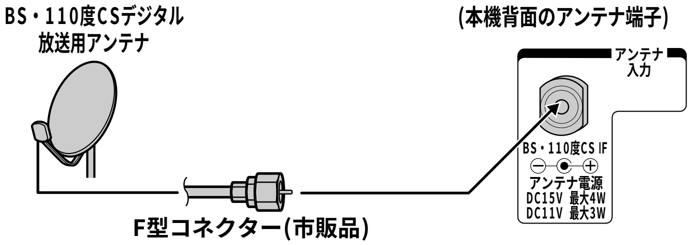
- BSデジタル放送だけご覧になる場合は、BSデジタル放送用アンテナを、110度CSデジタル放送も合わせてご覧になる場合は、BS･110度CSデジタル放送用アンテナをご使用ください。
  （以下、これら2つのアンテナをBS･110度CSデジタル放送用アンテナと省略して記載します。）
- 本機とBS･110度CSデジタル放送用アンテナの接続には、BS･CSデジタル対応のケーブル（S-4C-FB相当）をご使用ください。
- アンテナをつないだ後に「アンテナレベル」の調整が必要です。（→100ページ）
- BS･110度CSデジタル放送用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

■ BS・110度CSデジタル放送用アンテナをつなぐとき（BSデジタル放送用アンテナの場合も同様です）

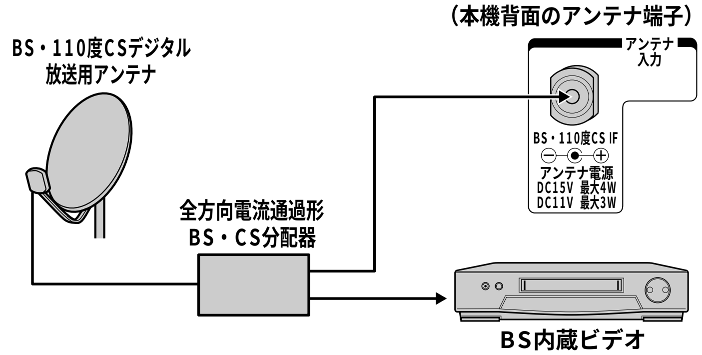
お願い

■アンテナ入力端子（BS・110度CS）について

- BS・110度CSデジタル放送用アンテナからのケーブルをつなぎます。この端子は、BS・110度CSデジタル放送用アンテナへ＋15V（または＋11V）の電源を供給するはたらきをしています。心線とアース線がショートしないようにしてください。



■ BS・110度CSデジタル放送用アンテナ1台で、本機などBSや110度CS機器を2台以上つなぐ場合
（BSデジタル放送用アンテナの場合も同様です）



- BS･CS分配器は市販の全方向電流通過形分配器で、周波数2150MHzに対応したものをご使用ください。

※BSや110度CS機器をつなぐときは、BSや110度CS機器付属の取扱説明書をご覧ください。
※将来、110度CSデジタル放送でチャンネルが増えた場合（左旋円偏波で放送された場合）、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できない場合があります。

■アンテナ電源について

- アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。
  お買い上げ時は「供給する」に設定されています。
- 共聴システムなどで、すでに別の機器からアンテナ電源が供給されている場合は、供給する必要はありません。
  「アンテナ電源供給の設定」（→99ページ）は「供給しない」に設定してください。
- 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常アンテナ電源は供給されませんが契約情報の更新やダウンロード実行などの際には自動的にアンテナ電源が供給されます。

■従来のBSアンテナについて

- 従来のBSアンテナのほとんどについては、BSデジタル放送を受信することができます。（110度CSデジタル放送の受信はできません。）ただし、従来のBSアンテナについてはBSデジタル放送受信に必要とされる「位相雑音性能」の規定がないため、BSデジタル放送を受信した場合、安定した受信ができない場合があります。
  その際には、BSデジタル放送用、またはBS･110度CSデジタル放送用アンテナをご使用ください。

■マンションなどの共同受信の場合

- お住まいのマンションの共同受信設備でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかについては、マンションの管理会社や管理組合にご確認ください。
  既存の設備で受信できない場合には、BS･110度CSデジタル放送用アンテナの設置･接続が必要となります。

お知らせ

- ブースターやBS・CS分配器をご使用になる場合は、110度CSデジタル放送（周波数2150MHz以上）に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110度CSデジタル放送を受信できません。
- スカイパーフェクTV！用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。

電話回線の接続

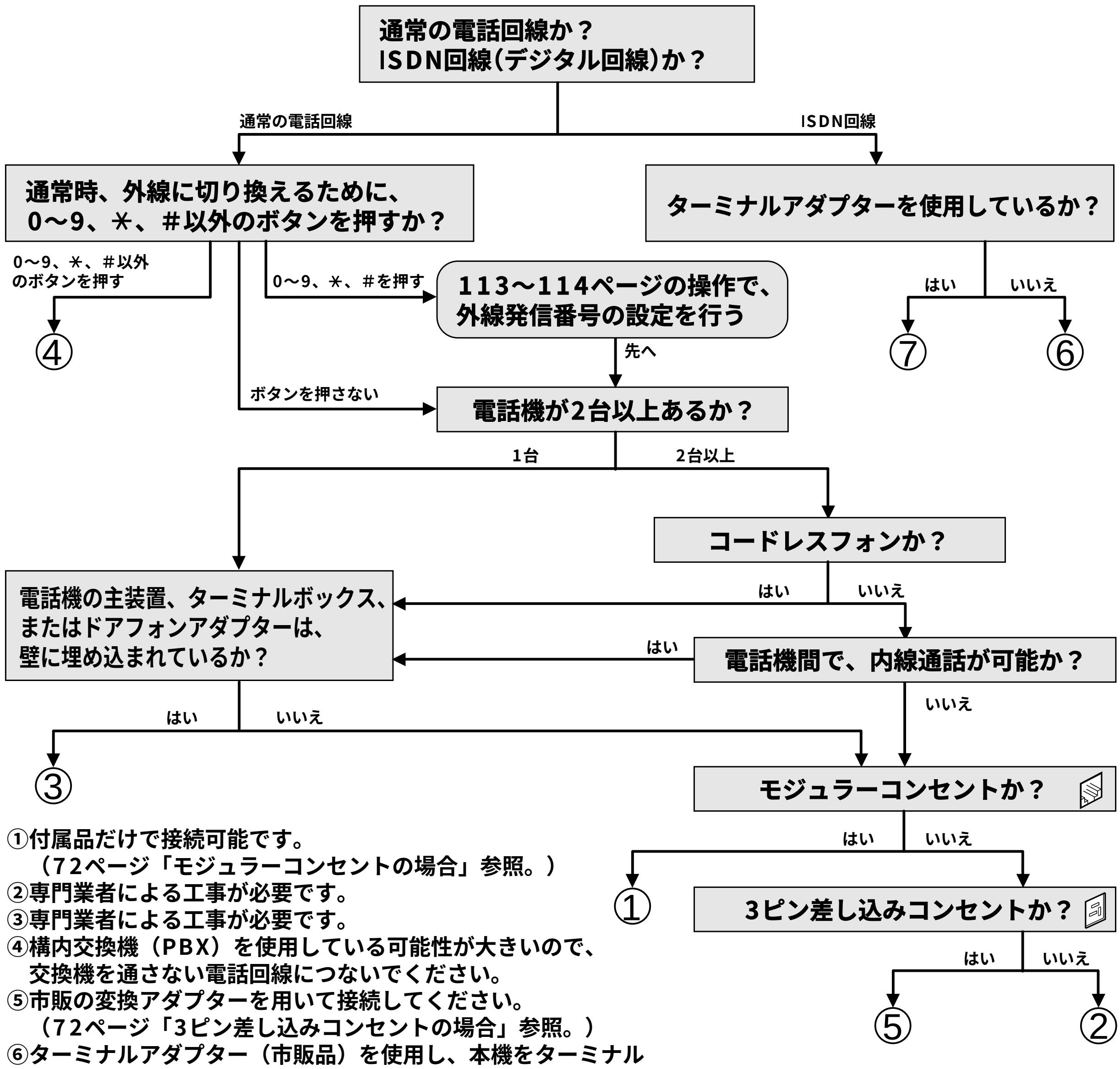
⚠注意

■ モジュラー分配機、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしないこと
●電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに高い衝撃電流が流れますので、感電の原因となります。

■ 正しく接続すること
●正しく接続しないと本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

● 下記によって、電話回線の状態を確認してから、電話回線の接続を行ってください。

電話回線状態の確認



①付属品だけで接続可能です。
（72ページ「モジュラーコンセントの場合」参照。）
②専門業者による工事が必要です。
③専門業者による工事が必要です。
④構内交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、
交換機を通さない電話回線につないでください。
⑤市販の変換アダプターを用いて接続してください。
（72ページ「3ピン差し込みコンセントの場合」参照。）
⑥ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナル
アダプターのアナログポートに接続してください。
⑦本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。

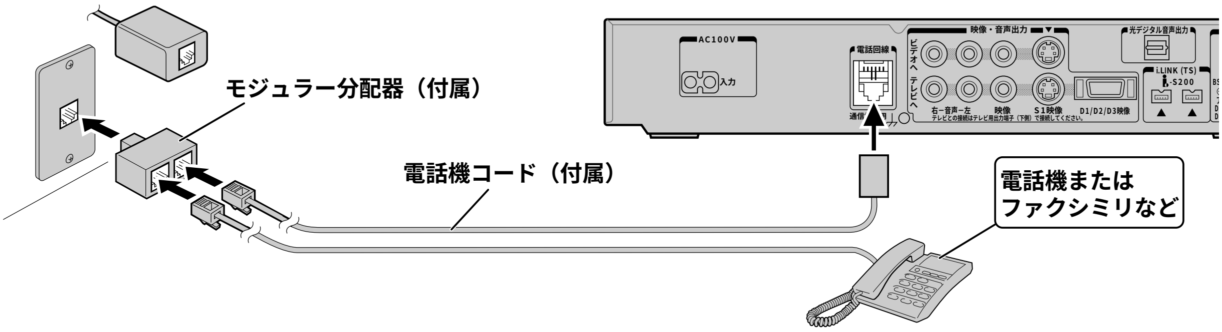
お願い

● ②または③の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番に工事のお問い合わせをしてください。
電話工事は、資格が必要で有料となります。無資格の方は工事できません。

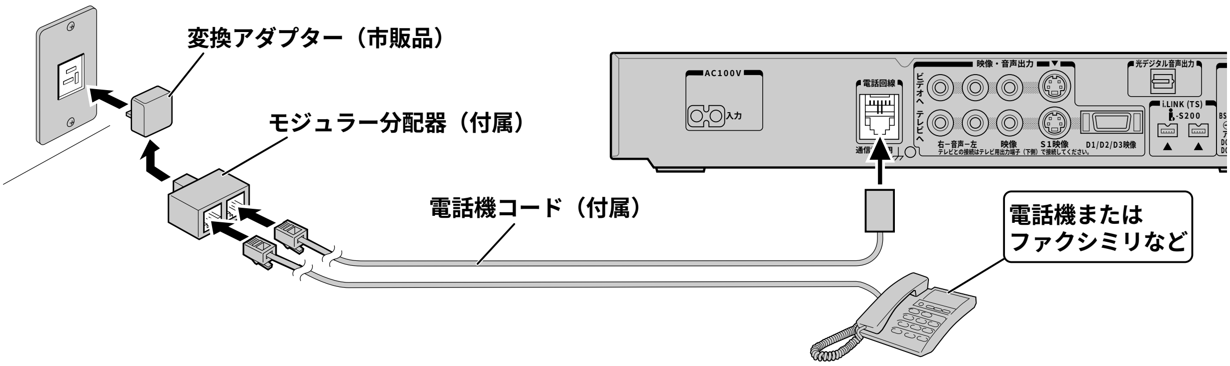
電話回線の接続 つづき

電話回線とのつなぎかた

モジュラーコンセントの場合



3ピン差し込みコンセントの場合



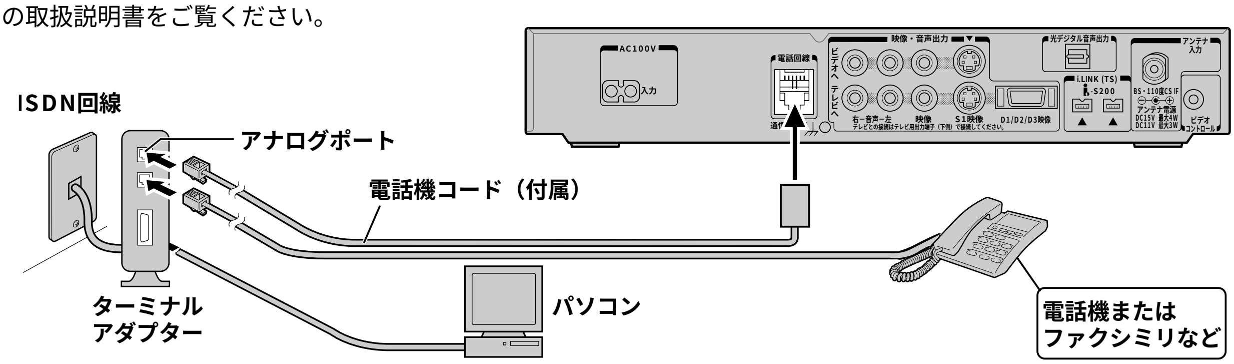
お知らせ

- 本機がセンターと通信中は、電話機やファクシミリのご使用はできません。
- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、PHSには利用できません。
- 構内交換機（PBX）には使用できないものがあります。
- 付属の電話機コード（10m）が短い場合は、市販の電話機コードをお求めください。
- 電話機やファクシミリをご利用にならないときは、直接電話回線につないでください。
- ホームテレホンを接続される場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- キャッチホン契約をされている場合は、本機の通信中に電話がかかってくると、エラーが生じ通信が終了します。
- キャッチホンIIで契約されている場合は、通信はそのまま継続されます。
- 電話機やファクシミリを使用中のときは、本機での通信はできません。
- 一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。
  このような場合には、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- ノイズの混入があると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

■いろいろな場合のつなぎかた

●ISDN回線の場合

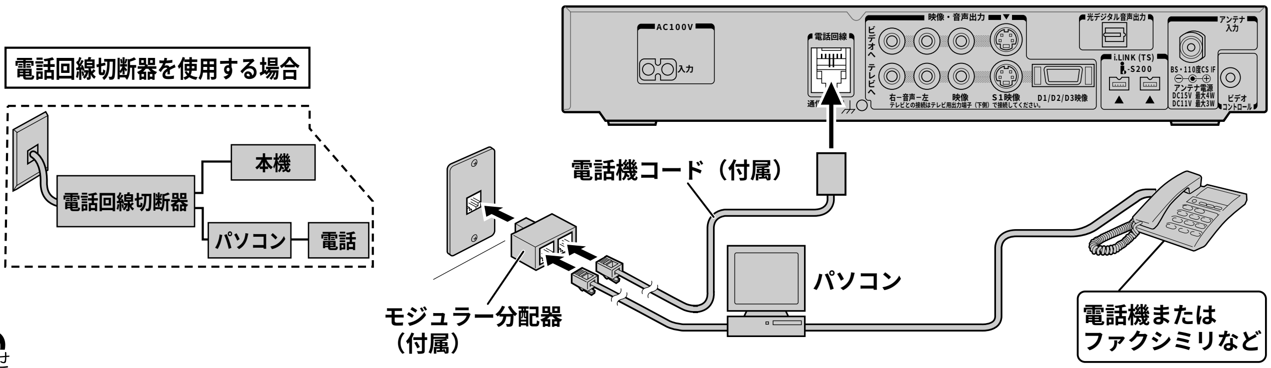
● ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。



お知らせ

● ISDN回線にモジュラー分配器をつないで本機を接続しないでください。
● ターミナルアダプターのアナログポートに本機を接続し、「電話回線の設定」の「ダイヤル方式」で「トーン」に設定してください。（詳しくは「ダイヤル方式の設定」（92、113ページ）を参照してください。）

●パソコンを接続している場合

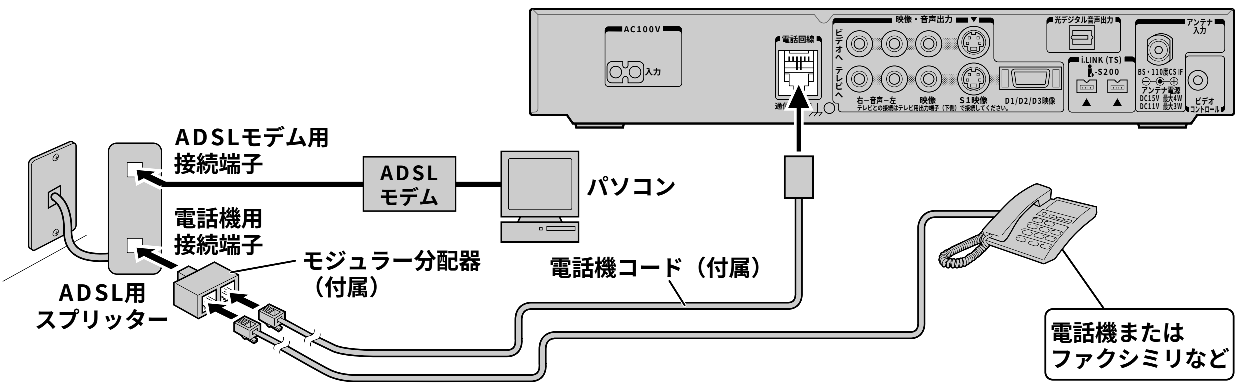


お知らせ

● 同じ電話回線に電話機やパソコン、ファクシミリなどを接続した場合、接続した機器の影響で、電話機の呼出音がなることや、通信が正しく行われない場合があります。このような場合は、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器（2口）などをご使用ください。

●ADSLモデムを使用している場合

● 電話回線にＡＤＳＬモデムが接続されている場合は、ＡＤＳＬ用スプリッター（市販品）を使用し、ＡＤＳＬ用スプリッターの電話機用接続端子にモジュラー分配器（付属）をつないで本機を接続してください。詳しくは、ＡＤＳＬ用スプリッターの取扱説明書をご覧ください。



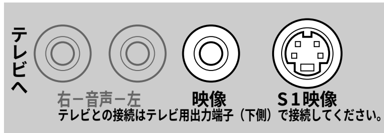
各機器とのつなぎかた

テレビと接続する前に（接続・設定の早わかり）

● テレビと本機をどの端子で接続するのかによって、接続や設定方法が異なります。
下記に従って、接続、設定方法をご確認ください。
接続、設定が正しく行われないと、テレビに映像が表示されない場合があります。

本機のS1映像、またはピン端子の映像出力端子をテレビにつなぐ場合

【本機背面部】



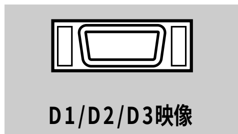
① 75 ページの接続を行う

②「テレビの S 映像入力端子またはピン端子の映像入力端子に接続する場合」（→ 86 ページ）の設定を行う

③「はじめての設定」（→ 88 〜 93 ページ）を行う

本機のD1/D2/D3映像出力端子をテレビにつなぐ場合

【本機背面部】



●テレビの D 映像入力端子につなぐ場合

① 76 ページの接続を行う

②「テレビの D 映像入力端子（D1 〜 D4 のいずれか）**に接続する場合」（→ 86 ページ）の設定を行う**

③「はじめての設定」（→ 88 〜 93 ページ）を行う

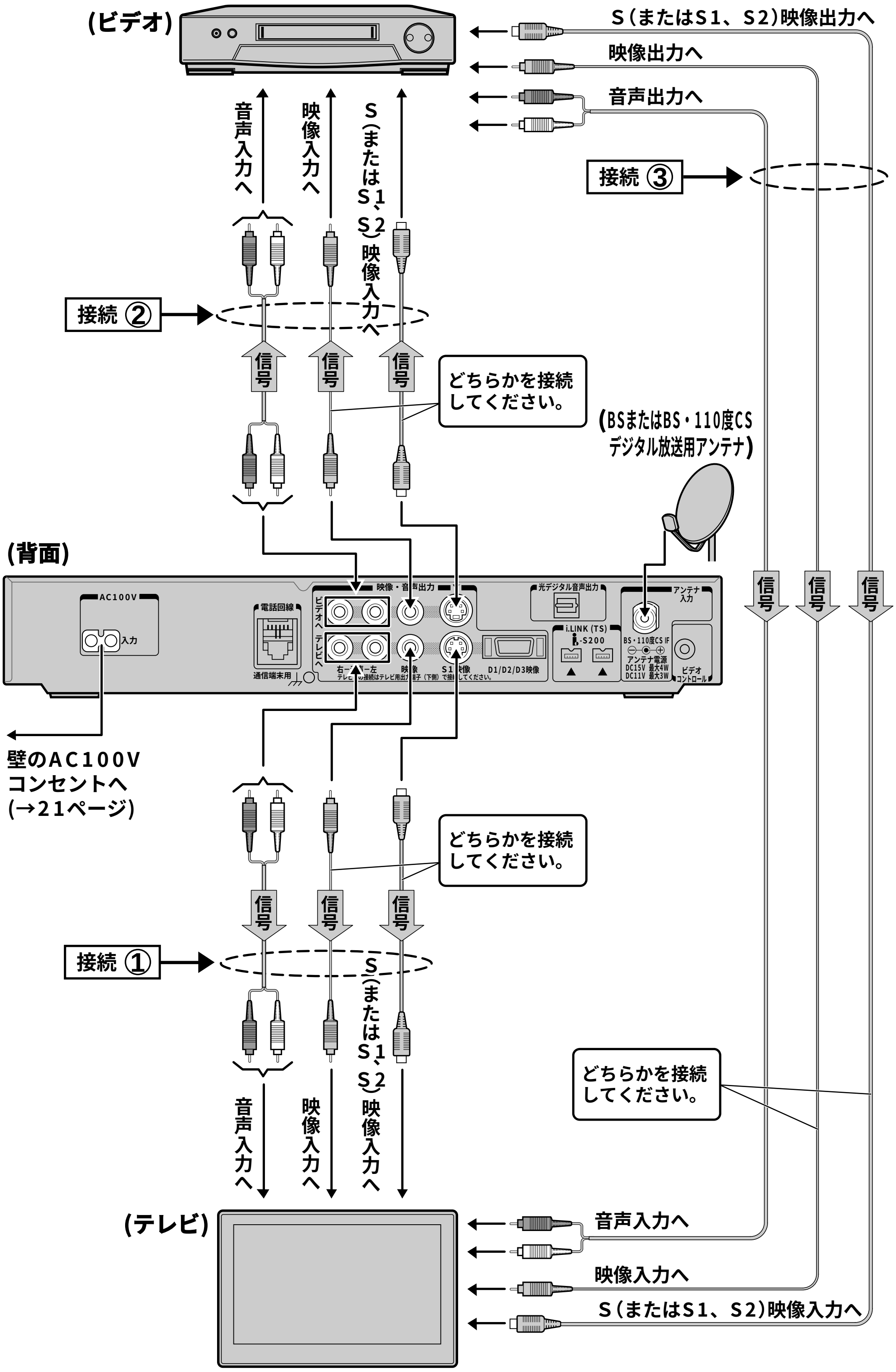
●テレビのコンポーネント映像入力端子につなぐ場合

① 77 ページの接続を行う

②「テレビのコンポーネント映像入力端子に接続する場合」（→ 87 ページ）の設定を行う

③「はじめての設定」（→ 88 〜 93 ページ）を行う

S映像または映像入力端子付きのテレビやビデオとのつなぎかた



お知らせ

- デジタル放送の高画質な映像を楽しむには、S（またはS1、S2）映像入力端子への接続をおすすめします。
- **接続後は、「映像出力切換（テレビとの接続端子を設定する）」（→86ページ）を行ってください。正しく設定されないと、映像が映らなくなる場合があります。**
- テレビやビデオなどと接続するときは、本機および各機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 録画するときは、ビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

■S1映像出力端子（ビデオへ）、および映像出力端子（ビデオへ）について

- 上記端子からは文字画面の表示（番組名の表示やメニュー表示、字幕など）やデータ放送は出力されません。

各機器とのつなぎかた つづき

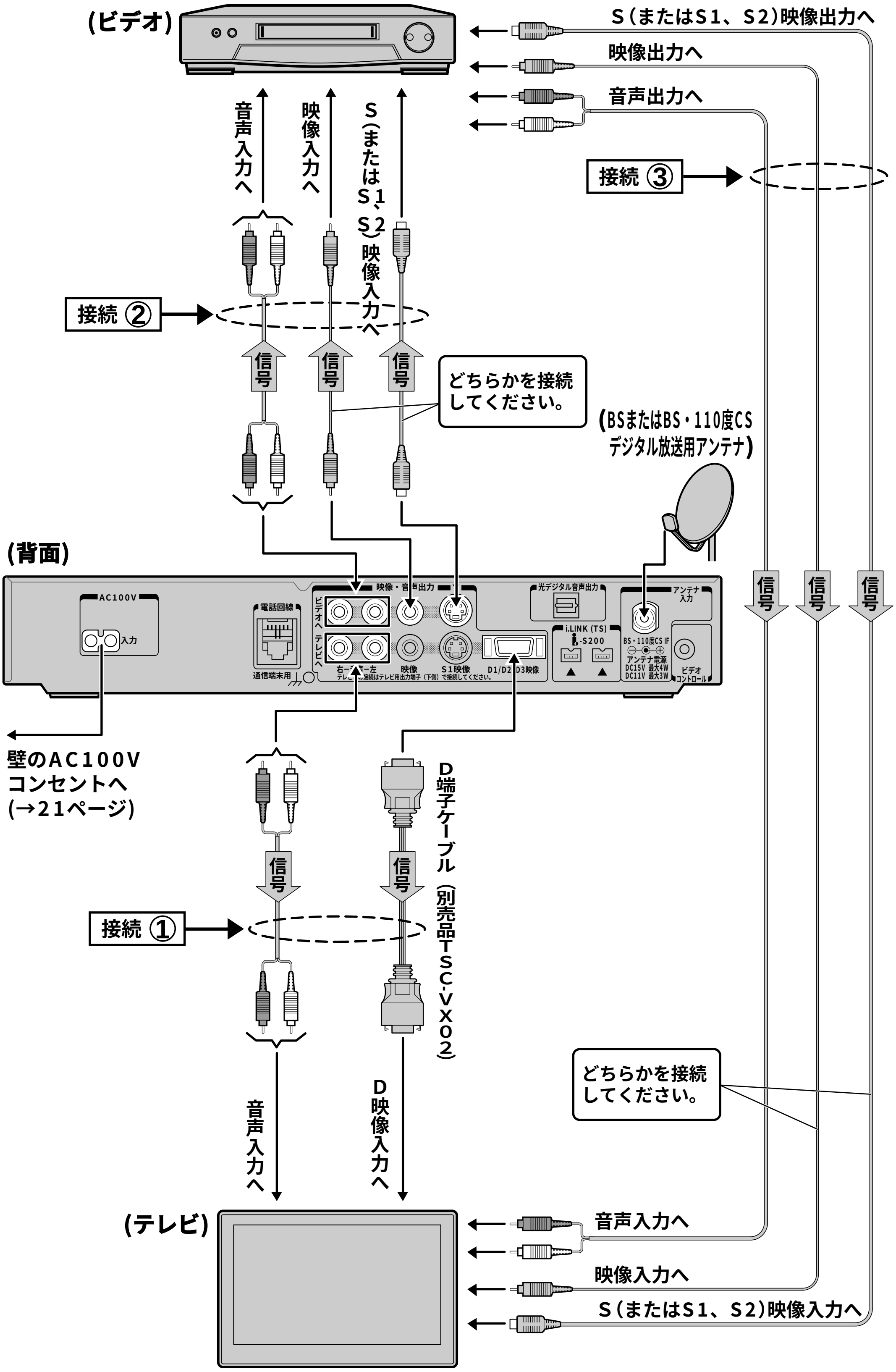
D映像入力端子付きのテレビやビデオとのつなぎかた

お知らせ

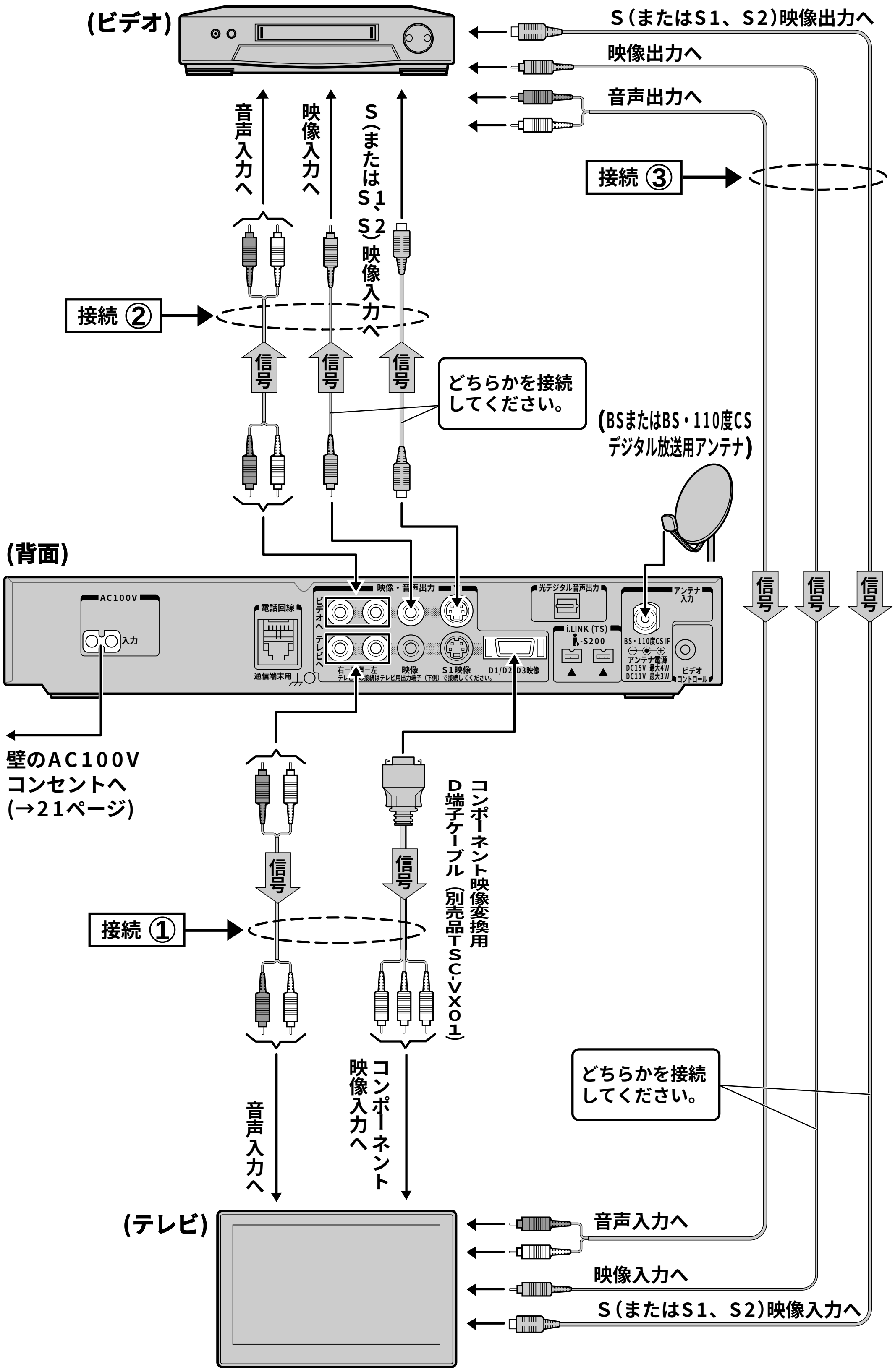
- デジタル放送の高画質な映像を楽しむには、D1/D2/D3映像出力端子での接続をおすすめします。
- **接続後は、「映像出力切換（テレビとの接続端子を設定する）」（→86ページ）を行ってください。**
  正しく設定されないと、映像が映らなくなる場合があります。
- テレビやビデオなどと接続するときは、本機および各機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 録画するときは、ビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

■S1映像出力端子（ビデオへ）、および映像出力端子（ビデオへ）について

- 上記端子からは文字画面の表示（番組名の表示やメニュー表示、字幕など）やデータ放送は出力されません。



コンポーネント映像入力端子付きのテレビやビデオとのつなぎかた



お知らせ

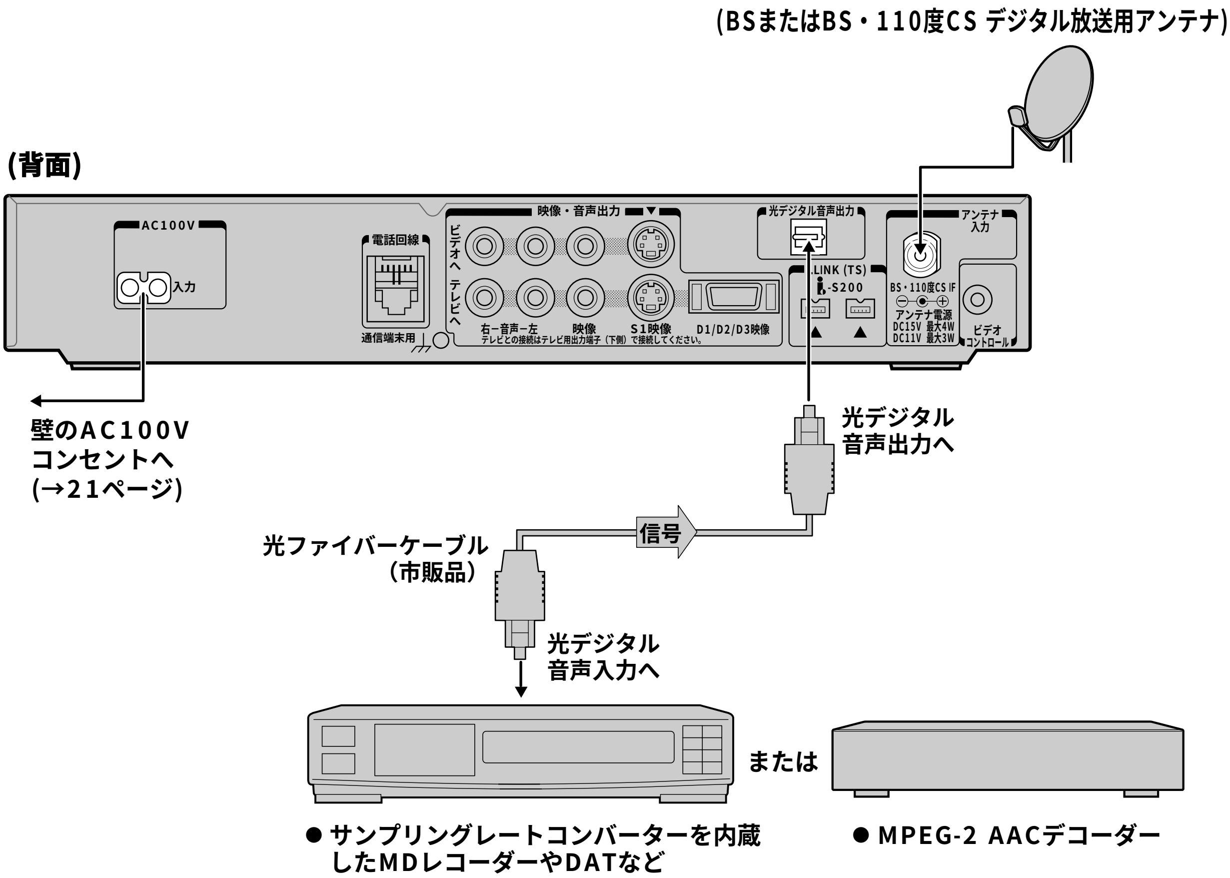
- デジタル放送の高画質な映像を楽しむには、D1/D2/D3映像出力端子をご利用ください。テレビにD映像入力端子がなくコンポーネント映像入力端子がある場合はこの端子への接続をおすすめします。
- **接続後は、「映像出力切換（テレビとの接続端子を設定する）」（→87ページ）を行ってください。正しく設定されないと、映像が映らなくなる場合があります。**
- テレビやビデオなどと接続するときは、本機および各機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 録画するときは、ビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

■S1映像出力端子（ビデオへ）、および映像出力端子（ビデオへ）について

- 上記端子からは文字画面の表示（番組名の表示やメニュー表示、字幕など）やデータ放送は出力されません。

MDレコーダーやAACデコーダーなどとのつなぎかた

● 本機は、光デジタル音声出力端子を搭載しています。
DAT や MD レコーダーの光デジタル音声入力端子と接続することによって、高品位な録音ができます。
また、MPEG-2 AAC デコーダー内蔵の AV アンプなどと接続することによって、迫力ある音声で楽しむこともできます。



MPEG-2 AACデコーダー以外のデジタル機器(MDレコーダーやDAT)につなぐ場合

- この場合は、本機の「光デジタル音声出力の設定」を「PCM固定」に設定します。設定方法は98ページをご覧ください。
- MDレコーダーやDATなどのデジタル機器の詳しい接続、取り扱いは各取扱説明書をご覧ください。

MPEG-2 AACデコーダーにつなぐ場合

- デジタル放送やi.LINK接続機器からのMPEG-2 AAC方式の信号をMPEG-2 AACデコーダー(市販品)で楽しむことができます。
- この場合は、本機の「光デジタル音声出力の設定」を「AAC優先」または「サラウンドAAC優先」に設定します。設定方法は98ページをご覧ください。
- MPEG-2 AACデコーダーの詳しい接続、取り扱いはMPEG-2 AACデコーダーの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- 本機の「光デジタル音声出力」端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。そのままプラグを差し込んでください。

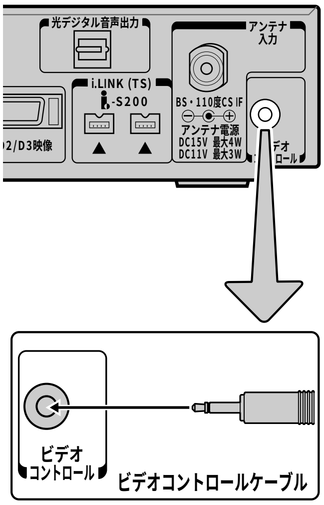
お知らせ

- 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、放送局から送られてくる音声のサンプリング周波数と同じで、48kHzまたは32kHzとなっています。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号のままでの録音はできません。
- 光デジタル音声出力設定（→98ページ）が「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が、光デジタル音声出力端子からは出力されない場合があります。
- 光デジタル音声出力の場合、MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。
MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。

付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた

- 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオをコントロールし録画予約や一発録画をすることができます。
- ビデオコントロールケーブルを使用するには、接続されるビデオの設定をすることが必要です。(→ 110 ～ 111 ページ)
- ビデオによっては付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画ができない機種があります。下部の「お知らせ」をご覧ください。

【本体背面部】



付属のビデオコントロールケーブルをつなぐ

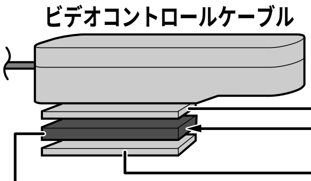
1 本機の「ビデオコントロール」端子にビデオコントロールケーブルをつなぐ

2 ビデオコントロールケーブルの取付け位置を決める

- テレビ台やラックなどに収納したビデオのリモコン受光部の近くで、発光部が取り付けられそうな場所を選びます。
  ガラスとびらの開閉でビデオコントロールケーブル本体やコードがぶつからないようにしてください。
- 「ビデオ機種設定」(→110～111ページ)の操作の手順**8**で、ビデオの電源が「入」⇔「切」(待機)となる場所を選んでください。「ビデオ動作の確認」(→112ページ)で正しく動作する信号形式を選んでください。正しく動作しない場合はビデオコントロールケーブルを使用しての録画はできません。

3 固定する（固定する場所の例）

ビデオコントロールケーブル



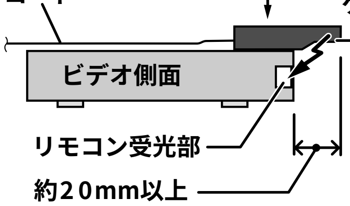
①この保護テープをはがす

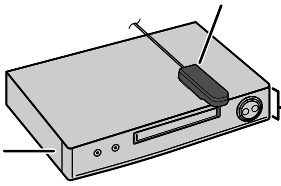
②ビデオコントロールケーブルに接着面を強く押し付け貼り付ける

③この保護テープをはがす

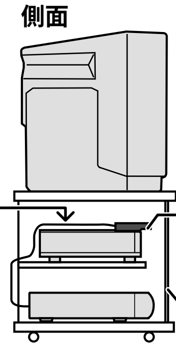
両面接着テープ

④ビデオにビデオコントロールケーブルを貼り付ける
- ビデオコントロールケーブルが固定できる範囲内で、なるべく前に出してください。
  約20mm以上、前に出してください。

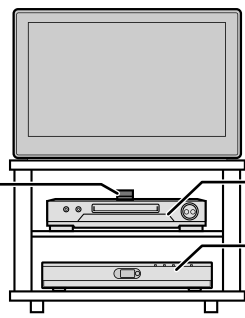




側面



前面



上図のように、ビデオコントロールケーブルのコードを途中で固定したい場合

- 付属の両面テープ(小さいほう)と、ご自宅にあるセロハンテープなどのテープを使います。
- ケーブルがピンと張らずに、多少たるんだ状態となる場所を選んでください。

①両面テープの片側の保護テープをはがし、その場所に貼り付ける
②両面テープのもう一方の保護テープをはがし、コードを貼り付ける
・コードを仮固定します。
③セロハンテープなどを、両面テープとコードの上から貼り、しっかりと押さえる

お願い

- ビデオコントロールケーブルと、ビデオのリモコン受光部との距離が50cm以内を目安に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部をよく確かめ、ビデオコントロールケーブルを多少動かしても充分動作する位置に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部については、ご使用のビデオの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

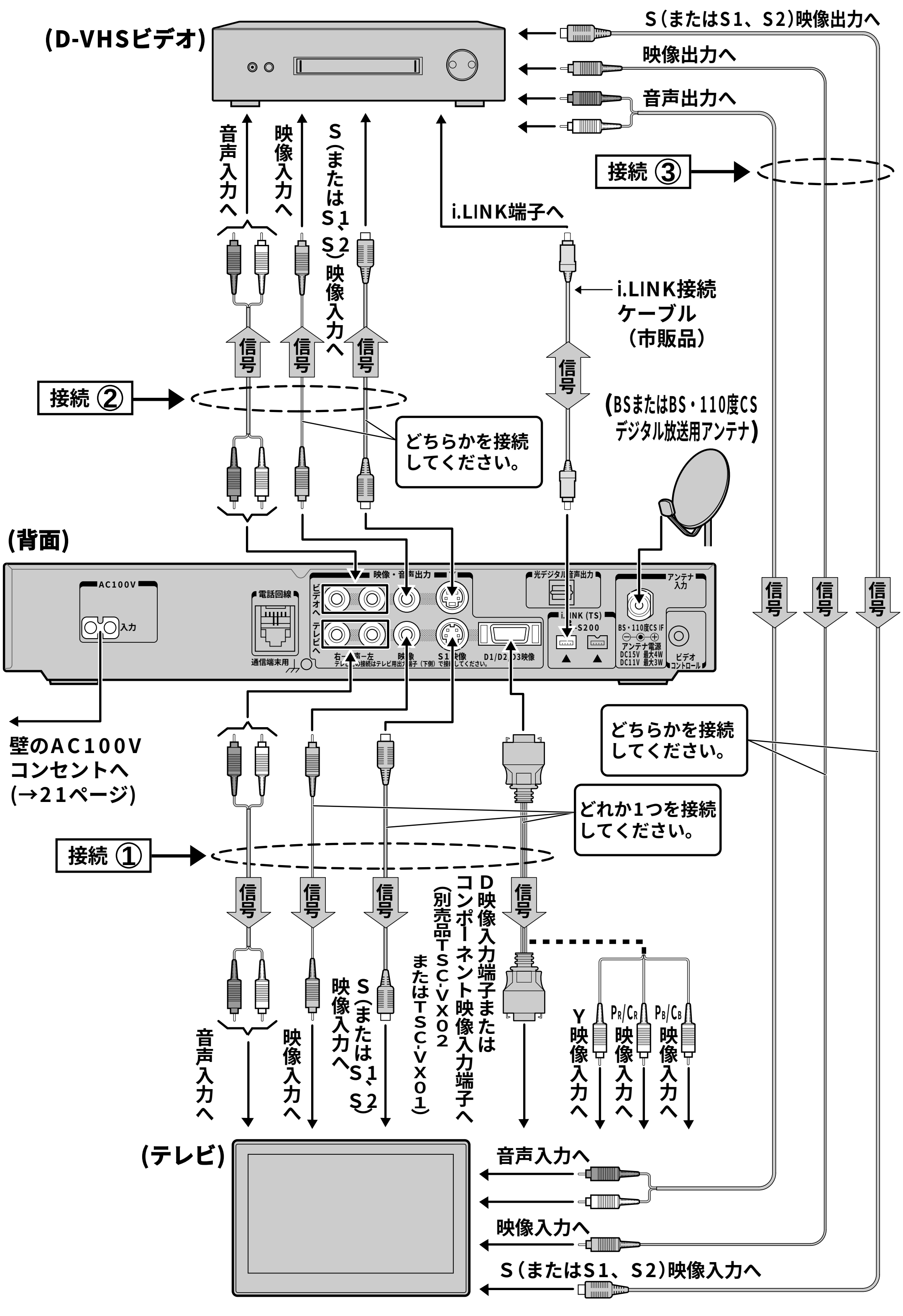
- 機種によっては録画ができないビデオがあります。
  次の①および②の動作がしないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画をすることはできません。
  ①111ページの手順**8**の操作で「ビデオの電源が入⇔切（待機）」の動作をしない。
  ②111ページの手順**11**の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない。

i.LINK端子付きの機器とのつなぎかた

● i.LINK 接続することで、さらに便利な使いかたができます。

i.LINK端子付きD-VHSビデオとのつなぎかた

● 下図のようにD-VHSビデオとi.LINK接続することで、次の機能を使うことができます。
①テレビ画面にD-VHSビデオの操作パネルを表示させて、操作をする（→81、82ページ）
②デジタル放送を録画予約（デジタル録画）する（→47ページ）
③今見ているデジタル放送を簡単操作でデジタル録画する（「一発録画」→62ページ）



お願い

● i.LINK接続コードは、「S200」または「S400」のものをご使用ください。
● i.LINK接続を使用する場合は、接続後必要に応じて「i.LINK設定」（→104ページ）を行ってください。

お知らせ

● デジタル放送をD-VHSビデオにアナログ録画するときは、D-VHSビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
● テレビやビデオなどと接続するときは、本機および各機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
● 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

■S1映像出力端子（ビデオへ）、および映像出力端子（ビデオへ）について
● 上記端子からは文字画面の表示（番組名の表示やメニュー表示、字幕など）やデータ放送は出力されません。



お知らせ

- 他の機器から本機がi.LINK操作されているときは、本機から操作をすることはできません。
  本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。
- i.LINKの操作中に、i.LINK接続を変えると画面が途切れる場合があります。
  その際「選ばれた機器にi.LINK接続できません。」が表示された場合は、下記を行ってください。
  ① i.LINK入力切換ボタンを押す
  ② i.LINK接続の状態を確認したあと、もう一度i.LINK入力切換ボタンを押す
- ブロードキャスト入力について
  ・機器によっては、ブロードキャスト出力していても出力信号が異なるために本機ではご覧になれない場合があります。
- D-VHSビデオから本機を制御してデジタル放送の録画を行っている場合、i.LINK入力切換ボタンを押すとその間出力信号が止まりますのでご注意ください。
- i.LINK機器からのデータ放送を再生しているときにデータ放送上の操作によって選局などの操作が行われた場合は、i.LINKモードを終了して通常の画面に戻る場合があります。

本機からi.LINK接続された機器を操作する

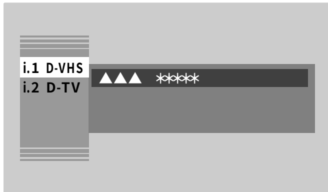
基本の操作

- 操作をする前に…
  接続されるi.LINK機器やご使用の状況によっては、あらかじめ設定が必要な場合があります。
  詳しくは、「i.LINK設定」(→104～109ページ)をご覧ください。
- i.LINK端子付き機器の操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 i.LINK 入力切換ボタンを押す



- i.LINKモードになります。



2 カーソル ▲・▼ ボタンで操作したい機器を選ぶ

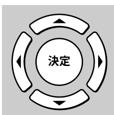


- カーソル ◀ ボタンでカーソル位置を左端にした後、カーソル▲・▼ボタンで機器を選んでください。
  ブロードキャスト入力を見る場合は、「ブロードキャスト」を選んでください。
  (ブロードキャストとその設定については、108ページをご覧ください。)

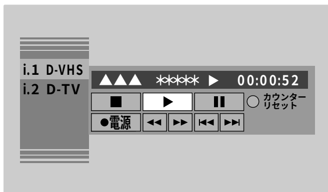
お知らせ

- i.LINK接続・登録されている機器が1台の場合で、ブロードキャスト入力がオフに設定されている場合は機器の選択は必要ありません。手順**3**に進んでください。

3 カーソル ▶ ボタンでカーソルを操作ボタン部分に移動した後、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、操作するボタン表示を選び、決定ボタンを押す



- 操作パネル表示は、操作する機器によって異なります。



■D-VHSビデオの場合………次ページへ
■i.LINK端子のあるテレビ/チューナーの場合………83ページへ

操作パネル表示を消したいとき

①操作パネルボタンを押す
- 操作パネル表示が消えます。

②もう一度、表示させるには、操作パネルボタンを押す

4 [i.LINKでの操作を終了するには] i.LINK 入力切換ボタンを押す



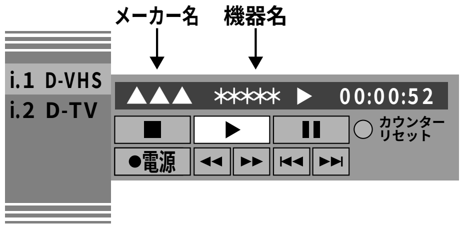
接続のしかた

i.LINK端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

■ D-VHS ビデオの場合

（操作パネル表示例）



（本機でできる操作）

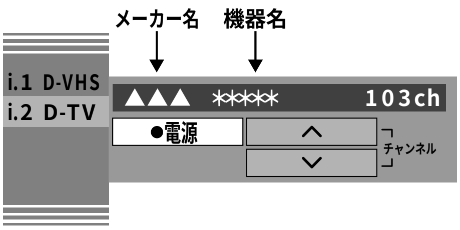
ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止/解除
⏮	前に戻って、頭出し再生
⏭	1つ先に進んで、頭出し再生
▶▶	早送り
◀◀	巻戻し
カウンターリセット	カウンター表示をリセット

お知らせ

- 画質や見えかたについては、「本機の映像信号出力について」（→130ページ）をご覧ください。
- 操作パネルを使って録画の操作をすることはできません。
- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 一時停止の操作は、映像信号だけが一時停止されます。データ放送が起動している場合は、データ放送が選局し直され、静止画像は表示されません。また、信号が不安定な場合は、静止映像は表示されません。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器を削除するには」（→106ページ）の手順に従い、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- 「登録モード設定」（→108ページ）で「手動」に設定している場合は、「i.LINK機器の登録」（→104ページ）を行ってください。

■ i.LINK 端子のあるテレビ / チューナーの場合

（操作パネル表示例）



（本機でできる操作）

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
∧	上方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。
∨	下方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。

お知らせ

- 画質や見えかたについては、「本機の映像信号出力について」（→130ページ）をご覧ください。
- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK接続されている相手側機器が電波を正しく受信していない場合は、上記操作パネル表示のボタンを使ってチャンネルを切り換えることはできません。
  その際は接続機器側でチャンネル切換の操作を行ってください。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器を削除するには」（→106ページ）の手順に従い、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- 「登録モード設定」（→108ページ）で「手動」に設定している場合は、「i.LINK機器の登録」（→104ページ）を行ってください。

i.LINK端子付きの機器とのつなぎかた つづき

i.LINKについて

i.LINKとは

● i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像信号やデジタル音声信号、データ信号を双方向で通信できる、シリアルインターフェースです。 i.LINKケーブル１本で接続することができます。

■本機が接続できるi.LINK機器について

● 下記の製品については、電源 入／切（待機）、再生、停止、BSデジタル放送の予約録画や一発録画が本機からi.LINKでコントロールできることが確認されています。
● それ以外の機能については、正しく動作しない場合があります。

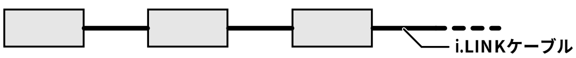
製　品	メーカー	型　名（STDモード対応）		型　名（HS/STDモード対応）		
D-VHSビデオ	東芝			A-HD2000		
D-VHSビデオ	シャープ	VC-DS1				
D-VHSビデオ	ソニー	SLD-DC1				
D-VHSビデオ	日本ビクター	HM-DR1	HM-DR10000	HM-DH20000	HM-DH30000	HM-DH35000
D-VHSビデオ	松下電器産業			NV-DH1 NV-DH2	NV-DHE10 NV-DHE20	

● 上記以外で、i.LINK制御できる機器もありますが、正しく動作しない場合があります。
また、上記リストの製品でも、本機から正しく制御できなくなる場合があります。
● D-VHSビデオで110度CSデジタル放送の録画が可能かについては、各ビデオのメーカーにお問い合わせください。
● HSモード対応ではないD-VHSビデオの場合、デジタルハイビジョン放送は、ハイビジョンでのデジタル録画ができません。
● 東芝（A-HD2000）、日本ビクター（HM-DH20000、HM-DH30000など）は録画モードがD-VHSビデオ側で確定されます。
設定方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
● 複数の機器を接続して使用する場合は、各機器の仕様により動作が安定しない場合があります。
● DV機器はフォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。

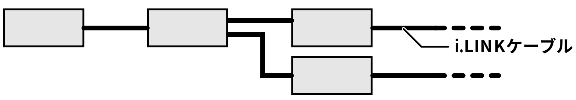
■ i.LINK接続のしかた

● i.LINK接続では、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつないだ機器も操作やデータのやりとりができます。そのため、機器をつなぐ順番を考慮する必要はありません。
ただし、接続する機器の仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

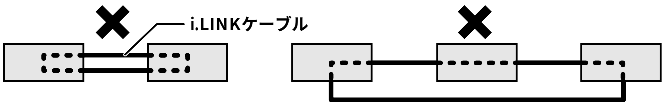
● i.LINK機器は、右図のようにi.LINKケーブルを使用してデイジーチェーン（数珠つなぎ）でつなぎます。



● i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合は、右図のように分岐してつなぐこともできます。



● 右図のようなループ（輪）状にはつながないでください。



■接続できる機器の数について

● 他の機器を16台までデイジーチェーンでつなげます。分岐して接続した場合は、最大62台まで他の機器を接続できます。

■接続についてのご注意

● 接続の際は、4ピン、「S200」または「S400」のタイプのi.LINK専用ケーブル（市販品）をご使用ください。
● 一部の機器では、電源を切られているとデータを中継しない場合があります。
● i.LINK機器にはその機器が対応している最大データ転送速度が、i.LNK端子の周辺に記載されています。
データ転送速度には、S100(100Mbps)、S200(200Mbps)、S400(400Mbps)の3種類が定められています。最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様によっては、実際の転送速度が遅くなる場合があります。

■ i.LINK での再生について

● 本機はBSデジタル放送、および110度CSデジタル放送専用の受信機です。
そのため、上記の放送以外の信号（DVカメラの信号など）については、まったく再生できないか、または正常に再生できません。
[詳しい説明]
・ 本機はBSデジタル放送、および110度CSデジタル放送専用の受信機であり、それらの放送によるMPEG-TS信号のみに対応しています。
そのため、DV機器などの他の信号フォーマットについては再生できません。
また、MPEG-TS信号であってもBSデジタル放送や110度CSデジタル放送以外のもの（アナログ信号を独自にエンコードしたMPEG-TS信号など）については、正常に再生できません。

■ i.LINK 機能をご使用の際のご注意

● i.LINK機能をご使用中は、使用していない他のi.LINK機器についてもi.LINK機器のケーブルの抜き差しや、新しいi.LINK機器の追加、電源の入／切は行わないでください。
● 正しく制御できなくなったときは、接続されているいずれかの機器が何らかの影響をおよぼしている場合が考えられます。
（各機器のケーブルの抜き差し（リセット動作）で復帰する場合があります。）
● 登録機器名の表示が正しくない場合は、一度ケーブルを抜き、機器を削除（→106ページ）した後、再度機器を接続・登録（→80、104ページ）してください。
● ダウンロード（→125ページ）が行われた後は、自動的にリセット動作（本機の電源の入/切）が行われます。
本機以外のi.LINK機器間で操作をしているときに、リセット動作（本機の電源の入/切）が行われると問題となる場合には、自動ダウンロード機能を「ダウンロードしない」に設定してご使用ください。（→126ページ参照）

■ D-VHS 方式で録画する際のご注意

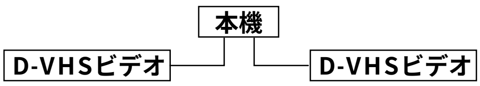
● D-VHS用のビデオテープをご使用ください。

■他機から本機を i.LINK 制御する際のご注意

● 「外部機器からの制御」（→108ページ）を「あり」に設定すると、他の機器から本機をi.LINK制御できるようになります。ただし、その場合は、本機の電源を「入」にしてから、制御してください。

■ D-VHS ビデオでダビングする際のご注意

● 下図のように本機の2つのi.LINK端子を使って、2台のD-VHSビデオを接続し、ダビングを行う場合は、本機の電源を「入」にした状態で行ってください。
電源が「待機」の状態でダビングを行うと、ダウンロード（→125ページ）が実行された場合、ダビングは中止されます。



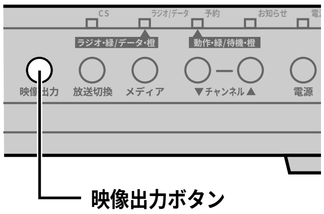
お知らせ

● i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995及びその拡張仕様を示す呼称です。
このIEEE 1394-1995は、電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
i.LINKとi.LINKロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。
● 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

映像出力切換（テレビとの接続端子を設定する）

● **接続するテレビに合わせて以下の設定を行ってください。間違って設定されると、映像が映らなくなる場合がありますので、正しく設定してください。**
● 接続する際は、各機器とのつなぎかた（→ 74 ～ 77 ページ）もご覧ください。
● 接続するテレビの取扱説明書もご覧ください。

【本体前面部 とびら内】



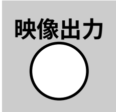
お知らせ

● **「接続テレビ設定」（→ 89、103ページ）で「通常の4：3テレビ」に設定している場合は、映像出力切換を「d2」や「d3」には設定できません。**
● 静止画、デジタルカメラの画像再生、番組表を表示している場合などには、設定できません。

テレビのS映像入力端子またはピン端子の映像入力端子に接続する場合

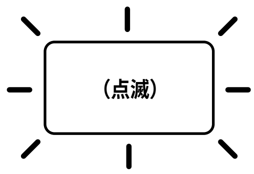
● **お買い上げ時はこの状態に設定されています。**

1 本体前面の映像出力ボタンを数秒間押し、本体表示窓部を点滅表示させる

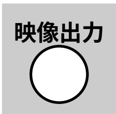


● 映像出力ボタンを押すと現在の映像出力の状態が表示され、そのまま押し続けることにより点滅状態となって、手順**2**の設定ができるようになります。
● 数秒たつと、もとのチャンネル表示に戻りますので、チャンネル表示に戻る前に次の操作を行ってください。

【本体表示窓】

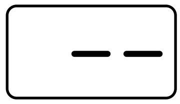


2 点滅している間に映像出力ボタンを押し、表示を「ーー」に設定する



● 映像出力ボタンを押すごとに本体の表示が次のように切り換わります。
※切り換わりには時間がかかる場合があります。
「ーー」 →「d1」→「d2」→「d3」（「d3」の次は「ーー」に戻る）

【本体表示窓】



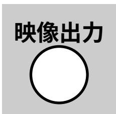
3 「はじめての設定」（→ 88 ～ 93 ページ）を行う

● ここでの設定により本機からどのような映像出力信号が出るかについては、「本機の映像信号出力について」(→130～131ページ)をご覧ください。

テレビのD映像入力端子(D1～D4のいずれか)に接続する場合

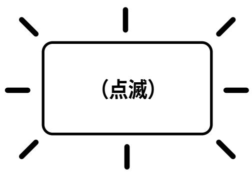
● 本機はD1からD4映像入力端子をもつテレビとの接続に対応しています。

1 本体前面の映像出力ボタンを数秒間押し、本体表示窓部を点滅表示させる

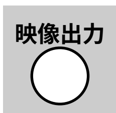


● 映像出力ボタンを押すと現在の映像出力の状態が表示され、そのまま押し続けることにより点滅状態となって、手順**2**の設定ができるようになります。
● 数秒たつと、もとのチャンネル表示に戻りますので、チャンネル表示に戻る前に次の操作を行ってください。

【本体表示窓】



2 点滅している間に映像出力ボタンを押し、下記の設定をする

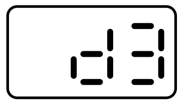


● 映像出力ボタンを押すごとに本体の表示が次のように切り換わります。
※切り換わりには時間がかかる場合があります。
「ーー」 →「d1」→「d2」→「d3」（「d3」の次は「ーー」に戻る）

接続するテレビのD映像入力端子の種類により、次のように設定してください。

テレビの端子	設定する状態
D1映像入力端子の場合	「d1」に設定する
D2映像入力端子の場合	「d2」に設定する
D3またはD4映像入力端子の場合	「d3」に設定する

【本体表示窓】



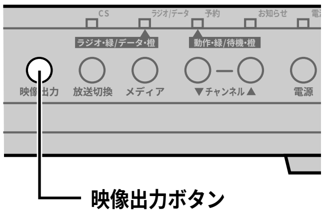
（「d3」に設定した場合）

3 「はじめての設定」（→ 88 ～ 93 ページ）を行う

● ここでの設定により本機からどのような映像出力信号が出るかについては、「本機の映像信号出力について」(→130～131ページ)をご覧ください。

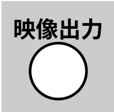
テレビのコンポーネント映像入力端子に接続する場合

【本体前面部 とびら内】



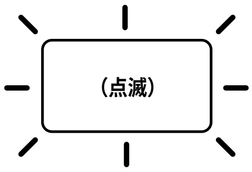
映像出力ボタン

1 本体前面の映像出力ボタンを数秒間押し、本体表示窓部を点滅表示させる

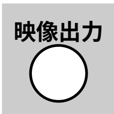


- 映像出力ボタンを押すと現在の映像出力の状態が表示され、そのまま押し続けることにより点滅状態となって、手順**2**の設定ができるようになります。
- 数秒たつと、もとのチャンネル表示に戻りますので、チャンネル表示に戻る前に次の操作を行ってください。

【本体表示窓】



2 点滅している間に映像出力ボタンを押し、下記の設定をする



- 映像出力ボタンを押すごとに本体の表示が次のように切り換わります。

※切り換わりには時間がかかる場合があります。

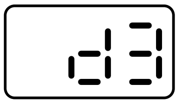
「ーー」→「d1」→「d2」→「d3」

接続するテレビのコンポーネント映像入力端子の種類に合わせ以下に設定してください。

・テレビのコンポーネント映像入力端子がY、P_B、P_R、またはY、P_B/C_B、P_R/C_Rの場合、映像出力ボタンを押して、本体表示窓にd3の表示を点灯させます。

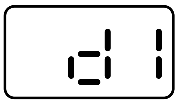
・テレビのコンポーネント映像入力端子がY、C_B、C_Rの場合、映像出力ボタンを押して、本体表示窓にd1の表示を点灯させます。

【本体表示窓】



（「d3」に設定した場合）

【本体表示窓】



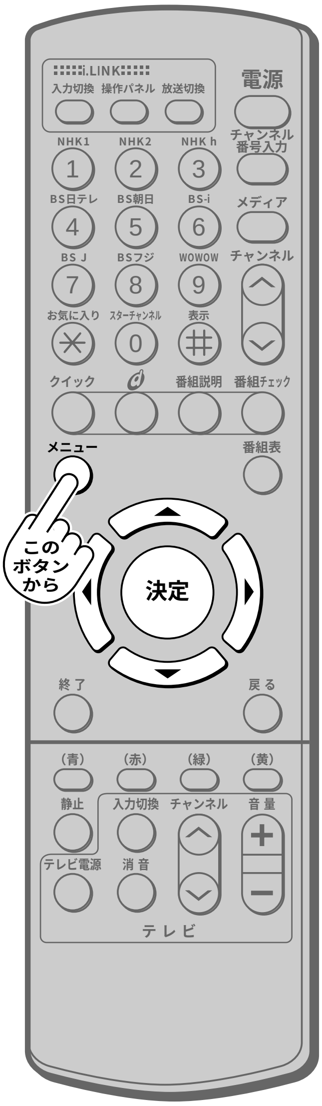
（「d1」に設定した場合）

3 「はじめての設定」（→ 88 ～ 93 ページ）を行う

- ここでの設定により本機からどのような映像出力信号が出るかについては、「本機の映像信号出力について」（→130～131ページ）をご覧ください。

はじめての設定をする

● 最初に必要な設定をまとめて行います。



はじめての設定

● 設定項目は次のとおりです。

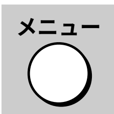
設定項目	内　容
接続テレビ設定	接続されるテレビがワイドテレビ（画面の横縦比が16：9）か、通常のテレビ（画面の横縦比が4：3）かを設定します。（デジタル放送では、放送される映像の横縦比の信号をテレビで忠実に再現するための信号が送られています。この信号を検出して最適な画面サイズにするための設定です。）
郵便番号と地域の設定	お住まいの地域に応じたデータ放送（天気予報・選挙速報）や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ送受信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。
電話回線設定	デジタル放送では、電話回線を利用したサービスが行われています。それらのサービスを楽しむための設定です。
簡易確認テスト	受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

はじめに

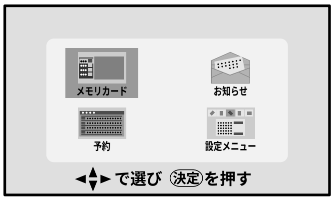
「映像出力切換（テレビとの接続端子を設定する）**」****（→ 86、87 ページ）****を行う**

● 設定が間違っていると､映像やメニューなどが表示されません。

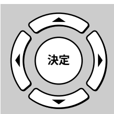
1 メニューボタンを押す



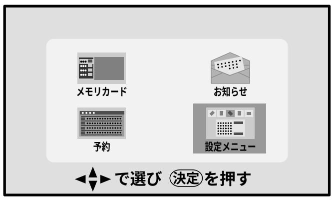
● メニューが表示されます。



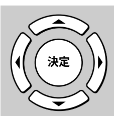
2 カーソル ▲･▼･◀･▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

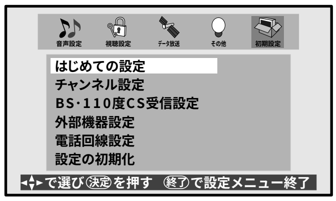


● 設定メニューが表示されます。

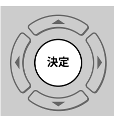


3 カーソル ◀･▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲･▼ ボタンで「はじめての設定」を選んで、決定ボタンを押す

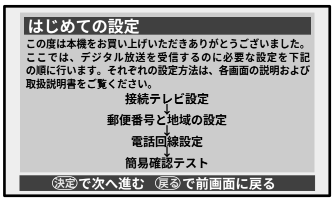




4 右の画面を読んだ後、決定ボタンを押す



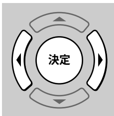
● 接続テレビ設定→郵便番号と地域の設定→電話回線設定→簡易確認テストの順に続けて行います。



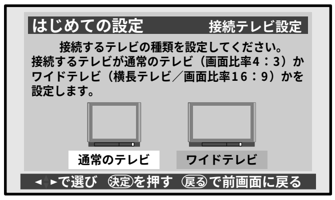


接続テレビ設定

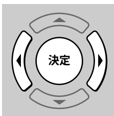
5 カーソル ◀·▶ ボタンで「通常のテレビ」または「ワイドテレビ」を選び、決定ボタンを押す

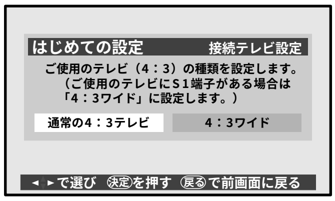


■「通常のテレビ」を選んだ場合………手順**6**に進む
■「ワイドテレビ」を選んだ場合………手順**7**に進む



6 ［手順5で「通常のテレビ」を選んだ場合］下記により、「通常の４：３テレビ」または「４：３ワイド」を選ぶ





S1映像入力端子付きでないテレビの場合

- **カーソル ◀·▶ ボタンで「通常の4：3テレビ」を選び、決定ボタンを押す**
  - 「映像出力切換」（86〜87ページ）で、「ーー」または「d1」に設定していない場合は「通常の4：3テレビ」には設定できません。
  - 次は手順**7**に進みます。

S1映像入力端子付きのテレビの場合

- **カーソル ◀·▶ ボタンで「4：3ワイド」を選び、決定ボタンを押す**
  - 次は手順**7**に進みます。

［次のページにつづく］

お知らせ

- ここでの設定により本機からどのような映像出力信号が出るかについては、「本機の映像信号出力について」（→130〜131ページ）をご覧ください。
- ビデオへの映像出力端子もここでの設定に応じて信号が出力されます。
- 手順**5**で「ワイドテレビ」に設定した場合でも、ワイドテレビがS1、S2映像入力でない場合や、ピン端子の映像入力端子と接続した場合、映像の横縦比が16：9の番組を受信すると映像が縦長になります。その場合はワイドテレビをフルモードに設定してください。
- **通常のテレビでS１映像入力端子がある場合**
  手順**6**で「4：3ワイド」に設定すると、ワイド映像受信時に高画質な映像で楽しめます。その場合、ピン端子の映像入力端子で接続している場合で画像が縦長となる場合は、テレビ側で正常な画像となるように切り換えてください。

はじめての設定をする つづき



はじめての設定 つづき

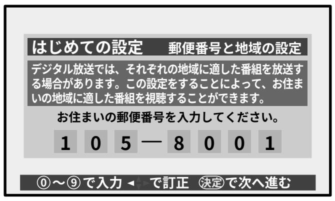
郵便番号と地域の設定

7 数字(0～9)ボタンで、あなたのお住まいの郵便番号を入力し、決定ボタンを押す

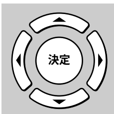




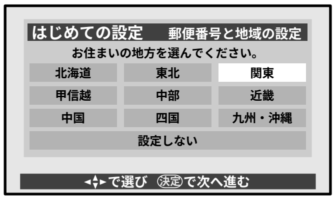
- 「地方選択」画面が表示されます。
- 入力を間違えた場合は、カーソル ◀ ボタンでカーソルを戻してからもう一度入力してください。



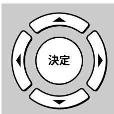
8 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで該当する地方を選択し、決定ボタンを押す



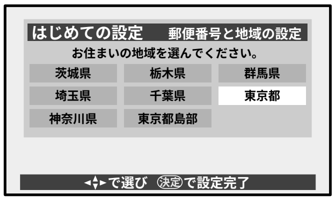
- 「地域選択」画面が表示されます。
- 「設定しない」を選んだ場合、次ページの手順**10**の「電話回線設定」に進みます。



9 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで該当する地域を選択し、決定ボタンを押す



- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。
- 次ページの手順**10**の「電話回線設定」に進みます。



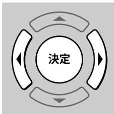
お知らせ

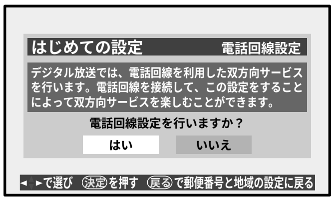
- データ放送を受信している状態でここでの設定をした場合、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されていません。再度データ放送を選局し直してください。
- 郵便番号入力で上3桁を入力して決定ボタンを押すと残り4桁は自動的に「0」が入力されます。
- 上2桁までの入力で決定ボタンを押すと、エラーになります。決定ボタンを押してもう一度入力してください。

電話回線設定（外線発信番号の設定）



10 ［電話回線の設定を行うには］
右の画面でカーソル ◀·▶ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す



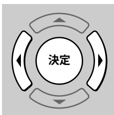


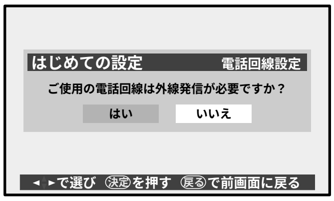
- 次は手順**11**に進みます。

電話回線の設定を行わない場合

- **カーソル ◀·▶ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - 次は手順**15**の確認画面に進みます。

11 右の画面で下記を行う





- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。

外線発信番号が必要な場合

- **カーソル ◀·▶ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - 次は手順**12**に進みます。

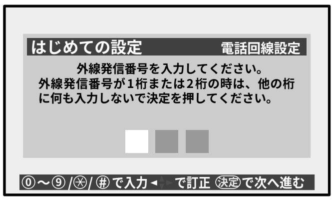
外線発信番号が不要な場合

- **カーソル ◀·▶ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - 次は手順**13**に進みます。

12 ［手順**11**で「はい」を選んだ場合］
外線発信番号を入力して、決定ボタンを押す







- 0〜9、#、✻のボタンを押すことで設定します。（左詰めで入力してください）
- 最大3桁までの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンで前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- １桁、または2桁の設定を行う場合は、左詰めで入力し他の桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。
  ※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。
- 次は手順**13**に進みます。

［次のページにつづく］

はじめての設定をする つづき

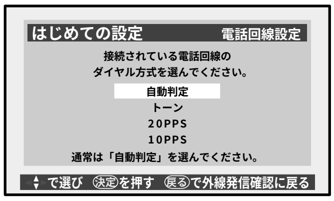


はじめての設定 つづき

電話回線設定(ダイヤル方式の設定)

13 **カーソル ▲・▼ ボタンで設定するダイヤル方式を選び、決定ボタンを押す**

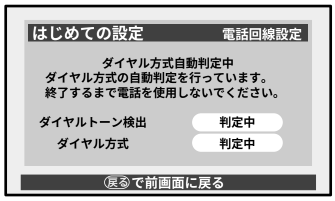




● 通常は「自動判定」を選びます。

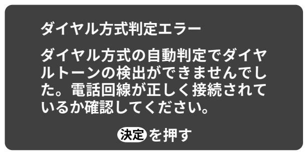
「自動判定」を選んだ場合

● 判定中は右の画面になります。
● 最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。
● 自動判定が終了すると判定結果が表示されます。次は手順**14**に進みます。



「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合

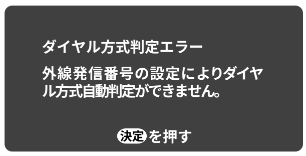
● 右のメッセージの場合
・ 電話回線の接続確認(→71～73ページ)をしてからもう一度行ってください。



お知らせ

● 電話回線の種類によっては、自動判定できない場合があります。上記を行っても自動判定できない場合は、決定ボタンを押してダイヤル方式設定の画面に戻り、ご使用になっている電話回線のダイヤル方式(トーン、20PPS、10PPS)を選んで決定ボタンを押し、手順**14**に進みます。
● ダイヤル方式がご不明の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。

● 右のメッセージの場合
・「外線発信番号あり」に設定している場合で、さらに、114ページで外線発信後の待ち時間を設定している場合は、右のメッセージが表示され、ダイヤル方式自動判定ができません。
この場合は上記「お知らせ」と同じ操作により「ダイヤル方式」を設定してください。

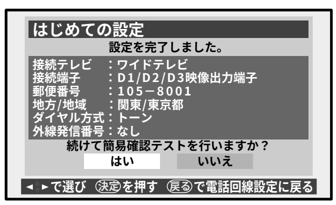


自動判定が終了しない場合

● 3分以上たっても終了しない場合は、戻るボタンを押して自動判定を中止し、電話回線との接続が正しく行われているか確認してください。(→71～73ページ)

14 [手順**13**で「自動判定」を選んだとき]
判定結果を確認して、決定ボタンを押す

15 **設定内容を確認する**



設定内容によって表示は異なります。

● 設定内容を変更する場合は戻るボタンを押してください。戻るボタンを押すごとに、「はじめての設定」の各項目の最初の画面に戻ります。

簡易確認テストを行う場合

● 次は手順**16**に進みます。

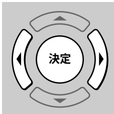
簡易確認テストを行わない場合

● **カーソル ◀・▶ ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
・ これで「はじめての設定」は終了です。
● **通常画面に戻るには終了ボタンを押す**

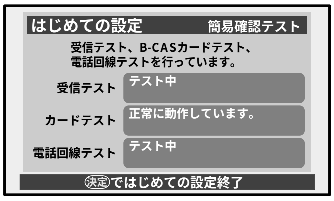
簡易確認テスト



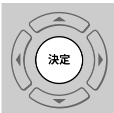
16 カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す



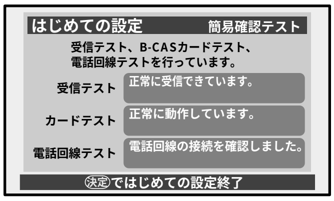
- 簡易確認テストが開始されます。
- BS受信テスト中はBSチャンネルを、110度CS受信テスト中は110度CSチャンネルを受信します。
- 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- 「テスト結果」については下記をご覧ください。



17 [簡易確認テストが終了したら] 決定ボタンを押す



- これで「はじめての設定」は終了です。
- 通常画面に戻るには、終了ボタンを押します。



お知らせ

■電話回線テストの結果

- **「電話回線の接続を確認しました。」が表示された場合**
  - 正しく接続されています。
- **「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」が表示された場合**
  - 「電話回線の接続」(→71～73ページ)および「電話回線の設定」(→91～92ページ)を参照し、もう一度接続・設定の状態を確認してください。
- **「電話回線の接続を確認できませんでした。」が表示された場合**
  - ダイヤル方式の設定が間違っているか、ターミナルアダプターを使用していることが考えられます。詳しくは71、92ページをご覧ください。
- **「外線発信番号の設定により電話回線テストができませんでした。」が表示された場合**
  - 113ページ「外線発信番号あり」に設定し、さらに114ページで外線発信後の待ち時間を設定している場合は、電話回線テストはできません。電話回線が正しくつながっていることを確認するには「センターと接続できることを確認する場合」(116ページ)を行うことをおすすめします。

■テスト結果について

■受信テスト

- BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が受信できることをテストします。

正しい場合

- 「正常に受信できています。」が表示されます。

「正しく受信できません。」または「BS(110度CS)は受信できますが110度CS(BS)が受信できません。」が表示された場合

- 「アンテナ線の接続」(→70ページ)と「BS・110度CS受信設定」(→99 ～102ページ)を参照し、もう一度設定の状態を確認してください。

■カードテスト

- 本機で使えるカードかどうかテストします。

正しい場合

- 「正常に動作しています。」が表示されます。

「このB-CASカードはご使用になれません。」が表示された場合

- B-CASカードを確かめてください。
- B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

「B-CASカードを正しく挿入してください。」が表示された場合

- B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」が表示された場合

- B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

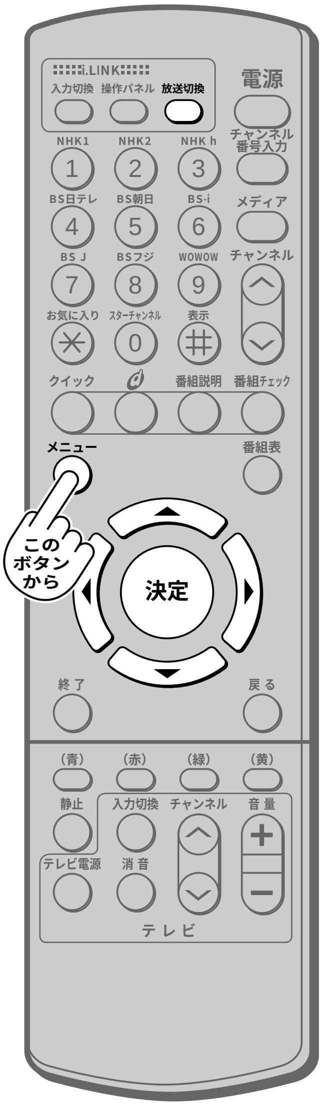
「B-CASカードが故障しています。」が表示された場合

- B-CASカードを交換してください。
- B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

■電話回線テスト

- 電話回線が正しくつながることをテストします。
  テスト結果については左の「お知らせ」をご覧ください。

初期設定を個別に行うとき

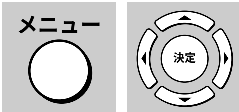


チャンネル設定

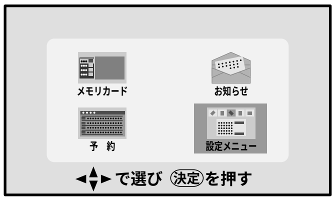
ダイレクトボタン設定

- リモコンのチャンネルダイレクトボタン（1～9、0）で、お好みのチャンネルが選局できるように設定することができます。
- お買い上げ時は、23ページのチャンネルが各ボタンに設定されています。

1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

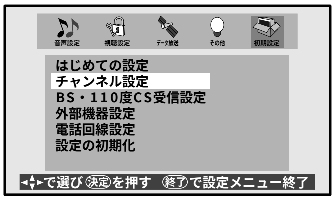


- 設定メニューが表示されます。



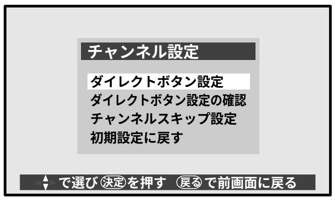
2 カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「チャンネル設定」を選んで決定ボタンを押す





3 カーソル ▲・▼ ボタンで「ダイレクトボタン設定」を選び、決定ボタンを押す





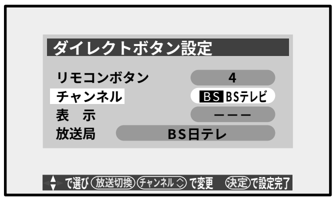
4 カーソル ▲・▼ ボタンで設定するリモコンのボタンを選び、決定ボタンを押す





5 放送切換ボタンを押し、BSデジタル放送か110度 CS デジタル放送を選ぶ







6 下記の操作でチャンネルを設定する

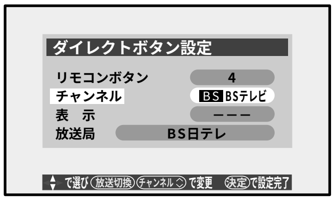
BSデジタル放送を設定する場合

● **チャンネル∧・∨ボタンで設定する放送メディア、またはBSチャンネルを選ぶ**
・チャンネル∧・∨ボタンを押すと下記の順に切り換わります。

→BSテレビ ←→ BSラジオ ←→ BSデータ ←→ BSチャンネルを番号順に選局 ←

放送メディア（「BSテレビ」または「BSラジオ」または「BSデータ」）を選んだ場合

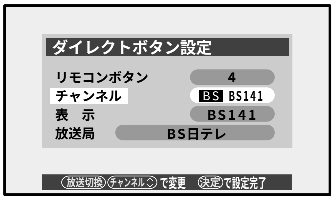
- 1つのボタンに同じ放送局のBSテレビまたはBSラジオまたはBSデータの複数チャンネルがまとめて設定されます。
- 上記の操作で放送メディアを設定した後、下記の操作で設定したい放送局を選んでください。
  ①カーソル ▲・▼ボタンで「放送局」を選ぶ
  ②チャンネル∧・∨ボタンで設定したい放送局を選ぶ
- 「表示」欄は「－－－」表示となり、変更できません。



（例）
リモコンのチャンネルダイレクトボタン④を押すごとに、「ＢＳ日テレ」の「ＢＳテレビ」チャンネルが順次選局される設定

通常のBSデジタル放送のチャンネルを選んだ場合

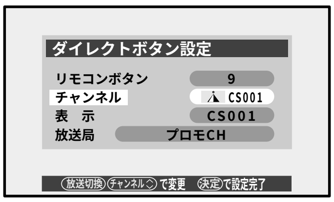
- リモコンのチャンネルダイレクトボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルのみが選局されるように設定されます。
- 「表示」欄には選局時テレビ画面に表示されるチャンネル番号が表示されます。
  （表示を変えることはできません。）
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。
  （放送局名を変えることはできません。）



（例）
リモコンのチャンネルダイレクトボタン④を押すと、BS141が選局される設定

110度CSデジタル放送を設定する場合

● **チャンネル∧・∨ボタンで設定する110度CSチャンネルを選ぶ**
・チャンネル∧・∨ボタンを押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
・放送メディアを指定することはできません。
・リモコンのチャンネルダイレクトボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルだけが選局されるように設定されます。
・「表示」欄には選局時テレビ画面に表示されるチャンネル番号が表示されます。
　（表示を変えることはできません。）
・「放送局」欄には選んだチャンネルの放送が表示されます。
　（放送局名を変えることはできません。）



（例）
リモコンのチャンネルダイレクトボタン⑨を押すと、CS001が選局される設定

お知らせ

- 手順**6**で設定する際、チャンネル∧・∨ボタンを押しつづけると、選局動作を省略することにより、設定するチャンネルの選択を早く行うことができます。

7 決定ボタンを押す

他のボタンにもチャンネルを設定する場合、手順４～７を繰り返す

8 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

設定のしかた

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

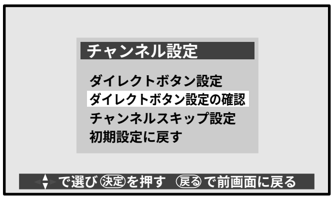
ダイレクトボタン設定の確認

● リモコンのチャンネルダイレクトボタン(1～9、0)に設定された内容を一覧で見ることができます。

1 **94ページの手順1、2を行う**

2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「ダイレクトボタン設定の確認」を選び、決定ボタンを押す**

●「ダイレクトボタン設定の確認」画面が表示されます。



3 **カーソル ▲·▼ ボタンで画面表示をページ切換させて、設定内容を確認する**



4 **決定ボタンを押す**

● 手順**2**の画面に戻ります。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

● 設定内容を変更する場合は、94ページの「ダイレクトボタン設定」をご覧ください。

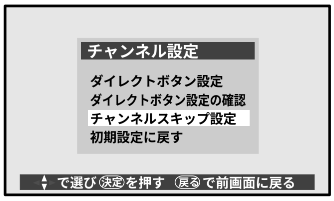
チャンネルスキップ設定

● チャンネル∧·∨ボタンで選局するときに不要なチャンネルを飛び越し選局できます。

1 **94ページの手順1、2を行う**

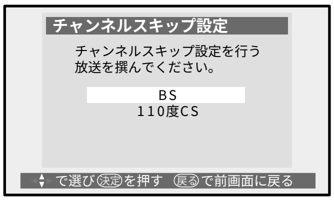
2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「チャンネルスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す**

●「チャンネルスキップ設定」画面が表示されます。



3 **カーソル ▲·▼ ボタンで「BS」または「110度CS」を選び、決定ボタンを押す**

● チャンネルスキップ設定を行う放送を選びます。



4 **カーソル ▲·▼ ボタンでスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ**



(例) 放送メディアが「テレビ」の場合

放送メディアを変えたいとき

● **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
・ 放送メディアの詳細については、24ページの手順**2**をご覧ください。

5 **決定ボタンを押す**

● 決定ボタンを押すごとに、「受信」←→「スキップ」と交互に切り換わります。

いくつものチャンネルについて設定するときは、手順4、5を繰り返す
(異なる衛星のチャネルについて設定する場合は、手順4の画面のときに戻るボタンを押して手順3の操作から行ってください。)

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

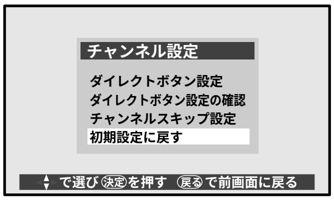
● ハイビジョン放送のように1つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネル(一番小さい番号のチャンネル)をスキップ設定するとその次のチャンネルを選局します。

チャンネル設定を最初の状態に戻す

● お買い上げ時のチャンネル設定の状態に戻すことができます。

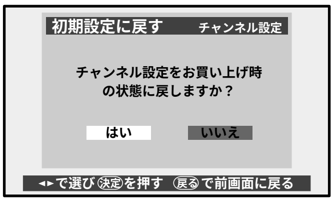
1 **94 ページの手順 1、2 を行う**

2 **カーソル ▲・▼ ボタンで「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す**



3 **カーソル ◀・▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**

● チャンネル設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

お知らせ

● お買い上げ時のチャンネル設定の状態については、23ページの表をご覧ください。

初期設定を個別に行うとき つづき

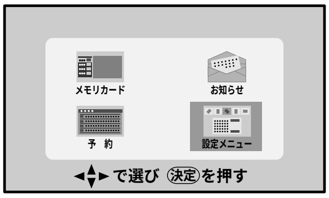
音声の設定

TruSurround設定(サラウンド設定)

- TruSurround(トゥルーサラウンド)は、映画などにおいてより自然な臨場感でお楽しみいただける機能です。
- お買い上げ時は、「オン」に設定されています。

1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選んで、決定ボタンを押す**

- 設定メニューが表示されます。



2 **カーソル ◀・▶ ボタンで「音声設定」を選ぶ**



3 **カーソル ▲・▼ ボタンで「TruSurround」を選び、決定ボタンを押す**



4 **カーソル ▲・▼ ボタンで「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す**

- オン‥‥サラウンド効果が出ます。
- オフ‥‥サラウンド効果が得られません。



5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

■**TruSurround設定について**

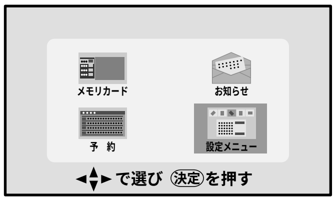
- 番組がモノラル放送の場合など、ご覧になる番組によってはサラウンド効果が得られない場合があります。
- 光デジタル音声出力については、音声信号がリニアPCMのときのみ、サラウンド効果が得られます。
- SRS TruSurround、SRSと(●)®記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
  SRS TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

光デジタル音声出力の設定

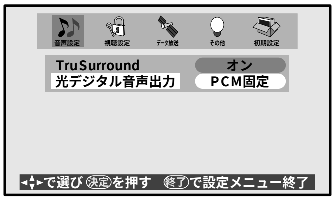
- 「光デジタル音声出力」は、「PCM固定」、「AAC優先」、「サラウンドAAC優先」の3つの状態に設定することができます。
- お買い上げ時は、「PCM固定」に設定されています。
- MPEG-2 AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプ(市販品)をつなぐときは、下記の操作で「AAC優先」または「サラウンドAAC優先」に設定してください。

1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

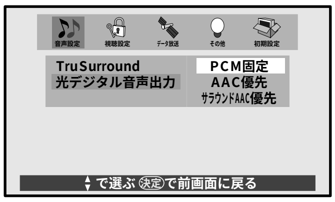
- 設定メニューが表示されます。



2 **カーソル ◀・▶ ボタンで「音声設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「光デジタル音声出力」を選んで、決定ボタンを押す**



3 **カーソル ▲・▼ ボタンで希望の信号を選び、決定ボタンを押す**



- 「PCM固定」‥‥‥‥ リニアPCM信号が出力されます。
- 「AAC優先」‥‥‥‥ MPEG-2 AAC信号の場合はMPEG-2 AAC信号が出力され、それ以外の信号の場合はリニアPCM信号が出力されます。
- 「サラウンドAAC優先」‥‥ AACマルチCHステレオ(5.1や4.1CHステレオなど)受信時は、AACで出力されます。それ以外の受信時にはリニアPCM信号が出力されます。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 光デジタル音声出力設定が「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が、光デジタル音声出力端子からは出力されない場合があります。

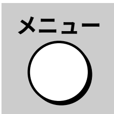


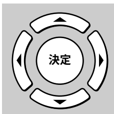
BS・110度CS受信設定

アンテナ電源供給の設定

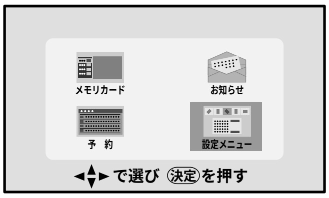
- アンテナに取り付けられたコンバーターへの電源供給をするかしないかの設定をします。
- お買い上げ時は､｢供給する｣に設定されています。
  他の機器からアンテナに電源を供給している場合は､下記の操作で｢供給しない｣に設定してください。

1 メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

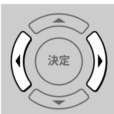


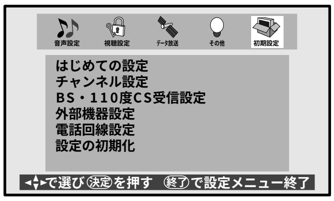


- 設定メニューが表示されます。



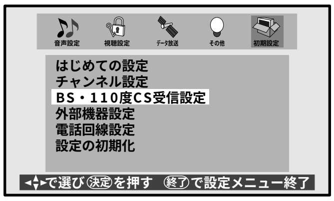
2 カーソル ◀·▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ





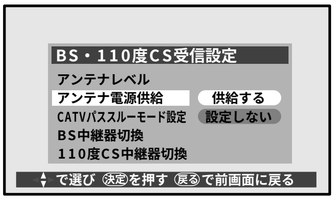
3 カーソル ▲·▼ ボタンで「BS・110度CS受信設定」を選び、決定ボタンを押す





4 カーソル ▲·▼ ボタンで「アンテナ電源供給」を選び、決定ボタンを押す

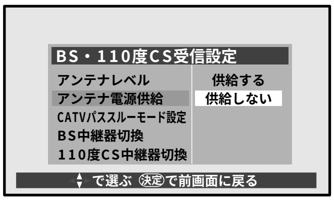




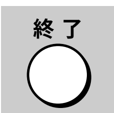
5 カーソル ▲·▼ ボタンで「供給する」または「供給しない」を選び、決定ボタンを押す



- 選ぶごとに電源の供給状態が反映されます。



6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す



お知らせ

- 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常アンテナ電源は供給されませんが、契約情報の更新やダウンロード実行などの際には自動的にアンテナ電源が供給されます。
- 70ページの「アンテナ線の接続」も合わせてご覧ください。

初期設定を個別に行うとき つづき



BS・110度CS受信設定 つづき

アンテナレベル表示

- アンテナの方向調整や､アンテナからの受信状態を確認するときに使用します。この数値が最大になるようにアンテナの方向を調整してください。
- アンテナの調整方法については､アンテナの取扱説明書をご覧ください。

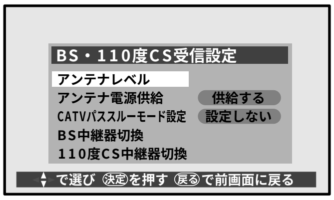
1 **前ページの手順１～３を行う**

- 「BS･110度CS受信設定」画面になります。

2 **カーソル ▲･▼ ボタンで「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す**



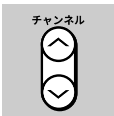
- 「アンテナレベル」画面が表示されます。



3 **放送切換ボタンを押し、BS放送または110度CS放送のアンテナレベルを表示させる**



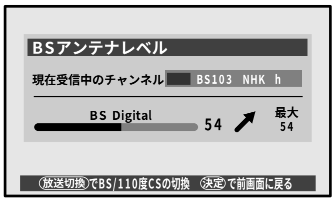
4 **現在放送が行われているチャンネルを選局する**



- チャンネル ∧∨ ボタンで選局できます。

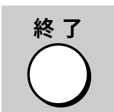
5 **「アンテナレベル」の数値が最大となるようにアンテナを調整する**

- アンテナレベルが大きくなると↗が表示され､小さくなると↘が表示されます。
- アンテナレベルの最大値を覚えておき､アンテナを固定したときにレベルが下がっていないことを確認してください。



（例）BSアンテナレベルの場合

6 [通常画面に戻るには]
アンテナを固定して、終了ボタンを押す

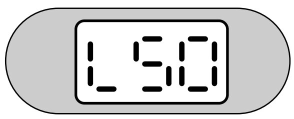


お知らせ

- テレビ画面と同時に本体の「表示窓」にもアンテナレベルが表示されます。

以下の操作によりアンテナ設置時に本体をアンテナの近くに移動して、アンテナレベルを見ることもできます。
＜操作手順＞
電源が入っている状態で（通常の受信画面の状態で）、本体のチャンネル▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
受信画面に戻るには、リモコンの終了ボタンを押します。
＜表示＞
チャンネル番号表示がアンテナレベル表示にかわります。
アンテナレベル表示時は数値の左に「L」が点灯します。

アンテナレベル表示（例）



本体の表示窓

お知らせ

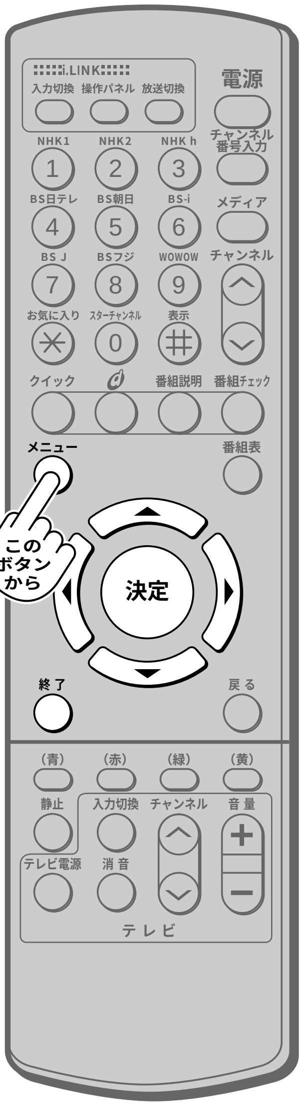
■映像が出ない場合

- 契約していないチャンネルを選んでいる場合があります。契約しているチャンネルまたは無料のチャンネルを選んでアンテナの調整をしてください。

■アンテナ線がショートした場合

- 手順**5**の画面のときにその旨のメッセージが表示されます。一度電源を切り、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れて手順**1**からやり直してください。

CATVパススルーモードの設定(ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください)



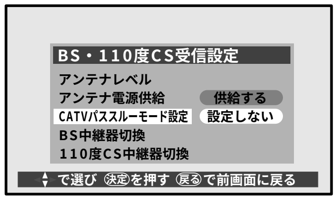
- ケーブルテレビで、BSデジタル放送サービスが行われている場合は、周波数アップコンバーターを接続することで、本機でBSデジタル放送をお楽しみいただけます。
  その場合、下記の操作でCATVパススルーモード設定を行うことが必要です。
- お買い上げ時は、「設定しない」に設定されています。
- この機能や周波数アップコンバーターについては、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 110度CSデジタル放送については、設定できません。

1 99 ページの手順 1～3 を行う

- 「BS・110度CS受信設定」画面になります。

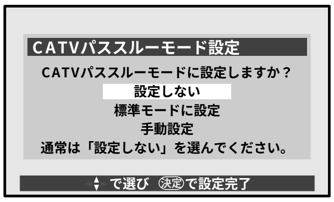
2 カーソル ▲・▼ ボタンで「CATV パススルーモード設定」を選び、決定ボタンを押す





3 カーソル ▲・▼ ボタンで設定する状態を選び、決定ボタンを押す

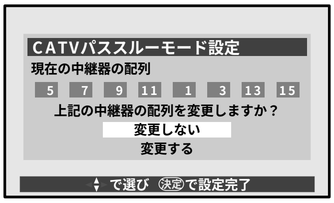




- 右下表によって、設定内容を選んでください。
- 「設定しない」または「標準モードに設定」を選んだ場合はその状態に設定され、手順**2**の画面に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
- 「手動設定」を選んだ場合は、手順**4**に進んでください。
- CATVパススルーモード方式で受信しない場合は「設定しない」を選んでください。

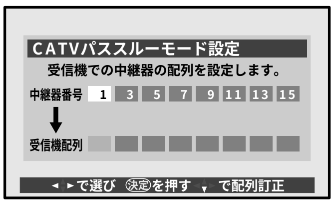
選択項目	内　容
設定しない	CATVパススルーモードを設定しない場合
標準モードに設定	ケーブルテレビでの標準的なCATVパススルー方式
手動設定	伝送するBS-IFチャンネルとその並びを指定する場合

4 [「手動設定」を選んだ場合には]
下記の操作で設定する



①現在設定されている状態を画面表示で確認し、このままで良い場合は「変更しない」を、設定を変える場合は「変更する」をカーソル ▲・▼ ボタンで選んで、決定ボタンを押す
- 「変更しない」を選んだ場合は、手順**2**の画面に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
- 「変更する」を選んだ場合は、手順②に進んでください。

②カーソル ◀・▶ ボタンで設定する中継器を選んで決定ボタンを押す
- 中継器は、設定欄の選んだ中継器の番号が受信機の配列の左から順次設定されます。
- 訂正する場合は、カーソル ▼ ボタンを押し、カーソル ◀ ボタンを押すと一つずつ左に戻ります。
  訂正したらカーソル ▲ ボタンを押してください。
- すべての設定欄に登録されると、手順**2**の画面に戻ります。



項　目	BS-IF							
中心周波数（MHz）	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00
衛星直接受信チャンネル	BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15
CATVパススルー方式受信チャンネル	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-1	BS-3	BS-13	BS-15

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき



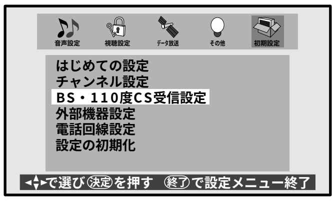
BS・110度CS受信設定 つづき

BS中継器切換／110度CS中継器切換

- 通常は切り換えの必要はありません。
- 衛星の一部の中継器が故障したために、すべての放送が受信できなくなってしまう場合があります。その際は、下記の操作で他の中継器に切り換えることによって、故障した中継器以外の放送が受信できるようになります。
- 衛星の中継器が故障した場合以外にも、外部機器からの電波の干渉によって、一部の中継器が受信できない場合も同様です。

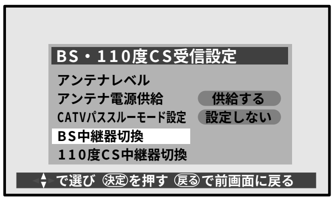
1 **99ページの手順1～3を行う**

- 「BS・110度CS受信設定」画面になります。

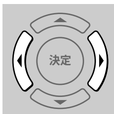


2 **カーソル ▲・▼ ボタンで「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定ボタンを押す**

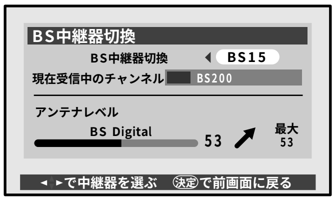




3 **カーソル ◀・▶ ボタンで中継器を切り換える**

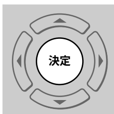


- BSデジタル放送の場合
  選択できる中継器は、「BS1、BS3、BS5、BS7、BS9、BS11、BS13、BS15」です。
- 110度CSデジタル放送の場合
  選択できる中継器は、「ND2、ND4、ND6、ND8、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24」です。

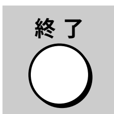


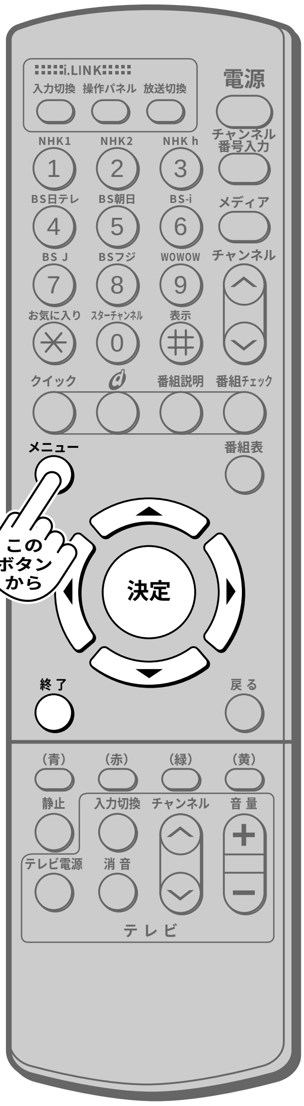
（例）BS中継器切換の場合

4 **放送が受信できたことを確認したら、決定ボタンを押す**



5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す





お知らせ

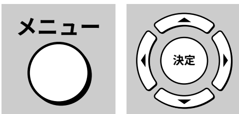
- ここでの設定により本機からどのような映像出力信号が出るかについては、「本機の映像信号出力について」（→130～131ページ）をご覧ください。
- ビデオへの映像出力端子もここでの設定に応じて信号が出力されます。
- 「ワイドテレビ」に設定した場合でも、ワイドテレビがS1、S2映像入力でない場合や、ピン端子の映像入力端子と接続した場合、映像の横縦比が16：9の番組を受信すると映像が縦長になります。その場合はワイドテレビをフルモードに設定してください。

外部機器の設定

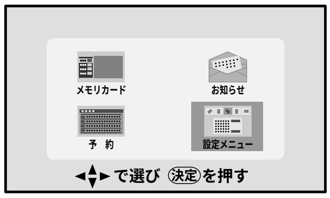
接続テレビ設定

- 接続されるテレビがワイドテレビ（画面の横縦比が16：9）か通常のテレビ（画面の横縦比が4：3）かを設定します。（デジタル放送では、放送される映像の横縦比の信号をテレビで忠実に再現するための信号が送られています。この信号を検出して最適な画面サイズにするための設定です。）
- **「はじめての設定」（→89ページ）でお済みの場合は、ここでの設定は必要ありません。**

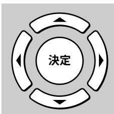
1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

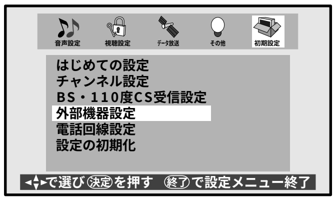


- 設定メニューが表示されます。



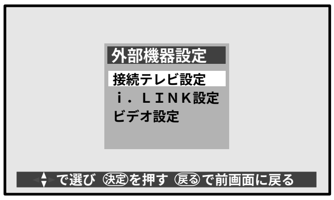
2 カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「外部機器設定」を選んで、決定ボタンを押す





3 カーソル ▲・▼ ボタンで「接続テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す





4 89ページの手順5～6の設定を行い、下の手順5に進む

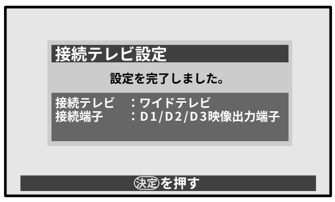
お知らせ

- 画面は「はじめての設定」画面と若干異なります。
- **通常のテレビでS1映像入力端子がある場合**
  89ページの手順**6**で「4：3ワイド」に設定すると、ワイド映像受信時に高画質な映像で楽しめます。その場合、ピン端子の映像入力端子で接続している場合で画像が縦長となる場合は、テレビ側で正常な画像となるように切り換えてください。

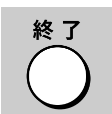
5 設定内容を確認し、決定ボタンを押す



- 設定内容を変更する場合は戻るボタンを押してください。



6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す



設定のしかた

初期設定を個別に行うとき つづき



外部機器の設定 つづき

i.LINK設定

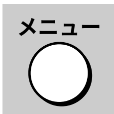
● i.LINK端子にD-VHSビデオなどを接続した場合は、必要に応じて下記の設定を行ってください。

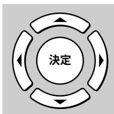
■ i.LINK 機器の登録

● 通常は、本機にi.LINK機器が接続されると自動的に機器登録されますので、この手動操作での登録をする必要はありません。
● 次の場合に、下記の操作で登録を行ってください。
・「登録モード設定」(→108ページ)を「手動」に設定している場合で、新たなi.LINK機器を登録する場合
・ 16台以上のi.LINK機器を接続している場合
● 登録できるのは、最大15台までです。
● 本機に登録できるのはD-VHSビデオ、デジタルテレビなどです。
上記以外の機器は登録できない場合があります。

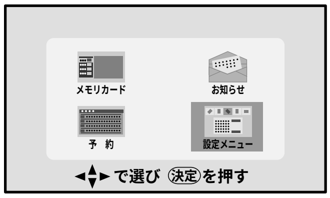
はじめに **登録したい機器を i.LINK 接続する（→ 80 ページ）**

1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

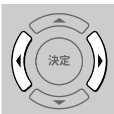


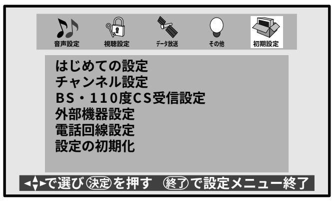


● 設定メニューが表示されます。



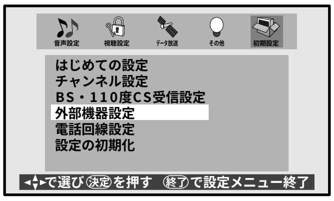
2 カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ





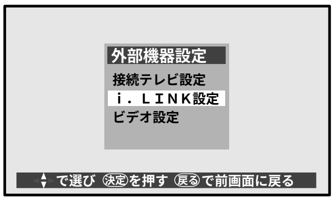
3 カーソル ▲・▼ ボタンで「外部機器設定」を選び、決定ボタンを押す





4 カーソル ▲・▼ ボタンで「i.LINK 設定」を選び、決定ボタンを押す



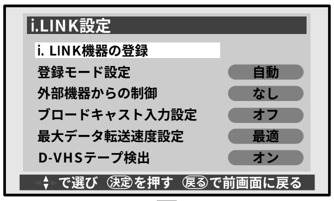


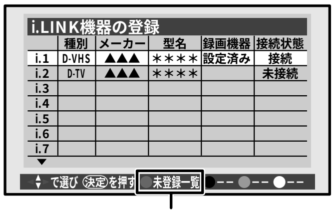


5 カーソル ▲·▼ ボタンで「i.LINK機器の登録」を選び、決定ボタンを押す



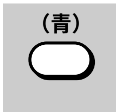
- 未登録の機器がある場合は、右下の文言が表示されます。
  この文言が表示されない場合は新たに登録できる機器がありません。登録を変更する場合は、「i.LINK機器の削除」（106ページ）で削除してから、登録操作を行ってください。





未登録機器がある場合に表示されます。

6 青ボタンを押す



- 未登録機器一覧が表示されます。



7 カーソル ▲·▼ ボタンで登録したい機器を選び、決定ボタンを押す

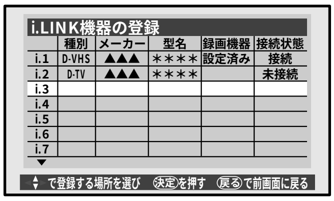




8 カーソル ▲·▼ ボタンで登録場所を選び、決定ボタンを押す

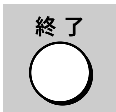


- すでに登録されている場所を選んだ場合は、確認のメッセージが表示されます。
  そのまま登録する場合は「変更する」を選んで決定ボタンを押してください。



続けて登録を行う場合は、手順6～8を繰り返す

9 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す



初期設定を個別に行うとき つづき



外部機器の設定 つづき

i.LINK設定 つづき

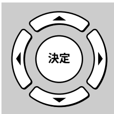
■ i.LINK 機器を削除するには

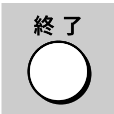
- **i.LINK接続をはずして使用しなくなった機器を、登録リストから削除することができます。**
- 左下の「お知らせ」もご覧ください。
- 個別に削除する方法とまとめてすべてを削除する方法があります。

1 **104～105 ページの手順１～５を行う**

- 「i.LINK機器の登録」画面になります。

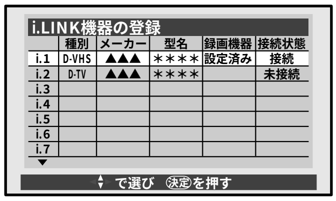
2 **下記の操作で削除する**



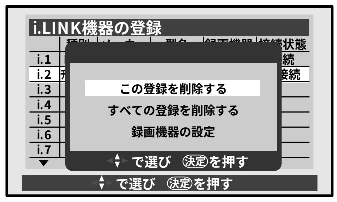


個別に削除する場合

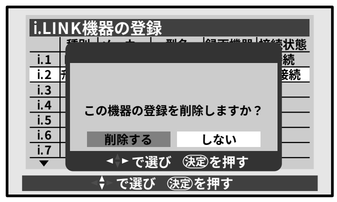
①カーソル ▲·▼ ボタンで削除したい機器を選び、決定ボタンを押す



②カーソル ▲·▼ ボタンで「この登録を削除する」を選び、決定ボタンを押す



③カーソル ◀·▶ ボタンで「削除する」を選び、決定ボタンを押す

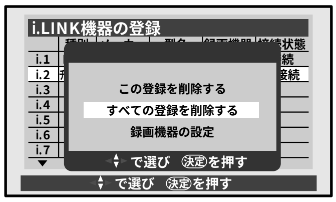


続けて他の機器を削除する場合は、手順①～③を繰り返す

④通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

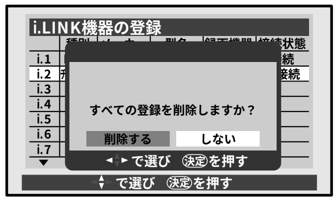
すべての機器をまとめて削除する場合

①カーソル ▲·▼ ボタンで登録されている機器のどれかを選び、決定ボタンを押す



②カーソル ▲·▼ ボタンで「すべての登録を削除する」を選び、決定ボタンを押す

③カーソル ◀·▶ ボタンで「削除する」を選び、決定ボタンを押す



④通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

お知らせ

■i.LINK機器を接続したままの状態で、本機の登録リストから削除したい場合

- 「登録モード設定」（→108ページ）を「手動」でご使用の場合に削除ができます。
- 「自動」に設定されている場合は、削除の操作をしても再度自動的に登録される場合があります。

■録画予約されているi.LINK機器について

- 録画予約されているi.LINK機器は削除できません。削除するには録画予約を取り消してください。（→58ページ）



■録画機器の設定

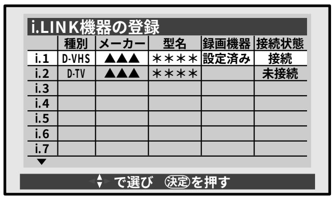
- デジタルで録画予約や一発録画をする際に使用するD-VHSビデオの設定を行います。
- i.LINK登録されているD-VHSビデオが１台の場合は、この設定は不要です。
  （ i.LINK登録した際に自動的に録画機器として設定されます。）

1 **104～105 ページの手順１～５を行う**

- 「i.LINK機器の登録」画面になります。

2 **カーソル ▲·▼ ボタンでデジタル録画に使用する D-VHS ビデオを選び、決定ボタンを押す**

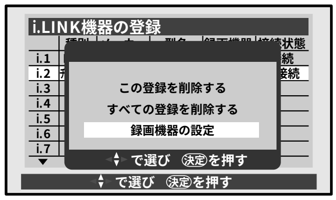




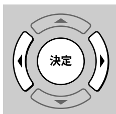
設定されているD-VHSビデオには「設定済み」が表示されます。

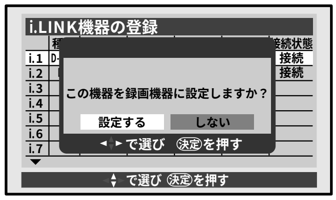
3 **カーソル ▲·▼ ボタンで「録画機器の設定」を選び、決定ボタンを押す**



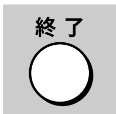


4 **カーソル ◀·▶ ボタンで「設定する」を選び、決定ボタンを押す**





5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す



お知らせ

- 設定できるのは１台だけです。
- 新たに設定すると、前に設定されていたビデオは登録が取り消されます。
- 録画予約が設定されている場合は、設定を変更できません。

初期設定を個別に行うとき つづき



外部機器の設定 つづき

i.LINK設定 つづき

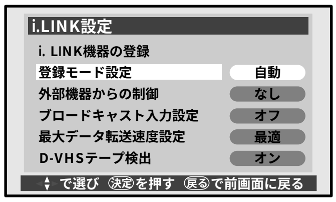
■その他のi.LINK設定（登録モード、外部機器からの制御、ブロードキャスト入力、最大データ転送速度、D-VHSテープ検出の設定）

● お買い上げ時は、基本的な状態に設定されています。設定を変える場合は、下記の操作により行ってください。

1　104ページの手順１～４を行う

●「i.LINK設定」画面が表示されます。

2　下記の操作によって、設定を行う



1.登録モード設定（自動/手動）

※通常はこの設定は不要です。

● i.LINK機器の登録を自動で行うか、手動操作のみで登録させるかの設定をします。
お買い上げ時は「自動」に設定されており、通常はこのままでご使用いただけます。

● i.LINK接続している機器の一部だけを登録したい場合や、自動登録の動作が安定しない場合は、下記の操作で「手動」にしてください。

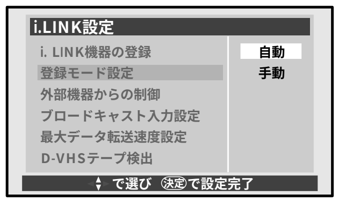
設定のしかた

①カーソル ▲·▼ ボタンで「登録モード設定」を選び、決定ボタンを押す

②カーソル ▲·▼ ボタンで「自動」または「手動」を選び、決定ボタンを押す

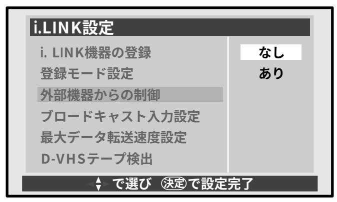
・「自動」…i.LINK機器が本機に接続されると、自動的に機器が登録されます。

・「手動」…自動登録は行わず、手動のみで登録を行うモードです。「手動」にした場合は、「i.LINK機器の登録」（→104ページ）で登録を行ってください。



2.外部機器からの制御（なし／あり）

●「あり」にすると、i.LINK接続されている他の機器から制御されるようなります。（85ページの「他機から本機をi.LINK制御する際のご注意」をご覧ください。）
お買い上げ時は、「なし」に設定されています。



設定のしかた

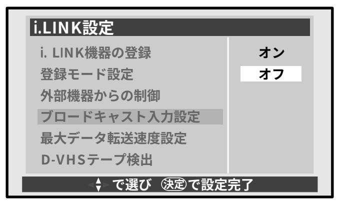
①カーソル ▲·▼ ボタンで「外部機器からの制御」を選び、決定ボタンを押す

②カーソル ▲·▼ ボタンで「なし」または「あり」を選び、決定ボタンを押す

3.ブロードキャスト入力設定（オン／オフ）

● ブロードキャストとは、i.LINK接続されている複数の機器に同時に信号を送り、それぞれの機器で同時にその信号を受けられるようにした機能のことです。

● 本機では、ブロードキャスト入力を「オン」にすることで、他機器からのブロードキャストを受けることができます。お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。（操作方法は、→81ページ）



設定のしかた

①カーソル ▲·▼ ボタンで「ブロードキャスト入力設定」を選び、決定ボタンを押す

②カーソル ▲·▼ ボタンで「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

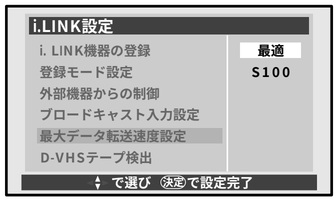
お知らせ

● 接続される機器によっては、本機で「ブロードキャスト入力設定」を「オン」に設定しても、ブロードキャストをご覧になれない場合があります。



4.最大データ転送速度設定（最適／S100）

- お買い上げ時は「最適」に設定されています。(通常はこの状態でご使用ください。)
  転送速度が100Mbpsのケーブルや機器を使用する場合は、「S100」に設定してください。

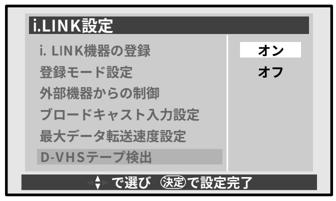


設定のしかた

①カーソル ▲・▼ ボタンで「最大データ転送速度設定」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲・▼ ボタンで「最適」または「S100」を選び、決定ボタンを押す

5.D-VHSテープ検出（オン/オフ）

- 録画予約や一発録画をデジタル録画で行う際、D-VHSテープが入っているかを自動検出する機能です。
  お買い上げ時は「オン」に設定されています。



設定のしかた

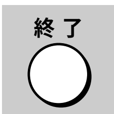
①カーソル ▲・▼ ボタンで「D-VHSテープ検出」を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ▲・▼ ボタンで「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

- 「オン」…自動検出を行います。(自動検出の判定は、本機ではなくD-VHSビデオが行います。)
  デジタル録画予約や一発録画(デジタル録画の場合)で、実行時にD-VHSテープが入っていない場合は録画を実行しません。
- 「オフ」…本機側では自動検出を行いません。

お知らせ

- D-VHSテープを入れても、D-VHSテープが入っていないというメッセージが表示される場合はこの機能を「オフ」に設定してください。これは、D-VHSビデオにD-VHSテープの自動検出機能がないためです。本機の故障ではありません。

3 [通常画面に戻るには] **終了ボタンを押す**



お知らせ

- 上記で設定した内容は、次にi.LINKモードにしたときから反映されます。

初期設定を個別に行うとき つづき



外部機器の設定 つづき

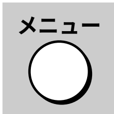
ビデオ設定

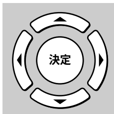
■ビデオ機種設定

- 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオへの録画予約、一発録画を行う場合、あらかじめ、この設定をしておくことが必要です。
- この設定が終了したあとは、必ず「ビデオ動作の確認」(→112ページ)を行ってください。
  (手順**7**または手順**8**で「該当なし」に設定した場合は不要です。)
  「ビデオ動作の確認」で正しく動作しない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約、一発録画をすることはできません。

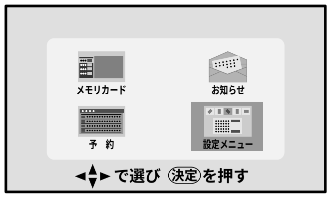
はじめに **付属のビデオコントロールケーブルを正しく接続、設置する (→79ページ)**

1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

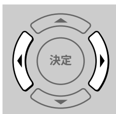


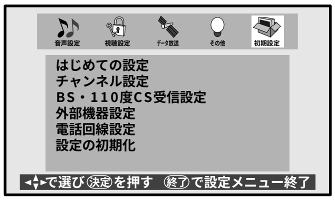


- 設定メニューが表示されます。



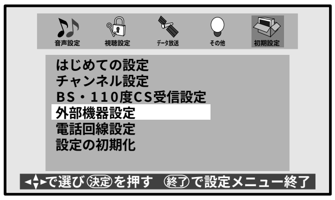
2 **カーソル ◀·▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ**





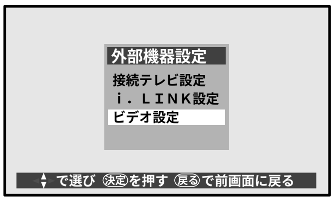
3 **カーソル ▲·▼ ボタンで「外部機器設定」を選び、決定ボタンを押す**





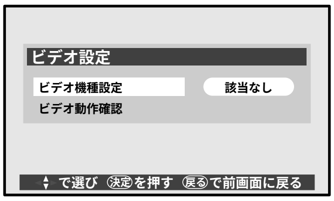
4 **カーソル ▲·▼ ボタンで「ビデオ設定」を選び、決定ボタンを押す**





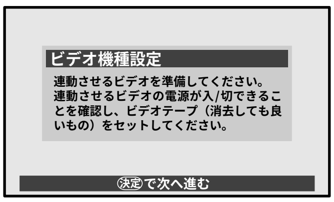
5 **カーソル ▲·▼ ボタンで「ビデオ機種設定」を選び、決定ボタンを押す**





6 **画面の説明に従って、連動させるビデオの準備をする**

①ビデオの電源が、ビデオのリモコンで入/切(待機)できることを確認する
②消去しても良いビデオテープをビデオに入れる
③以上が終ったら、決定ボタンを押す





7 カーソル ▲▼◀▶ ボタンで設定するビデオのメーカーを選び、決定ボタンを押す

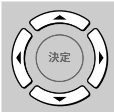


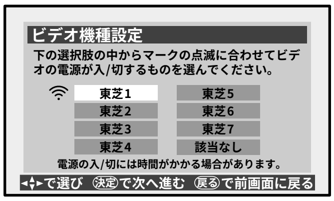


該当するメーカーがない場合

- この場合は､ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。ビデオ側で録画予約や録画の操作を行ってください。
- 「該当なし」を選んで決定ボタンを押すと、手順**5**に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。

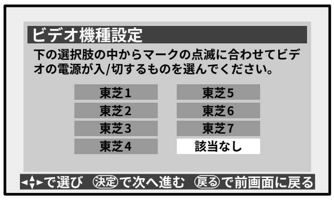
8 カーソル ▲▼◀▶ ボタンでリモコンの信号形式を選ぶ





- ビデオの電源が入⇔切(待機)となる信号形式を選びます。
- **選んだ信号形式によっては電源入から切(待機)までしばらく時間がかかる場合があります。(信号形式によっては､1分ほどかかる場合もあります。)**

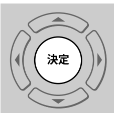
ビデオの電源が入⇔切(待機)となるものがない場合

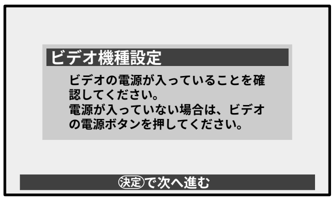


- この場合は､ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約､一発録画をすることはできません。ビデオ側で録画予約や録画の操作を行ってください。
- 「該当なし」を選んで決定ボタンを押すとメッセージ画面になります。決定ボタンを押すと､手順**5**に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。

9 決定ボタンを押す

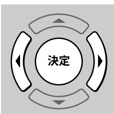
10 ビデオの電源が「入」であることを確認してから、決定ボタンを押す

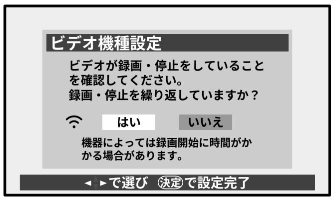




- ビデオの電源が切(待機)のときには､ビデオの電源ボタンを押して電源を入れてから､決定ボタンを押してください。

11 ビデオが録画⇔停止を繰り返しているか確認し、下記の操作を行う





- **選んだ信号形式によっては録画⇔停止でしばらく時間がかかる場合があります。(信号形式によっては､1分ほどかかる場合もあります。)**

ビデオが録画⇔停止を繰り返している場合

- **カーソル ◀▶ ボタンで「はい」を選び､決定ボタンを押す**
  - 「ビデオの設定が完了しました。」のメッセージが表示されます。その後､手順**5**の画面に戻ります。手順**12**に進んでください。

ビデオが録画⇔停止を繰り返していない場合

- 現在選んでいる信号形式では､ビデオの録画や停止を行うことができません。下記の操作により､別の信号形式を選んでください。
  - **カーソル ◀▶ ボタンで「いいえ」を選び､決定ボタンを押す**
    - 手順**8**の画面に戻ります。別の信号形式を選んで､手順**8**以降の操作をもう一度行ってください。
    - どの信号形式でも､ビデオが録画⇔停止を繰り返さない場合は､ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。終了ボタンを押して､設定を中止してください。

12 「ビデオ動作の確認」（次ページ）を行う（手順７または手順８で「該当なし」を選んだ場合は不要です。）

お知らせ

- 次の①および②の動作がしないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使って録画できません。
  ①右記の手順**8** の操作で「ビデオの電源が入⇔切(待機)」の動作をしない
  ②右記の手順**11**の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない
- ビデオによっては「ビデオ1」「ビデオ2」などのように、ビデオ側でリモコンの信号形式を選べるものがあります。お使いのビデオ付属の取扱説明書でご確認ください。それらの数字(「ビデオ１」など)と手順**8**の画面の数字（東芝1、東芝2など）とは関連ありません。
- 「該当なし」を選んだ場合は、前にビデオの機種を設定していた場合も、その設定内容は削除されます。

初期設定を個別に行うとき つづき



外部機器の設定 つづき

ビデオ設定 つづき

■ビデオ動作の確認

- ビデオコントロールケーブルによってビデオが正しくコントロールされているか、確認することができます。
- 「ビデオ機種設定」で「該当なし」に設定した場合は、ビデオの動作の確認はできません。

はじめに

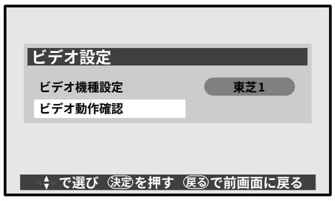
- 付属のビデオコントロールケーブルが正しく接続、設置されていること(→79ページ)
- 「ビデオ機種設定」(→110〜111ページ)が完了していること

1 **110 ページの手順１〜４を行う**

- 「ビデオ設定」画面が表示されます。

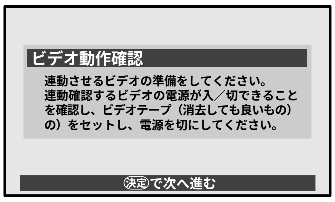
2 **カーソル ▲・▼ ボタンで「ビデオ動作確認」を選び、決定ボタンを押す**



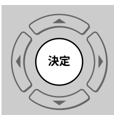


3 **連動させるビデオの準備をする**

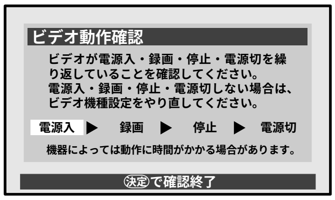
- 右の画面のメッセージが表示されます。
- 下記のように準備をしてください。
  ①ビデオテープ(消去してもよいもの)をビデオに入れる
  ②ビデオの電源を切(待機)にする



4 **決定ボタンを押す**

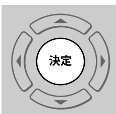


- ビデオコントロールケーブルからリモコン信号が送信され、ビデオが自動的に動作を開始します。
- 画面の表示に従って、右下の図のとおり動作することを確認してください。
  ビデオによっては、右下の図のそれぞれの動作にしばらく(1分ほど)時間がかかる場合があります。
- ビデオが右下の図のとおり正常に動作しない場合は、「付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた」(→79ページ)、「ビデオ機種設定」(→110〜111ページ)を再度確認してください。



ビデオの電源が入る
▼
録画が始まる
▼
しばらくして録画が停止する
▼
ビデオの電源が切(待機)になる

5 **ビデオが動作していることを確認したら、決定ボタンを押す**



- 手順**2**の画面に戻ります。
- 録画が続いている場合は、ビデオ側で停止の操作をしてください。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

電話回線の設定

● デジタル放送では、電話回線を利用したサービスが行われています。それらのサービスを受けるには、電話回線の設定が必要です。
● **ダイヤル方式および外線発信番号については「はじめての設定」(→91、92ページ)がお済みの場合は、ここでの設定は必要ありません。**

■電話回線設定のしかた

● 設定項目は下記のとおりです。

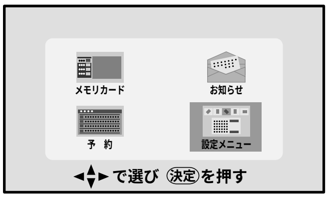
設定項目	内　容	ページ
ダイヤル方式の設定	ダイヤル方式を設定します。	113
外線発信番号の設定	外線発信時に、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合に設定します。	113
電話会社の設定	電話の発信をする際に使用する電話会社を設定します。	114
電話番号通知設定	本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者（センター）に通知するかどうかを設定できます。	115
電話回線テスト	電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。	116
ダイヤル待ち時間の設定を行う場合	各種付加番号のうしろに待機時間が必要な場合に設定します。	117

ダイヤル方式の設定

● お買い上げ時は「トーン」に設定されています。

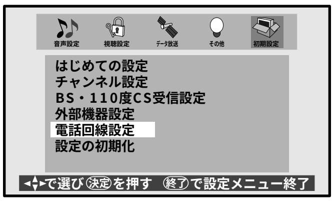
1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

● 設定メニューが表示されます。



2 **カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「電話回線設定」を選んで、決定ボタンを押す**

●「電話回線設定」画面になります。



3 **カーソル ▲・▼ ボタンで「ダイヤル方式」を選び、決定ボタンを押す**

4 **「はじめての設定」の「電話回線設定」(→92ページ）の手順13を行い、次は下の手順5に進む**

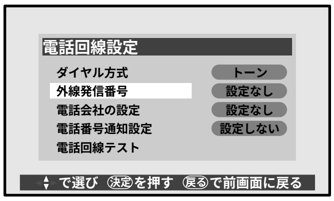
5 [他の電話回線設定をするには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

外線発信番号の設定

● ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。また、外線発信を出した後、何秒後に回線が外線に切り換わるのか、その切り換わりにかかる時間を外線発信後の待ち時間と呼びます。
● お買い上げ時は、「外線発信番号なし」に設定されています。
● 外線発信が必要な場合は、下記の操作で設定してください。

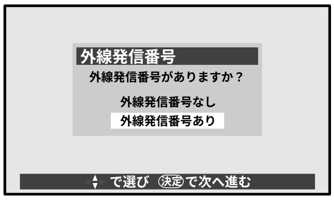
1 **左側の手順1～2の操作で、「電話回線設定」画面にする**

2 **カーソル ▲・▼ ボタンで「外線発信番号」を選び、決定ボタンを押す**



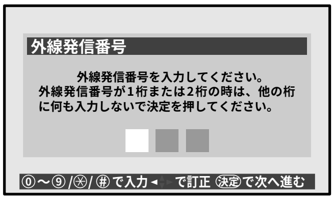
3 **カーソル ▲・▼ ボタンで「外線発信番号あり」を選び、決定ボタンを押す**

●「外線発信番号」設定画面になります。



4 **外線発信番号を設定し、決定ボタンを押す**

● 0～9、#、✻のボタンを押すことで設定します。
（左詰めで入力してください）
● 最大3桁までの設定ができます。
● 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンで前の桁に戻り、設定をやり直してください。
● 1桁、または2桁の設定を行う場合は、左詰めで入力し他の桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。
※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。



[次のページにつづく]

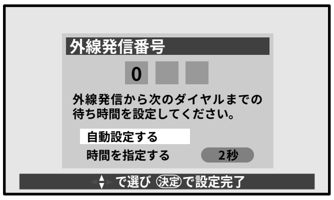
初期設定を個別に行うとき つづき

電話回線の設定 つづき

外線発信番号の設定 つづき

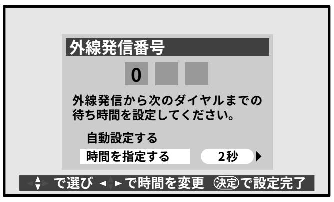
5 **外線発信後の待ち時間を設定する**

- 通常は下記の操作で、「自動設定する」にしてください。
  ①**カーソル ▲·▼ ボタンで「自動設定する」を選ぶ**
  ②**決定ボタンを押す**
  - ・電話回線設定画面に戻ります。
  - ・手順**6**に進んでください。



「自動設定する」の状態で、116ページの「電話回線テスト」が失敗となる場合

- 下記の操作で、時間を設定してください。
  ①**カーソル ▲·▼ ボタンで「時間を指定する」を選ぶ**
  ②**カーソル ◀·▶ボタンで時間を設定し、決定ボタンを押す**
  - ・設定範囲は2秒～9秒（秒単位）です。
  - ・電話回線設定画面に戻ります。
  - ・手順**6**に進んでください。



6 ［他の電話回線設定をするには］
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

お知らせ

- 手順**5**で「時間を指定する」に設定した場合、ダイヤルトーン検出を行いません。
  ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、この設定にしてください。
  この場合、以下の判定方法では回線の接続と設定の確認はできません。「センターと接続できることを確認する場合」（→116ページ）で確認を行ってください。
  - ・「ダイヤル方式の設定」（→92、113ページ）の自動判定
  - ・「電話回線テスト」（→116ページ）
  - ・簡易確認テスト（→93、122ページ）での電話回線テスト

電話会社の設定

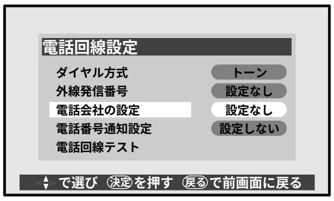
- マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社を使用する場合は、この設定は不要です。
- 上記以外に契約されている電話会社を選んで設定できます。
- お買い上げ時は「電話会社を設定しない」に設定されています。

お知らせ

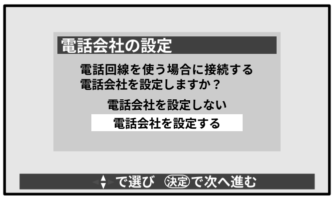
- 電話会社の設定は、データ放送の一部では適用されない場合があります。

1 **113ページ左側の手順1～2の操作で、「電話回線設定」画面にする**

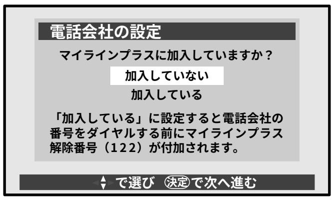
2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「電話会社の設定」を選び、決定ボタンを押す**



3 **カーソル ▲·▼ ボタンで、「電話会社を設定する」を選び、決定ボタンを押す**



4 **カーソル ▲·▼ ボタンで、マイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」/「加入している」を選び、決定ボタンを押す**

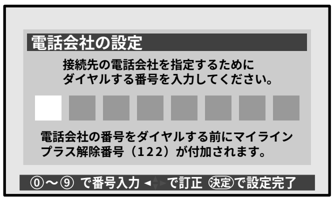


［次のページにつづく］

電話会社の設定 つづき

5 電話会社番号を入力し、決定ボタンを押す

● 電話会社番号を数字ボタン(0〜9)を押して左詰めで入力し、決定ボタンを押す



・ 最大8桁まで設定できます。
・ 間違って入力した場合は、カーソル ◄ ボタンで前の桁に戻り、設定をやり直してください。

お知らせ

● 前ページ手順**4**で「加入している」を選んだ場合は、本機からの電話発信時にマイラインプラス（優先接続サービス）解除番号（122）が自動的に付け加えられます。

6

[他の電話回線設定をするには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

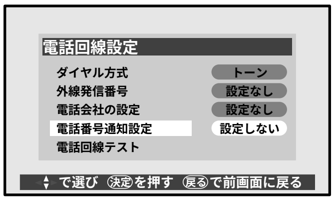
● マイラインプラスに加入している場合
・前ページ手順**4**で「加入している」に設定してください。手順**5**で設定した電話会社での回線発信ができます。
・前ページ手順**4**で「加入していない」に設定すると、手順**5**で電話会社を設定しても回線発信ができなくなります。
● 手順**5**で電話会社番号が未入力の場合は、前ページ手順**3**の「電話会社を設定しない」に自動的に設定されます。

電話番号通知設定

● 本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者(センター)に通知するかどうかを設定します。
● お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。

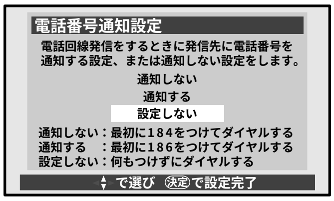
1 113ページ左側の手順1〜2の操作で、「電話回線設定」画面にする

2 カーソル ▲・▼ ボタンで「電話番号通知設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソル ▲・▼ ボタンで、お好みの設定を選び、決定ボタンを押す

● 選択項目は以下のとおりです。



通知しない：最初に「184」をつけてダイヤルする
通知する　：最初に「186」をつけてダイヤルする
設定しない：何もつけずにダイヤルする

● 「設定しない」のときはNTTとの「ナンバーディスプレイ」契約のとおりになります。

4

[他の電話回線設定をするには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

設定のしかた

初期設定を個別に行うとき つづき

電話回線の設定 つづき

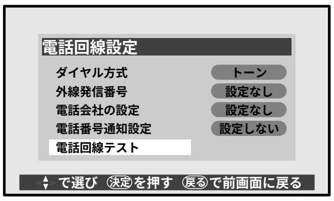
電話回線テスト

● 電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。

1 **113ページ左側の手順1〜2の操作で、「電話回線設定」画面にする**

2 **カーソル ▲・▼ ボタンで「電話回線テスト」を選び、決定ボタンを押す**

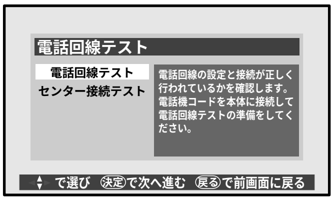
● 電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。

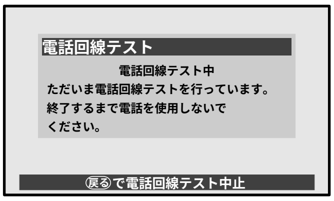


3 **電話回線の確認をしたら、カーソル ▲・▼ ボタンで「電話回線テスト」を選び、決定ボタンを押す**

●「電話回線テスト」が開始されます。(「電話回線テスト中」のメッセージが表示されます。)

● 電話回線テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

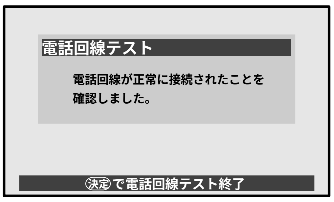




4 **電話回線テストが終了したら、決定ボタンを押す**

● テスト結果については、93ページの「はじめての設定」の「お知らせ」をご覧ください。

● 決定ボタンを押すと、電話回線テスト画面に戻ります。

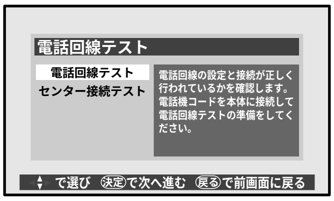


5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■センターと接続できることを確認する場合

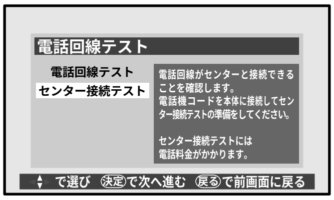
● このセンター接続テストは電話料金がかかります。

1 **左側の手順3「電話回線テスト」の画面になっていることを確認する**



2 **カーソル ▲・▼ ボタンで、「センター接続テスト」を選ぶ**

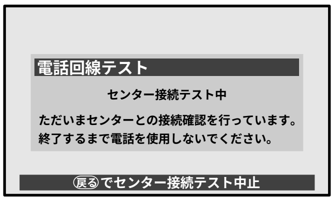
● 電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。



3 **電話回線の確認をしたら、決定ボタンを押す**

● センター接続テストが開始されます。

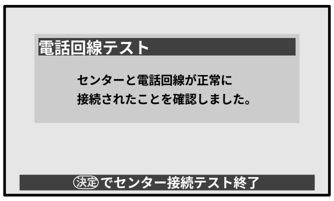
● センター接続テストが終了するまで、電話は使用しないでください。



4 **センター接続テストが終了したら、決定ボタンを押す**

● テスト結果については、下記の「お知らせ」をご覧ください。

● 決定ボタンを押すと、電話回線テスト画面に戻ります。



5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

センター接続テストの結果

■「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」が表示された場合

● 正しく接続されています。

■「センターと通信できませんでした。」が表示された場合

●「電話回線の接続」(→71〜73ページ)、「電話回線の設定」(→91、113ページ)を確認してください。

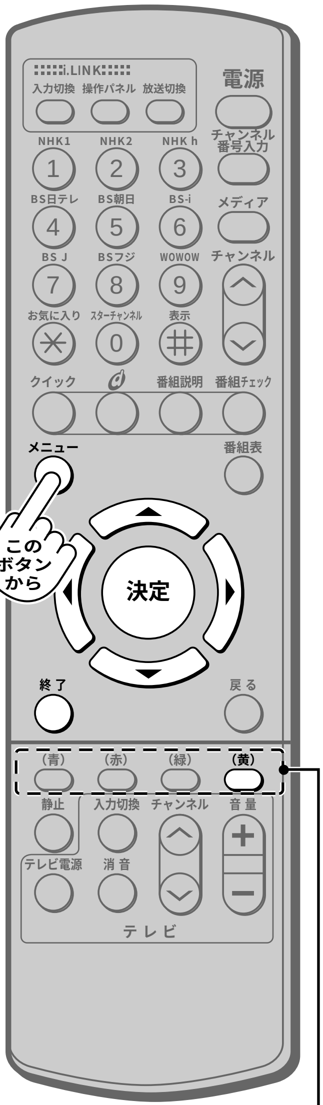
■「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。」が表示された場合

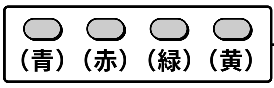
● しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。

■「ただいまセンターと通信できません。」が表示された場合

● しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。

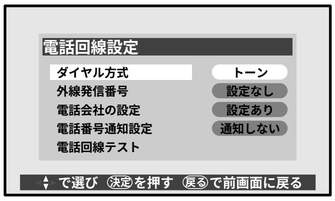
ダイヤル待ち時間の設定を行う場合



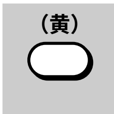


- 本機で電話回線発信のとき、電話会社番号、マイラインプラス(優先接続サービス)解除番号(122)、電話番号通知番号(184/186)のうしろにダイヤル待ち時間(ダイヤルポーズ)が必要な場合に下記の設定を行ってください。
- お買い上げ時のダイヤル待ち時間の設定は「設定しない」です。

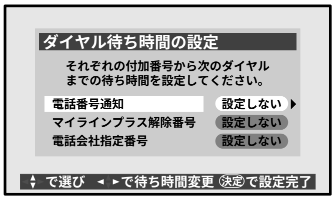
1 113ページ左側の手順1～2の操作で、「電話回線設定」画面にする



2 黄色ボタンを押す

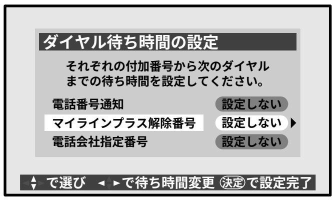


- ダイヤル待ち時間設定画面になります。

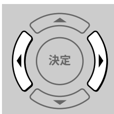


3 カーソル ▲・▼ ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

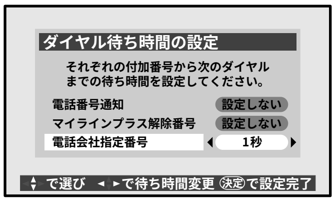




4 カーソル ◄・► ボタンを押して、ダイヤル待ち時間を設定する

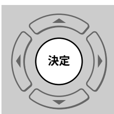


- 設定する内容は「設定しない」、1秒～9秒です。



他の項目も設定するときは、手順3、4を繰り返す

5 決定ボタンを押す



- 設定されて、「電話回線設定」画面に戻ります。

6

[他の電話回線設定をするには]

設定する項目を選んで、決定ボタンを押す

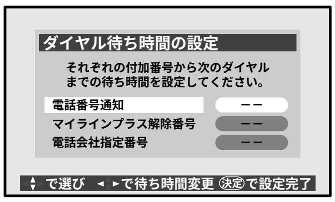
[通常画面に戻るには]

終了ボタンを押す

お知らせ

■**表示が「－－」になっている項目に対してダイヤル待ち時間は設定できません。**

- 各項目で「－－」表示になる場合は下記のとおりです。
  - ・電話番号通知設定(→115ページ)で「設定しない」に設定した場合
  - ・マイラインプラス(優先接続サービス)に「加入していない」に設定(→114ページ)した場合
  - ・電話会社の設定(→114ページ)で「電話会社を設定しない」に設定した場合



初期設定を個別に行うとき つづき



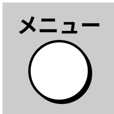
暗証番号の設定

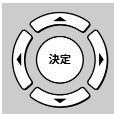
● 暗証番号は、ペイ・パー・ビュー番組を購入する際や、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。

お願い

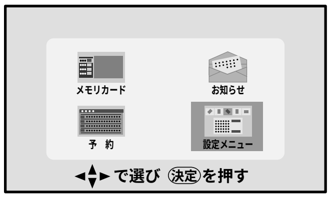
● 暗証番号を忘れないようにご注意ください。

1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

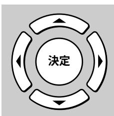




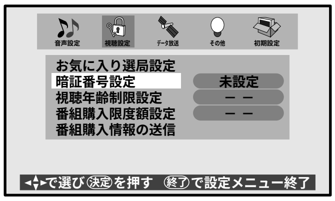
● 設定メニューが表示されます。



2 **カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「暗証番号設定」を選んで、決定ボタンを押す**



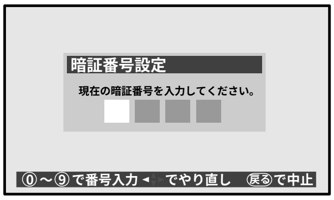
● 決定ボタンを押すと、新規登録の場合は手順**4**の画面に、変更の場合は手順**3**の画面になります。



3 [暗証番号を変更する場合]
数字ボタン（0～9）で変更する前の暗証番号を入力する



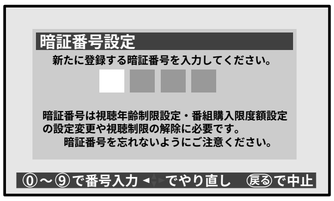
● 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。



4 **数字ボタン（0～9）で登録したい暗証番号を入力する**



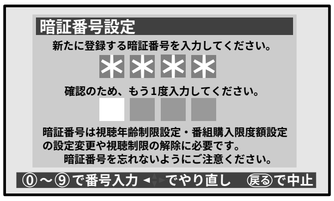
● 数字ボタン（0～9）で暗証番号（登録したい4桁の数字）を順に入力します。
● 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。



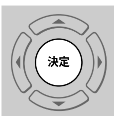
5 **数字ボタン（0～9）でもう一度暗証番号を入力する**



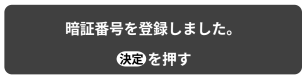
● 暗証番号が登録されます。



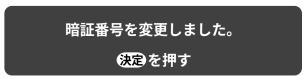
6 **右の画面で決定ボタンを押す**



● 手順**2**の画面に戻ります。

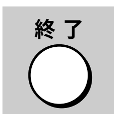


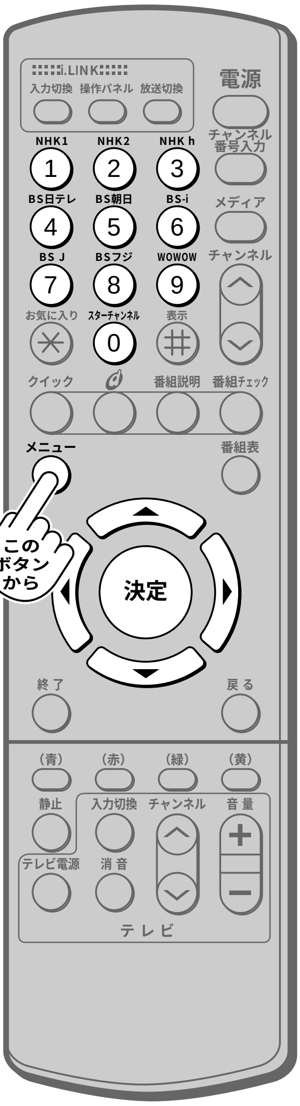
（新規登録の場合）



（変更登録の場合）

7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す



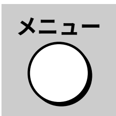


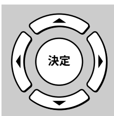
視聴年齢制限の設定

- 大人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢が設定されているものがあります。その場合、あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます。（年齢の設定値は、4歳～20歳です。）
- お買い上げ時設定はされていません。この状態では視聴年齢制限付き番組は視聴できません。
- 視聴年齢制限機能を使わないときは、視聴年齢制限を「20歳（制限しない）」にしてください。
  例えば本機の視聴年齢制限を18歳に設定したとき
  視聴年齢が18歳以下の番組……………………そのまま視聴できます。
  視聴年齢が18歳を超えた番組………………視聴するには暗証番号が必要となります。

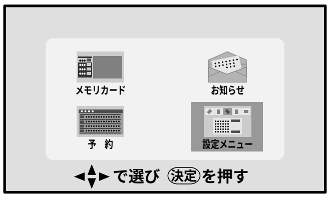
視聴年齢制限の設定

1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

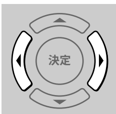


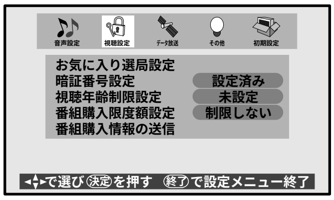


- 設定メニューが表示されます。



2 カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選ぶ

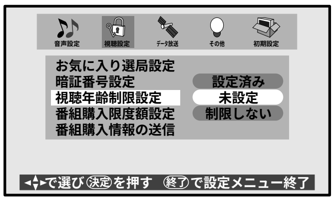




3 カーソル ▲・▼ ボタンで「視聴年齢制限設定」を選び、決定ボタンを押す

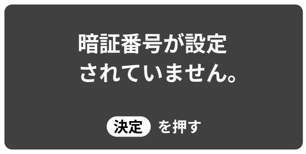


- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順**4**に進みます。



暗証番号が設定されていない場合

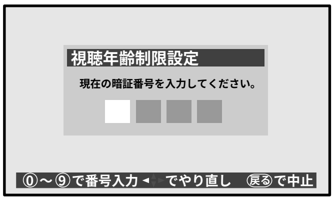
- 視聴年齢制限の設定はできません。（右のメッセージが表示されます。）視聴年齢制限設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（→118ページ）



4 数字ボタン（0～9）で暗証番号を入力する



- 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順**5**の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。



お知らせ

- **暗証番号について**
  ・ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定で使用する暗証番号は同じものです。

[次のページにつづく]

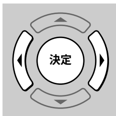
初期設定を個別に行うとき つづき



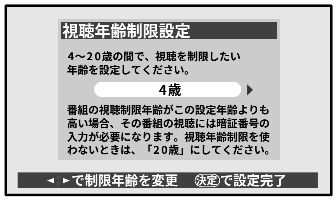
視聴年齢制限の設定 つづき

視聴年齢制限の設定 つづき

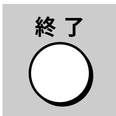
5 **カーソル ◀·▶ ボタンで視聴できる年齢を設定し、決定ボタンを押す**



● 視聴できる年齢は、4歳から20歳（制限しない）の間で設定できます。



6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す



視聴年齢制限が設定されている番組を選んだとき

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢以下のとき

● 通常どおり番組は受信できます。

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢よりも上のとき

● メッセージが表示され、番組を見ることはできません。

番組を見るためには

①決定ボタンを押す
②数字ボタン（0〜9）で暗証番号を入力する
　● 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。

■本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていないとき

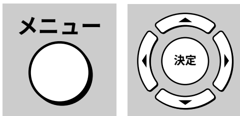
● メッセージが表示され、番組を見ることはできません。
● 決定ボタンを押すと、設定の必要な項目がメッセージ表示されます。
　内容を確認した後、それらの設定を行ってください。



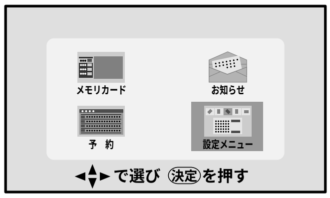
番組購入限度額の設定

- ペイ・パー・ビュー番組の１番組ごとの購入限度額を設定できます。限度額を超える番組の場合、購入するためには暗証番号の入力が必要となります。
- 金額に関係なくすべてのペイ・パー・ビュー番組について、暗証番号の入力が必要となるように設定することもできます。
- お買い上げ時は、すべての購入を「制限しない」に設定されています。

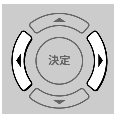
1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

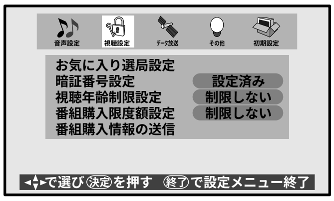


- 設定メニューが表示されます。



2 カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選ぶ

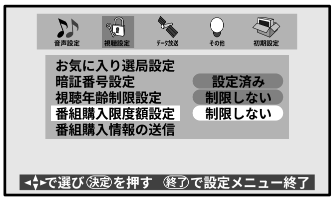




3 カーソル ▲・▼ ボタンで「番組購入限度額設定」を選び、決定ボタンを押す

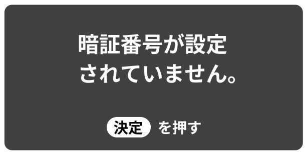


- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順**4**に進みます。



暗証番号が設定されていない場合

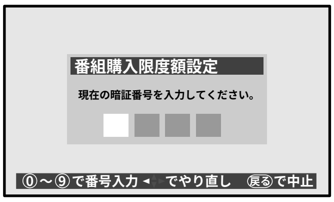
- 番組購入限度額の設定はできません。（右のメッセージが表示されます。）番組購入限度額設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（→118ページ）



4 数字ボタン（0 ～ 9）で暗証番号を入力する



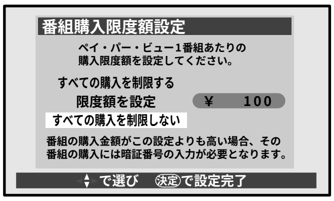
- 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順**5**の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。



5 カーソル ▲・▼ ボタンで制限モードを選ぶ



●すべての購入を制限する	：	すべてのペイ・パー・ビュー番組について購入するためには暗証番号の入力が必要となります。選択後手順**7**に進みます。
●限度額を設定	：	限度額を超える番組の場合、暗証番号の入力が必要となります。 手順**6**に進みます。
●すべての購入を制限しない	：	上記の制限をしません。選択後手順**7**に進みます。



お知らせ

- **暗証番号について**
  - ・ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定で使用する暗証番号は同じものです。
- 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は高いほうの金額で購入限度額の判定を行います。
- 複数映像、複数音声または複数データで課金対象になっている番組は、切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

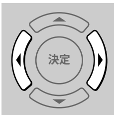
[次のページにつづく]

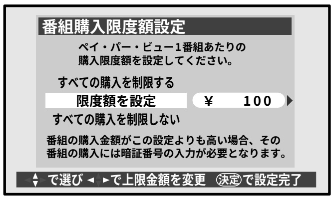
初期設定を個別に行うとき つづき



番組購入限度額の設定 つづき

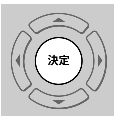
6 [「限度額を設定」を選んだ場合]
カーソル ◀·▶ ボタンで限度額を選ぶ





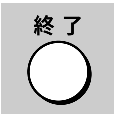
- 金額は
  100円 ～ 1,000円の範囲で100円単位
  1,000円 ～ 3,000円の範囲で500円単位
  3,000円 ～ 10,000円の範囲で1,000円単位
  で設定できます。
- 設定後手順**7**に進みます。

7 **決定ボタンを押す**



- 前ページの手順**3**の画面に戻ります。

8 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

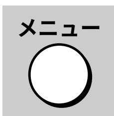


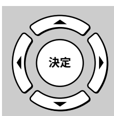


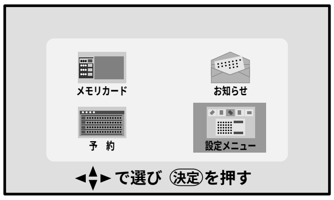
簡易確認テスト

- 受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

1 **メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

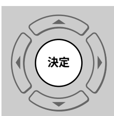


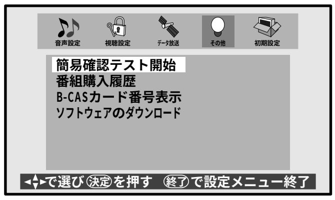




- 設定メニューが表示されます。

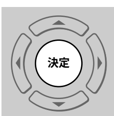
2 **カーソル ◀·▶ ボタンで「その他」を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで「簡易確認テスト開始」を選んで、決定ボタンを押す**





- 簡易確認テストが開始されます。
- BS受信テスト中はBSチャンネルを、110度CS受信テスト中は110度CSチャンネルを受信します。
- 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- 「テスト結果」については、93ページをご覧ください。

3 [簡易確認テストが終了したら]
決定ボタンを押す



- 通常画面に戻るには、終了ボタンを押します。

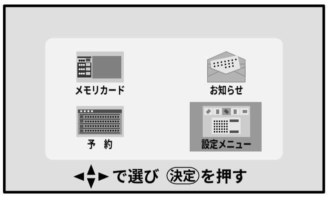
データ放送設定を個別に行うとき

郵便番号と地域の設定

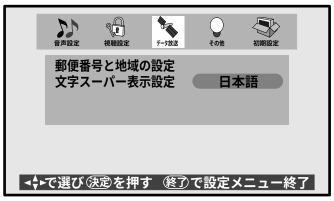
- お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報・選挙速報)や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ送受信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。
- **「はじめての設定」(→90ページ)でお済みの場合は、ここでの設定は必要ありません。**

1　メニューボタンを押し、カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

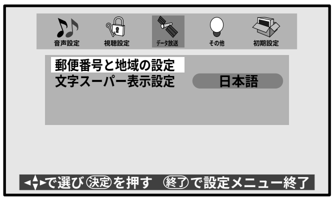


2　カーソル ◀·▶ ボタンで「データ放送」を選ぶ

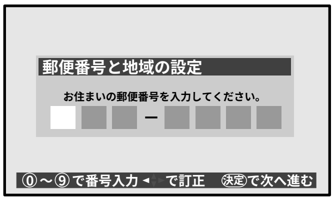


3　カーソル ▲·▼ ボタンで「郵便番号と地域の設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「郵便番号入力」画面が表示されます。



4　「はじめて設定」の「郵便番号と地域の設定」(→90ページ)の手順7～9を行い、次は下の手順5に進む



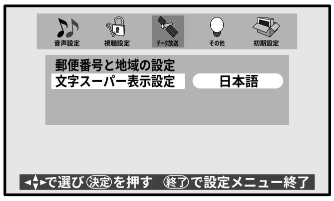
5　[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

文字スーパー表示の設定

- デジタル放送には、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。複数言語の文字スーパーに対応した番組を受信した場合、本機で表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、日本語を優先して表示するように設定されています。

1　左側の手順1～2を行う

2　カーソル ▲·▼ ボタンで「文字スーパー表示設定」を選び、決定ボタンを押す



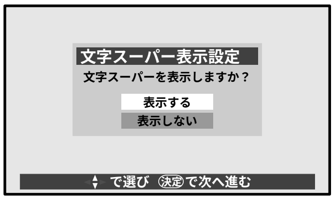
3　カーソル ▲·▼ ボタンで「表示する」または「表示しない」を選び、決定ボタンを押す

「表示する」を選んだ場合

- 手順**4**に進みます。

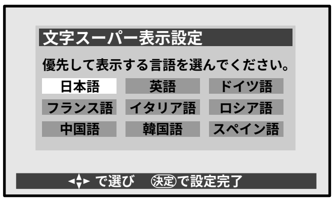
「表示しない」を選んだ場合

- 手順**5**に進みます。
- 文字スーパーは表示されません。



4　カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで言語を選び、決定ボタンを押す

- 以下の言語が選択できます。
  日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/ロシア語/中国語/韓国語/スペイン語



5　[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがある場合は、その言語を表示します。
  設定した言語がない場合は、送信データに従って表示されます。

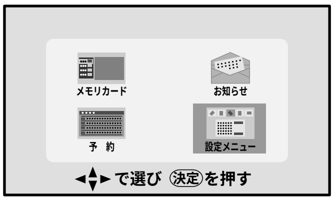
設定のしかた

お買い上げ時の状態に戻すには（設定内容を初期化するには）

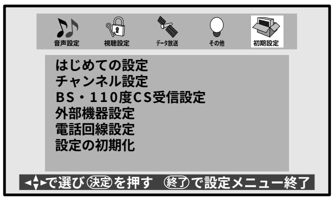
● お好みに設定された内容を初期化します。（お買い上げ時の状態に戻します。）
● お買い上げ時の状態については、下の表をご覧ください。

1 メニューボタンを押し、カーソル ▲･▼･◀･▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

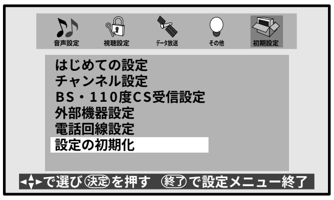
● 設定メニューが表示されます。



2 カーソル ◀･▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ

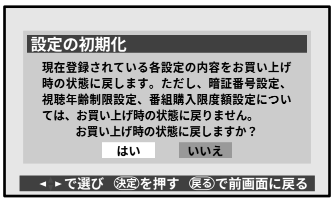


3 カーソル ▲･▼ ボタンで「設定の初期化」を選び、決定ボタンを押す



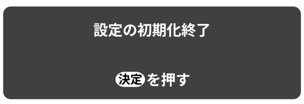
4 初期化する場合は、カーソル ◀･▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す

● 設定された内容が初期化されます。（右の表をご覧ください。）



5 ［右の画面を確認して］決定ボタンを押す

● 手順3の画面に戻ります。



6 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">お買い上げ時の状態</th></tr>
<tr><td colspan="2">TruSurround設定</td><td colspan="2">オ　ン</td></tr>
<tr><td colspan="2">光デジタル音声出力設定</td><td colspan="2">ＰＣＭ固定</td></tr>
<tr><td colspan="2">番組表画面でのジャンル色分け表示</td><td colspan="2">赤…映画
緑…スポーツ
橙…音楽</td></tr>
<tr><td colspan="2">郵便番号設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域の設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字スーパー表示設定</td><td colspan="2">日本語</td></tr>
<tr><td colspan="2">アンテナ電源供給</td><td colspan="2">供給する</td></tr>
<tr><td colspan="2">CATVパススルーモード設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">接続テレビ設定</td><td colspan="2">ワイドテレビ（16：9）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">i.LINK設定</td><td>登録モード設定</td><td colspan="2">自動</td></tr>
<tr><td>外部機器からの制御</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>ブロードキャスト入力設定</td><td colspan="2">オ　フ</td></tr>
<tr><td>最大データ転送速度設定</td><td colspan="2">最　適</td></tr>
<tr><td>D-VHSテープ検出</td><td colspan="2">オ　ン</td></tr>
<tr><td>録画機器の設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオ機種設定</td><td colspan="2">該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイヤル方式</td><td colspan="2">トーン</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線発信番号</td><td colspan="2">外線発信番号なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線発信後の待ち時間設定</td><td colspan="2">自動設定する</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話会社の設定</td><td colspan="2">電話会社を設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号通知設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ダイヤル待ち時間の設定</td><td>電話番号通知</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td>マイラインプラス解除番号</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td>電話会社指定番号</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">お気に入り登録</td><td colspan="2">お買い上げ時の設定状態（→31ページ参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">字　幕</td><td colspan="2">字幕オフ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">チャンネル設定</td><td>ダイレクトボタン設定</td><td colspan="2">23ページの表の設定になります。</td></tr>
<tr><td>チャンネルスキップ設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">お知らせ</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">視聴予約、録画予約</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動ダウンロード</td><td colspan="2">ダウンロードする</td></tr>
<tr><td colspan="2">任意ダウンロード予約</td><td colspan="2">予約なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">番組購入履歴</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">音多切換</td><td colspan="2">主音声</td></tr>
</table>

● 下記については、初期化されません。
　・ 暗証番号・視聴年齢制限・番組購入限度額設定の状態。
● 本機のソフトウェアをバージョンアップされている場合は、「設定の初期化」を行っても、お買い上げ時のソフトウェアに戻すことはできません。ソフトウェアのバージョンアップについては次ページをご覧ください。

バージョンアップするには

●本機のソフトウェアを書き換えて更新させることができます。

■バージョンアップの種類

- ソフトウェアをバージョンアップする方法としては、ダウンロードによってソフトを書き換える方法（→126～128ページ）と、スマートメディア™を使って書き換える方法（→128ページ）の2種類があります。

■ダウンロードについて

- ダウンロードとは、放送局が書き換え用のソフトウェアを放送電波の中に入れて送信し、それを受信してソフトウェアを書き換える方法のことです。
- ダウンロードには、下表の2つの場合があります。
  どちらの場合でも、ダウンロードが行われるのは電源が待機状態のときのみです。

自動ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする（→126ページ）	● あらかじめ設定しておくことにより、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。
任意ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする（→127ページ）	● 任意ダウンロードについての情報が送られてくると「本機に関するお知らせ」を発行して連絡します。ダウンロードをする場合は、127ページの操作によりダウンロード予約を行ってください。

■ダウンロードの動作について

- **ダウンロードは、電源が「待機」状態のときのみ、実行されます。**
- 任意ダウンロードの場合は、本機の電源が「入」のときには、任意ダウンロード開始時刻の少し前に、リモコンの電源ボタンを押して待機状態にすることをお願いするメッセージが表示されます。

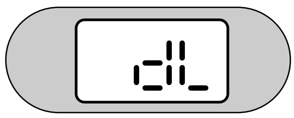
お知らせ

- ダウンロードを行うにはあらかじめ、電源「入」の状態で数分間放送を受信することにより、ダウンロード情報を取得しておくことが必要です。

ダウンロードの実行中に、電源ボタンが押されたとき

- テレビ画面には右のメッセージが表示されます。（本体前面のチャンネル表示部には「dL」が表示されます。）
- これ以降は、ダウンロードがすべて完了し、「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが画面に表示されるまで、本機には触れないでください。
- 特に、リセットボタンを押したり、電源コードを抜いたりしないでください。ソフトウェアの書込みが中止され、誤動作を起こす場合があります。
- 「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されたら決定ボタンを押してください。電源が「待機」になった後、再び「入」になります。以降は通常どおり操作できます。

「ソフトウェアを更新中です。ソフトウェアを更新中は、本機に触れないでください。…」



本体の前面部

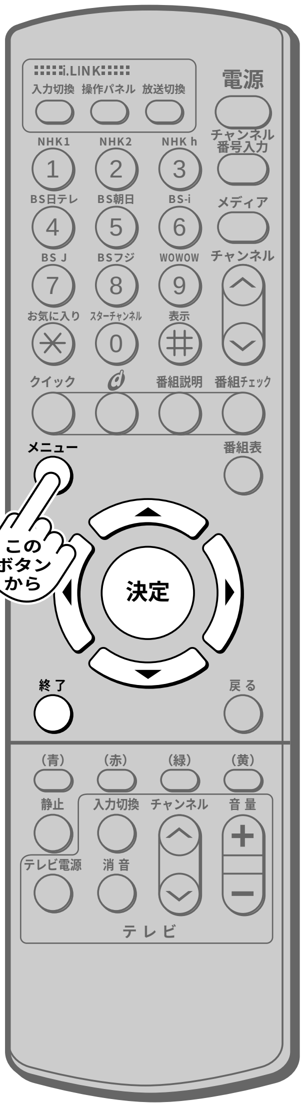
お願い

- **ダウンロード中は、電源コードを抜いたり、リセットボタンを押したり、スマートメディア™を抜くなどしないでください。**
  ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作を起こす場合があります。動作しない状態になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

- 任意ダウンロードは録画予約した番組が時間変更となり任意ダウンロード予約と重なった場合や悪天候の場合などには実行されません。
- ダウンロードが取り消された場合、その旨を「本機に関するお知らせ」（→67ページ）を発行して連絡します。
- ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。
- 一発録画中などに、任意ダウンロード予約の開始時刻になると任意ダウンロード予約は取り消されます。
- 任意ダウンロード予約によるバージョンアップ実行中は、録画予約や視聴予約は実行されません。

バージョンアップするには つづき



送信されてくるソフトウェアをダウンロードする

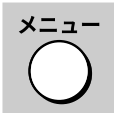
自動ダウンロードをするには

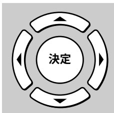
- 下記の設定をすることによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送信されているときに自動的にダウンロードが行われます。
- **125ページもよくお読みください。**

■「自動ダウンロード」の設定をする

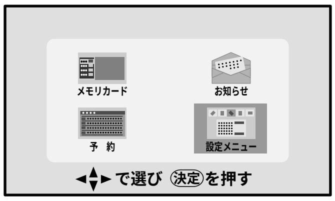
- お買い上げ時は、「ダウンロードする」に設定されています。
- **「ダウンロードしない」に設定した場合、自動ダウンロードのサービスが行われていることについては「本機に関するお知らせ」(→67ページ)にてご連絡します。**

1 メニューボタンを押し、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

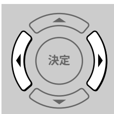


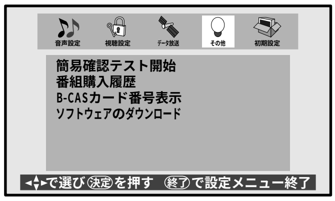


- 設定メニューが表示されます。



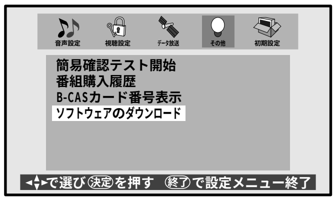
2 カーソル ◀・▶ ボタンで「その他」を選ぶ





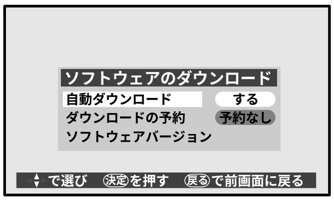
3 カーソル ▲・▼ ボタンで「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す





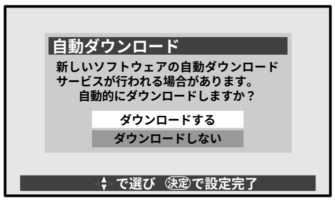
4 カーソル ▲・▼ ボタンで「自動ダウンロード」を選び、決定ボタンを押す



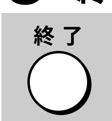


5 カーソル ▲・▼ ボタンで「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定ボタンを押す





6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す



お知らせ

- ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。



任意ダウンロードをするには

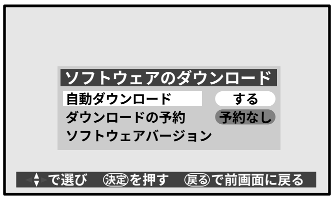
● 125ページもよくお読みください。

■任意ダウンロードを予約する

はじめに
- ●任意ダウンロードについての情報があるときには「本機に関するお知らせ」（→ 67 ページ）を発行して連絡します。
- ●ダウンロードする場合は、下記の操作によりダウンロード予約を行ってください。

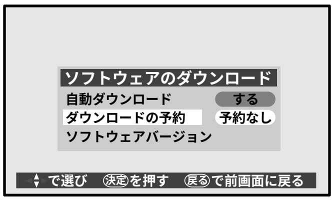
1 **126 ページの手順１～３を行う**

● 右の画面になります。

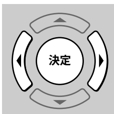


2 **カーソル ▲・▼ ボタンで「ダウンロードの予約」を選び、決定ボタンを押す**





3 **表示されている説明を読み、ダウンロード予約をする場合は、カーソル ◀・▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**



4 **カーソル ▲・▼ ボタンで予約する時間を選び、決定ボタンを押す**



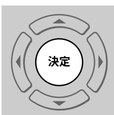
- ●ダウンロードが予約されます。
- ●設定できるダウンロード予約は1つです。

予約と時間が重なっている場合

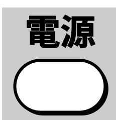
- ●録画予約や視聴予約と重なっている場合は、右のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押すと前画面に戻ります。
ダウンロードの予約日時を変えるか、または終了ボタンを押した後、予約を取り消してください。
（→58ページ）

「番組予約と時間が重なっています。」

5 **表示されるメッセージを読んだ後、決定ボタンを押す**



6 **予約の開始時刻の前までに、電源ボタンで電源待機状態にする**



● ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

設定のしかた

バージョンアップするには つづき



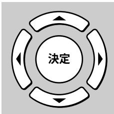
送信されてくるソフトウェアをダウンロードする つづき

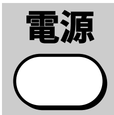
● 125ページもよくお読みください。

■任意ダウンロード予約の日時を変更したり、予約を取り消すには

1 **127ページの手順１～３の操作によりダウンロード予約画面にする**

2 **下記を行う**





ダウンロード予約の日時を変更する場合

①カーソル ▲▼ ボタンで変更する日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ◀▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す
●選んだ日時にダウンロード予約が変更されます。
③予約開始時刻の前までに、電源ボタンを押して電源待機状態にする
●ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

ダウンロード予約を取り消す場合

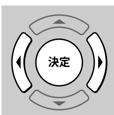
①カーソル ▲▼ ボタンで予約されているダウンロードの日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ◀▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す
●ダウンロード予約が取り消されます。

スマートメディア™のソフトウェアを書き込む

1 **スマートメディア™を本体に差し込む**

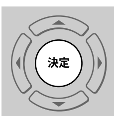
●差し込みかたなど詳しくは、45ページをご覧ください。
●正しく差し込まれると、自動的にソフトウェアの説明画面になります。

2 **画面の説明を読み、ダウンロードする場合はカーソル ◀▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**



●バージョンアップについてのご注意が表示されます。

3 **画面の説明を読んでから、決定ボタンを押す**

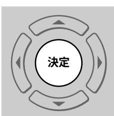


●ダウンロードが始まります。

以下のメッセージが表示された場合

●以下のメッセージが表示された場合は、ダウンロードできません。
終了ボタンを押して、中止してください。
「このソフトウェアでは書き換えできません」
「バージョンアップ中にエラーが発生しました」

4 **右のメッセージが表示されたら、決定ボタンを押す**



●自動的に電源が「待機」になった後、再び「入」になります。以降、通常どおり操作できます。

「ソフトウェアを更新しました。ソフトウェアのバージョンアップを完了するため決定ボタンを押してください。決定ボタンを押すといったん電源が切れた後、自動的に電源が入ります。」

5 **スマートメディア™を本体から抜く**

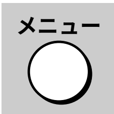
ソフトウェアのバージョンを確認するには



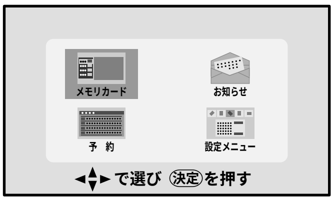
ソフトウェアのバージョンを確認するには

● 現在の本機のソフトウェアのバージョンが確認できます。

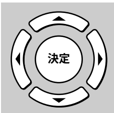
1 **メニューボタンを押す**



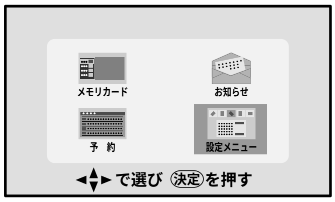
● メニューが表示されます。



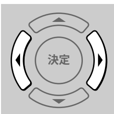
2 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

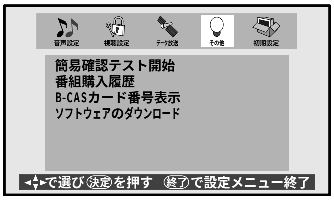


● 設定メニューが表示されます。



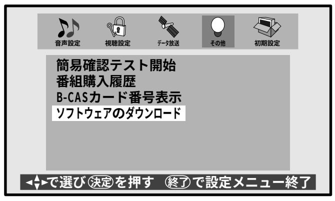
3 **カーソル ◀・▶ ボタンで「その他」を選ぶ**





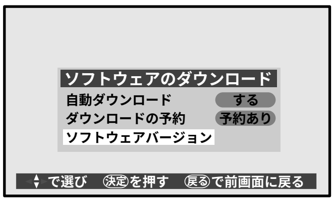
4 **カーソル ▲・▼ ボタンで「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す**



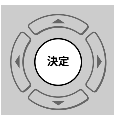


5 **カーソル ▲・▼ ボタンで「ソフトウェアバージョン」を選び、決定ボタンを押す**





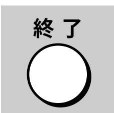
6 **ソフトウェアバージョンを確認後、決定ボタンを押す**



● 決定ボタンを押すと前画面に戻ります。



7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す



本機の映像信号出力について（詳しい説明）

本機の映像信号出力について

● デジタル放送には、12ページの[テレビ放送の特長]のように4種類の放送フォーマットがあります。
また、映像信号のほかにデジタルハイビジョンの高画質放送と標準の画質の放送を識別するための信号や、映像の横縦比率をテレビで忠実に再現するための識別信号が送られています。
本機は、これらの識別信号を検出して、接続されるテレビに応じた映像信号を出力します。
ただし、「接続テレビ設定」（→89、103ページ）によって動作が異なります。

■画質について

● 画質については、本機の設定およびテレビとの接続方法によって以下の表のようになります。

テレビへの映像接続端子	「映像出力切換」（86、87ページ）	映像出力端子より出力される信号
D1/D2/D3映像出力端子	d1	受信されたすべての映像信号を525i(480i)の信号として出力します。
	d2	受信されたすべての映像信号を525p(480p)の信号として出力します。
	d3	受信されたすべての映像信号を1125i(1080i)の信号として出力します。
S1映像/ピン端子の映像出力端子	−−	受信されたすべての映像信号を525i(480i)の信号として出力します。

お知らせ

● 接続するテレビのＤ映像入力端子の種類と本機の設定が異なっていると、映像が映らない場合や、高画質で楽しむことができない場合があります。
● 「接続テレビ設定」（→89、103ページ）が「4：3ワイド」設定の場合に映像の横縦比が4：3の信号を受信した場合は、上の表の「映像出力切換」設定に関係なく525i(480i)の信号が出力されます。
● 上の表の（　）内の数字は有効走査線数で数えたときの別称です。またｉはインタレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略です。
● 選局時、1125i(1080i)、750p(720p)の放送フォーマットの番組を受信した場合は、画面にデジタルハイビジョン放送アイコン（→132ページ）が表示されます。
● デジタルハイビジョン信号で解像度制限されている信号の場合
・「映像出力切換」（→86、87ページ）を「d3」に設定している場合は、525p（480p）信号に変換されて出力されます。
その場合は、表示ボタンを押した時に、アイコンが表示されます。
その際は、次の点にご注意ください。

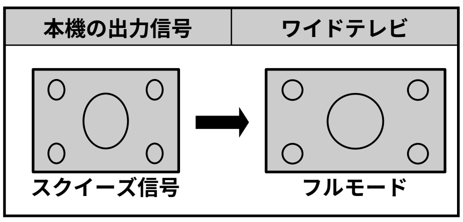
テレビのY、PB、PR端子に本機をつないでいる場合

・テレビのY、PB、PR端子が525p（480p）に対応していない場合には映像を見ることはできません。

テレビのY、PB/CB、PR/CR端子に本機をつないでいる場合

・「映像出力切換」（→86、87ページ）が「d3」の状態で映像が出ない場合には「d1」に設定を変えるとご覧になることができます。ただし、その際の映像は525i（480i）となります。

■映像信号について



S1 映像信号とは

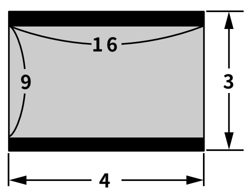
● 映像信号を輝度信号（Y信号）と色信号（C信号）に分離した信号で、16:9のワイド映像を4:3に圧縮した信号（スクイーズ信号）の場合、ワイド映像を自動判別するための識別信号が付加された信号です。
ワイドテレビでは、この識別信号によって自動的に画面をフルモードに切り換えます。

コンポーネント映像信号とは

● 色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離した信号で、輝度信号（Y）と青色信号（PBまたはCB）、赤色信号（PRまたはCR）に分けられた信号で、輝度信号と色信号が混合されている通常の映像信号に比べ、よりあざやかに映像を表示することができます。
D端子の場合は、コンポーネント映像信号に加え、画面の横縦比を自動判別するための識別信号と走査線数を自動判別するための識別信号が付加されています。

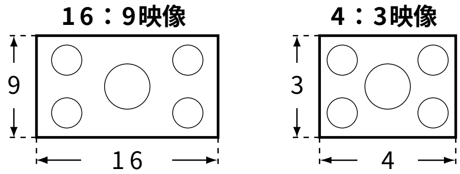
レターボックス信号とは

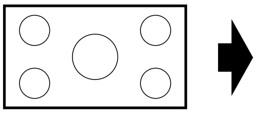
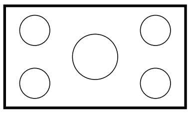
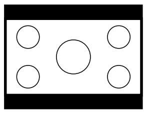
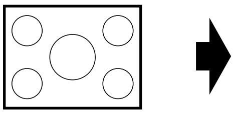
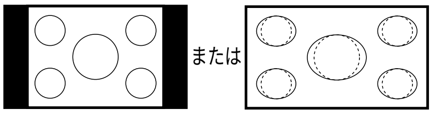
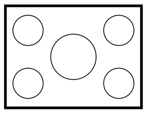
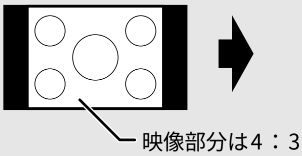
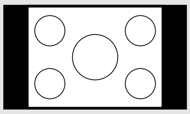
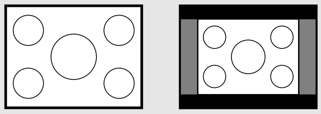
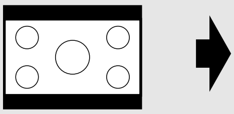
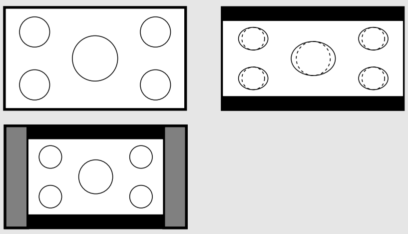
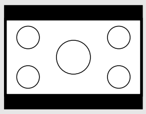
● 画面の横縦比が4：3の信号において、実際の映像部分が16：9の横縦比になるように画面の上下に黒帯を付加したワイド映像の信号です。



■映像の見えかたについて

下表で、
- ● 16：9映像……画像の横と縦の比が16：9の映像
- ● 4：3映像………画像の横と縦の比が4：3の映像



	放送局から送られている映像信号	接続テレビ設定（89、103ページ）が「ワイドテレビ」の場合	接続テレビ設定（89、103ページ）が「通常の4：3テレビ」または「4：3ワイド」の場合
通常の信号の場合	16：9映像の場合 	 映像が縦長になる場合は、テレビ側の設定でフルモードに切り換えてください。	 4:3ワイド（ワイド映像（16:9）に対応しているテレビ）で映像が縦長になる場合は、テレビ側の設定を切り換えてください。
	4：3映像の場合 	 (テレビ側の設定によっては、テレビ画面いっぱいに表示される場合もあります。) 映像が横長になる場合は、テレビ側の設定でノーマルに切り換えてください。 テレビ側の設定で画面サイズが切り換えられない場合、本機の「画面サイズを切り換える」で切り換えることができます。詳しくは44ページをご覧ください。	
特殊な信号の場合	16：9映像で左右に黒色などで帯がついている場合 	 映像が縦長になる場合は、テレビ側の設定でフルモードに切り換えてください。	 上記のいずれかで表示されます。 (送られてくる信号によって決まるため、選択はできません。) 4:3ワイド（ワイド映像（16:9）に対応しているテレビ）で映像が縦長になる場合は、テレビ側の設定を切り換えてください。
	4：3映像で上下に黒帯がついている場合 	 上記のいずれかで表示されます。	

お知らせ

- ● 上図の画面イラストはイメージを表したものです。実際の映像の伸縮率とは異なります。
- ● 「接続テレビ設定」（→89、103ページ）で、「ワイドテレビ」または「4：3ワイド」に設定している場合に、ワイド映像（16：9）を受信するとビデオ用映像出力端子からはスクイーズ信号（→130ページ「S1映像信号とは」参照）が出力されます。従ってこの信号をビデオに録画したテープを通常の4：3テレビで再生した場合、映像が縦長になります。
  このような使い方をする場合「接続テレビ設定」で一時的に「通常の4：3テレビ」に設定しておくと、ビデオ用映像出力端子からはレターボックス信号（→130ページ）で出力され、正しい横縦比で見ることができます。
- ● ワイドテレビで視聴している場合で、「映像出力切換」設定（→86、87ページ）が「d2」または「d3」の場合に、映像の横縦比が4：3の信号を受信したときは画面サイズを切り換えてワイド画面で楽しむことができます。（→44ページ）

アイコン一覧

■番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	サラウンド	サラウンド音声放送
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	HD	デジタルハイビジョン放送で解像度制限されている信号の場合
d	番組連動データ放送がある場合	SD	デジタル標準テレビ放送
16:9	画面の横縦比が16：9の放送	字幕	字幕放送
4:3	画面の横縦比が4：3の放送	信号切換	複数映像または音声またはデータがある場合
ステレオ	ステレオ音声放送	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
二重音声	二重音声放送	年令	視聴年齢制限されている番組

■お知らせ、録画、予約についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	未読の「お知らせ」	D¥コピー	録画購入すればデジタル録画できます
	既読の「お知らせ」	D1コピー	1回（第1世代）のみデジタル録画できます
	予約	D×コピー	デジタル録画できません
コピー	アナログ録画できます	G→コピー	光デジタル録音できます
¥コピー	録画購入すればアナログ録画できます	G→¥コピー	録画購入すれば光デジタル録音できます
×コピー	アナログ録画できません	G→×コピー	光デジタル録音できません
Dコピー	デジタル録画できます	重複	予約が重なっています

エラー表示、メッセージ表示について

●代表的なエラー表示を説明します。**（静止画などの場合は一部省略される場合があります。）**

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「アンテナ線がショートしています。コード：E209」	● アンテナ線の心線とアース線（網線）がショートして信号を受信できない。	● 100ページの「お知らせ」をご覧ください。
●「受信できません。コード：E202」	● 適合したアンテナでないため。 ● 雨や雷などの気象条件によって一時的に受信できない。 ● アンテナ線が外れたり、切れたりしている。 ● アンテナの設定値が合っていない。 ● アンテナの方向ずれや故障。	● BSまたはBS・110度CS デジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 ● アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。（→70、99、100ページ） ● アンテナ線をご確認ください。 ● アンテナの方向をご確認ください。 ※選局しているチャンネルで放送が休止中の場合も表示することがあります。
●「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	● 気象条件などにより信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	● 降雨対応放送に切り換えることができます。（→40ページ）
●「現在放送されていません。コード：E203」	● 選局したチャンネルでの放送が休止中。 ● 放送時間が終了している。	● 番組表などで放送時間をご確認ください。 ● 放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷などの気象条件により一時的に受信できない場合も表示することがあります。
●「このチャンネルは契約されていないため、ご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A103」	● 契約されていないチャンネルを選局したため。	● 契約ご希望の場合はご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
●「放送チャンネルではないため、ご覧になれません。コード：E200」	● 通信ネットワークなど通常の放送形態でないチャンネルを選局した。	● 通常の放送チャンネルを選局してください。
●「衛星ダウンロードサービスを行っているチャンネルです。」	● エンジニアリングダウンロードサービスを選局したため。	● ダウンロード専用のチャンネルのため、選局できません。
●「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	● 選局した有料の放送事業者またはチャンネルが未契約の場合。	● 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
●「このチャンネルはご覧になれません。コード：E210」	● 通常の放送でないチャンネルを選局した場合。	● このチャンネル（番組）は視聴できません。 ● 通常の放送チャンネルを選局してください。
●「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	● B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	● カードを抜き差ししてみてください。 ● B-CASカードの装着をご確認ください。（→69ページ）
●「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400 または 6581」	● B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	● カードを抜き差ししてみてください。それでも正常にはたらかない場合は、B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
●「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	● 付属のB-CASカード以外のカードを挿入している。	● 付属のB-CASカードを挿入してください。
●「このB-CASカードはご使用になれません。コード：A1FF または A102」	● 使用できないB-CASカードを挿入している。	● 付属のB-CASカードを挿入してください。
●「この番組には視聴制限があります。」	● 設定されている視聴年齢を超えた番組を選局した。 ● 設定した購入上限額よりも高い料金の番組を選局した。	● ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。（→120ページ）

［次のページにつづく］

エラー表示、メッセージ表示について つづき

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「番組に視聴制限があるため、ご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903 または 8503 または 8303」	● 選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	● 詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
●「番組購入情報がいっぱいのため、新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8109」	● B-CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリがいっぱいになっている。	●「番組購入情報の送信」を行ってください。（→66ページ）
●「データが受信できません。コード：E400」	● BSまたは110度CSデータ放送の情報が取得できない場合。	● 選局し直してください。
●「データを表示できません。コード：E401」	● 本機では対応していないBSまたは110度CSデータ放送の場合。	● このデータは受信できません。
●「データの表示に失敗しました。コード：E402」	● BSまたは110度CSデータ放送を表示中に何らかのエラーが生じた場合。	● 選局し直してください。
●「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。コードE301」	● 電話回線の接続のしかた、または電話回線設定に間違いがある場合。	● 電話回線の接続、設定（→71、113ページ）をご確認ください。

■i.LINKに関するエラー表示（代表的なもの）

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「選ばれた機器にi.LINK接続できません。」	● i.LINK操作パネルの機器リストで選んだ機器への接続に失敗した。 ● i.LINK操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	● i.LINK機器の接続を確認してください。 ● もう一度操作パネルでこの機器を選び直してください。 ● 相手機器の電源を入れ直してください ● 相手機器のi.LINK設定をご確認ください。
●「i.LINK機器が登録されていません。」	● i.LINK機器が登録されていません。	● i.LINK機器の接続、設定を行ってください。（→80、104ページ）
●「ブロードキャスト出力機器はありません。」	● ブロードキャスト出力している機器がない。	● i.LINK接続機器をご確認ください。
●「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	● 対応されていないブロードキャスト信号を入力したため。	● この機器から現在出力されている信号は本機では受信できません。
●「i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	● i.LINK接続ケーブルがはずれている、または接続が不十分。 ● i.LINK接続に変更があった。	● 1分たっても終了しない場合は、決定ボタンで中止し、i.LINK機器の接続、設定をご確認ください。（→80、104ページ）
●「i.LINK機器の接続を確認してください。」	● i.LINK機器との接続が正しくない。	● ループ状態の接続はできません。正しく接続してください。（→84ページ）
	● i.LINK機器を64台以上接続している。	● 64台以上のi.LINK機器接続はできません。63台以下にしてください。
●「外部機器から接続されています。」	● 外部のi.LINK機器から接続されているため、i.LINK操作ができません。	● i.LINK操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続を終了させてください。
●「使用可能な帯域を超えているため、操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。」	● 使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。	● 使用していないi.LINK機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を「切」にしてください。 ● 同時に使用する機器の数を少なくしてください。 ● 接続機器の電源プラグを抜き差ししてください。

修理を依頼される前にお調べください

このようなとき	ここをお調べください
すべての操作ボタンを受け付けない	• 「バージョンアップするには」(→125ページ)でソフトウェアの書き換えを行っている場合は、終了するまで、操作ボタンは受けつけません。終了するまで、本機には触れないでください。 • 上記以外の場合は本体前面のとびらを開き、つまようじなどでリセットボタンをまっすぐ押して、リセットしてください。(→20ページ) • 本機の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
電源が入らない	• テレビおよび本機の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
映像や音声が出ない	• 本機がテレビに正しく接続されていますか。またテレビの入力切換は間違っていませんか。 • 衛星からのアンテナ入力ケーブルは正しく接続されていますか。 • アンテナの向きは正しく合っていますか。 • アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • 「アンテナ電源供給の設定」は合っていますか。(→99ページ) • 接続されるテレビに合わせた設定がされていますか。 86ページを参照して、ご使用のテレビとの設定を確認してください。
音声は出るが映像が出ない、または乱れる	• 接続されるテレビに合わせた設定がされていますか。 86ページを参照して、ご使用のテレビとの設定を確認してください。 • 電磁波妨害などにより機器相互間での干渉により映像が乱れることがあります。機器を離して設置してください。
光デジタル音声が出ない	• 「光デジタル音声出力の設定」は接続する機器に合わせて正しく設定されていますか。(→98ページ)
横長映像や縦長映像になる	• 「接続テレビ設定」(→89、103ページ)が正しく設定されていますか。
有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく挿入されていますか。(→69ページ) • 有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 • 電話回線の接続や設定は正しいですか。(→71、113ページ)
チャンネルが変えられない	• 録画予約、一発録画が実行中ではありませんか。
ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約できない	• ビデオの入力切換を、正しく設定していましたか。 • ビデオの電源を「切(待機)」にしていましたか。 • ビデオ本体での予約設定が行われていて、予約待機の状態になっていたり、予約が実行されていませんでしたか。 • ビデオ機種設定が正しく行われていますか。(→110ページ) • ビデオコントロールケーブルの接続と設置が正しく行われていますか。(→79ページ) • ビデオによっては、電源が入ってから録画が開始されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。 • ビデオテープの録画防止用のツメは折れていませんか。
「放送局からのお知らせ」が見られない	• B-CASカードは正しく挿入されていますか。(→69ページ)
未読の「お知らせ」がなくなっている	• 「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は削除されることがあります。(詳しくは67ページのお知らせをご覧ください。) • 「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。 • 「設定の初期化」をしませんでしたか。(→124ページ)
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応なケーブルなどを使用していませんか。 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。デジタル放送に対応したケーブルなどをご使用ください。(→70ページ)
付属のリモコンでテレビの操作ができない	• リモコンをテレビのリモコン受光部に向けて操作していますか。 • リモコンのメーカー設定は正しく行われていますか。(→18ページ) お願い 設定した内容は、乾電池交換でお買い上げ時の設定に戻ることがありますので、その場合はもう一度設定してください。(→18ページ)

その他

[次のページにつづく]

修理を依頼される前にお調べください つづき

このようなとき	ここをお調べください
付属のリモコンで本機の操作ができない	• リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。
不自然なブロックノイズが見えるときがある	• 以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 ・元の画像にブロックノイズがすでにある場合 ・降雨対応放送の映像の場合 ・天候などにより、受信状態が悪化した場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ・i.LINKで対応していない信号の入力があった場合

■次のような場合は故障ではありません

- **アンテナへの積雪や豪雨などによって電波が弱くなり、一時的に映像や音声などにノイズが発生したり、ひどい場合にはまったく視聴できなくなる場合があります。**
  これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- **一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。**
  このような場合には、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。

用語について（索引）

●ＡＢＣ順

●アイウエオ順

ア行 ページ

カ行 ページ

サ行 ページ

用語について(索引) つづき

タ行　ページ

ハ行　ページ

ヤ行　ページ

ラ行　ページ